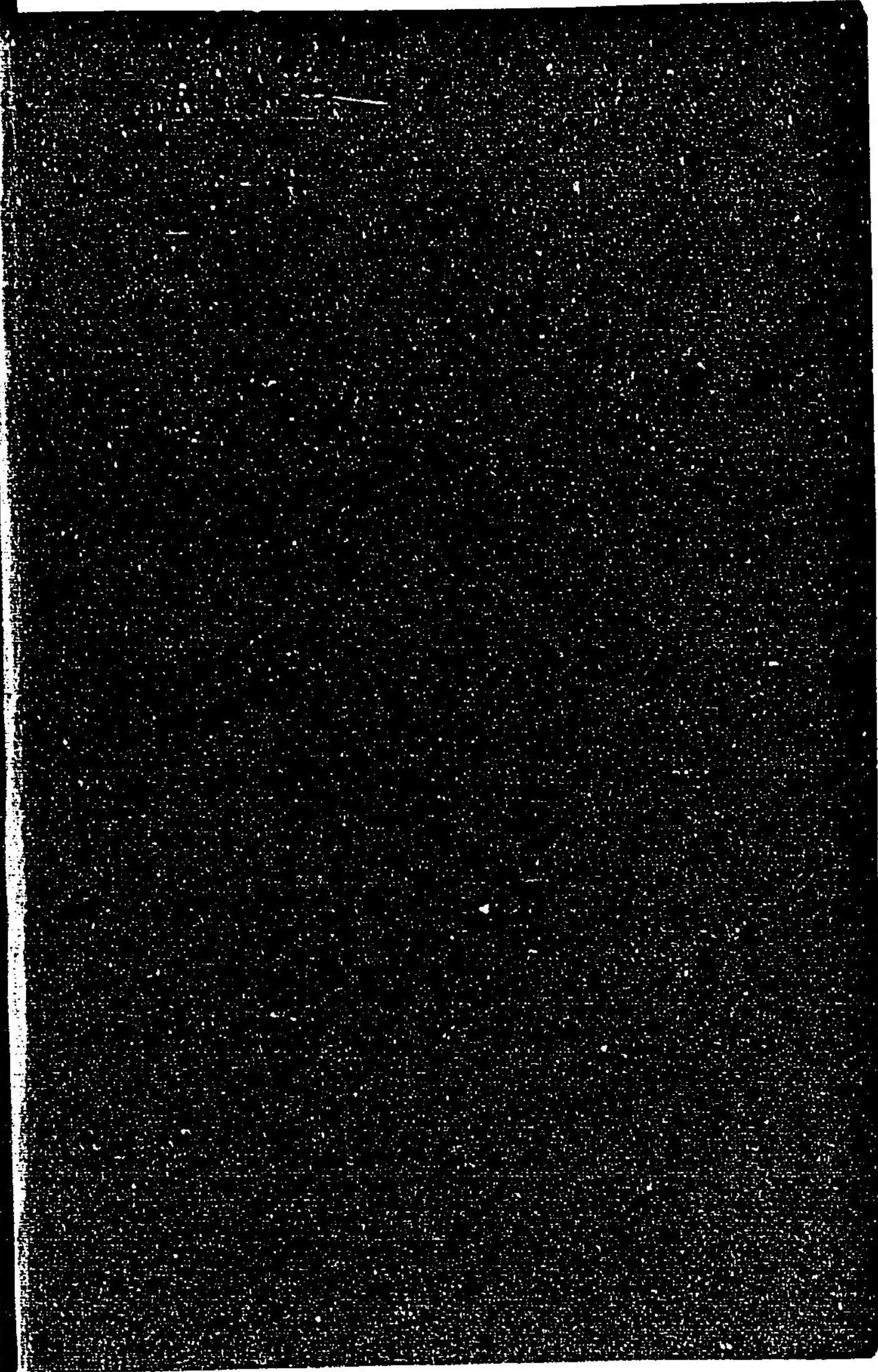
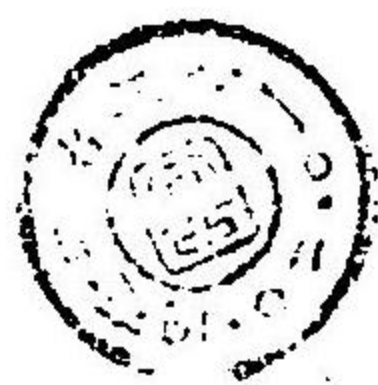


藏書

藏書



遺漏

明治三十年秋石散士謹誌

緒言

本邦古來ヨリ名所地誌若クハ之レニ類スルノ著書ニ乏シカラズト雖トモ概チ文意ニ因テ詳記スルモノ多クシテ字句高尙雅逸ナルガ爲メ通俗ヲ缺クノ恐ナキ能ハズ偶々之レアルモ僅ニ一條ノ驛路、勝地等ヲ擧グルニ過ギズ又ハ古キニ失シテ現今ノ狀景ヲ知ルニヨシナシ今ヤ此ニ違觀スル所アツテ本書ヲ著スルヤ專ラ圖畫ヲ應用シテ境内地景等皆實地ニ就テ其眞景ヲ摸寫シ銅版ニ印刷シ傍ラ由緒緣起ヲ明記シ附スルニ官廳、沿革、土地、海灣、天候、戶口等ノ種目ヲ詳細シテ都市ノ概況ヲ示セルモノナレハ其至便鴻益ナルヲハ言テ俟タズシテ明カナリ、其圖繪ニ於ルモ一目瞭然トシテ親シク實地ヲ踵ムノ壯觀ヲ呈シ永ク古世ニ表証シテ其興亡ヲ鑒察スルノ助タラント期ス

明治三十年秋月於幽泉樓上

怪石散士謹誌

凡例

一本書は題號の如く専ら圖繪によつて其現況を知悉するの便に供するを以て主要とす

一載するところの圖繪は總て館員を派出せしめて其實景を摸寫せしものなれば毫も實地と違ふことなし

一本書記するところの社寺由緒、縁起等は往々奇談怪説の語之れなきも、ゆらりと雖とも妄りも取捨せず直ちも採用記載せしものあり幸も答ひると勿れ

一本書記載の沿革、土地、海面、人事等の事故は概ね其大略を掲げて細微も渉らず

一書中戸數、人口、里程其他の統計文字は總て該縣廳最近の調査と係るものを掲出す

明治三十年十月

編者誌

和歌山縣名所圖錄目次

和歌山市	○刺田比古神社	片岡町	○松生院	全上
	○圓福院	金屋町		
海草郡	○日前國郡阿神社	宮村	○瀧山神社	三田村
	○伊太新曾神社	西山東村	○加太神社	加太町
	○木本神社	西脇野村	○和歌浦	和歌町
	○報恩講寺	加太町大川	○矢ノ宮	雜賀村
	○雲蓋院	和歌町	○圓明寺	有功村
	○本恵寺	直川村	○總持寺	野崎村
	○榮徳寺	宮村	○慈光寺	和佐村
	○積ノ宮	紀三井寺村	○淨土寺	内海村
	○春日神社	大野村	○願成寺	興村
	○加茂神社	加茂村	○立神社	仁義村
那賀郡				

○熱田神社 岩出村
 ○福琳寺 池田村
 ○權現寺 池田村
 ○粉河寺 粉河町
 ○天野神社 天野村
 ○慈氏寺 久度山村
 ○隅田八幡宮 隅田村
 ○興山寺 安樂川村
 ○海神社 全上
 ○觀音寺 長田村

伊都郡

○天野神社 天野村
 ○慈氏寺 久度山村
 ○隅田八幡宮 隅田村
 ○勝利寺 九度山村
 ○仁徳寺 學文路村
 ○相賀八幡宮 橋本町

有田郡

○須賀神社 保田村
 ○深草寺 湯淺町
 ○國津神社 田柄川村
 ○淨妙寺 宮崎村
 ○稻名寺 保田村
 ○得生寺 糸我村
 ○天紳神社 藤並村
 ○淨教寺 田殿村
 ○顯國神社 湯淺町
 ○廣八幡神社 南廣村
 ○立紳神社 宮崎村
 ○常樂寺 全上
 ○宮原神社 全上
 ○稻荷神社 全上
 ○禪長寺 全上
 ○丹生神社 全上

○御靈神社 御靈村
 ○臥喜寺 石垣村
 ○吉祥寺 岩倉村
 ○淨土寺 五西月村
 ○石垣尾神社 石垣村
 ○岩倉神社 岩倉村
 ○丹生神社 鳥屋城村
 ○生石神社 全上
 ○興善寺 全上

日高郡

○小竹八幡神社 御坊町
 ○興國寺 由良村
 ○龍王神社 三尾村
 ○西遊寺 切目村
 ○印定寺 印南村
 ○光明寺 岩代村
 ○法傳寺 前部町
 ○須賀神社 上南部村
 ○下阿田木神社 川上村
 ○道成寺 鐘巻村
 ○日御崎神社 和田村
 ○切目神社 切目村
 ○光明寺 全上
 ○八幡神社 稻原村
 ○超世寺 上南部村
 ○須賀神社 全上
 ○上阿田木神社 川上村
 ○龍神鏡泉場 龍神村

西牟婁郡

○瀬戸鉦山鏡泉 瀬戸鉦山村
 ○寶滿寺 全上
 ○本覺寺 全上
 ○寶滿寺 下秋津村

- | | | | |
|----------|-------|----------|------|
| ○千光寺 | 上秋津川村 | ○大神社 | 下芳養村 |
| ○八幡神社 | 中芳養村 | ○專養寺 | 全上 |
| ○光福寺 | 長野村 | ○天滿神社 | 田並村 |
| ○尋藤寺 | 三柄村 | ○三寶寺 | 岩田村 |
| ○觀音堂 | 生馬村 | ○普光寺 | 岩田村 |
| ○日吉神社 | 生馬村 | ○觀國寺 | 南富田村 |
| ○日神社 | 東富田村 | ○熊野神社 | 西富田村 |
| ○草堂寺 | 東富田村 | ○八幡神社 | 和深村 |
| ○湖崎本ノ宮神社 | 串本町 | ○田島家祖先之碑 | 全上 |
| ○湖御崎神社 | 湖崎村 | | |
- 東牟婁郡**
- | | | | |
|--------|-----|-----------|------|
| ○赤島嶺泉場 | 勝浦村 | ○外ノ湯嶺泉場 | 全上 |
| ○越嶺嶺泉場 | 全上 | ○熊野夫須美神社 | 那智村 |
| ○背岸渡寺 | 那智村 | ○熊野丹波浦大神社 | 全上 |
| ○阿彌陀寺 | 色川村 | ○延命寺 | 宇久比村 |
| ○東仙寺 | 新宮町 | ○湯ノ峯嶺泉場 | 四村 |

和歌山縣名所圖錄目次終

和歌山縣名所圖錄

清水吉康著

論

和歌山縣(紀伊國)西新宮川以四ノ七郡一市ヲ管轄シ幅員三百十方里余、人口六十六方六百五十余ヲ有ス北東ハ和泉河内大和ニ界シ東南ハ大平洋ニ瀕シ西ハ内海ニ臨テ、阿波淡路ニ相對ス北方ヲ除クノ外周圍皆海ニ沿ヒ山岳ハ河内ヨリ來ルモノ多ク城山トナリ北城ト書シ大和ヨリ至ルモノ熊野高野等ノ峻嶺トナリ其支脈分クテ東北歐那ニ連直ニ海ニ突出ス紀ノ川ハ北部三郡ヲ貫流シ新宮川東南牟婁兩郡ノ間ニ注ギテ三重縣ノ界ヲ分ク地勢西北ハ稍平衍田野開ク東北ハ概テ幽陔險阻運便ナク又氣候暖和ニシテ民俗淳良ナリ、此地上古ハ土著各所ニ割據シテ互ニ其雄ヲ爭ヒレガ神武天皇之ヲ討テ平ラゲテ天道根命ヲ此土ノ國造トナシ給ヒキ中世ニ至リ土地ノ豪族割官僧徒等競ヒ起リテ泰略ヲ恣ニシテガ豐臣氏一統シテ之ヲ治メ弟秀長ニ賜フ後淺野氏相繼テ領主トナリキ徳川賴宣又代リテ茲ニ對シ世襲大凡二

百五十年ニ至ル王政維新ノ時藩ヲ廢シテ和歌山縣ヲ置キ南北平婁ノ阿那ヲ割キテ
三重縣ニ屬セシメタリ

○區劃、和歌山市、海草郡、那賀郡、伊都郡、有田郡、日高郡、西牟婁郡、東牟婁郡

○里程、東京ハ百六十里余、大阪ハ七十里、兵庫ハ二十七里、奈良ハ二十八里余、
三重ハ四十五里、徳島ハ二十一里余

○物産、物産ノ主要ナルモノハ木材及薪炭、密柑、梨、石炭、綿、漆器、醬油、紋羽、
燻肉、器具、傘、酢、水豆腐、鹹水産物、淡水産物、其他米穀ノ類ナリ

○氣候、温和

和歌山市

縣内第一ノ都市ニシテ紀ノ川河口ノ左岸ニ位ス面積凡五百五十余町歩、東西二十六
町、南北三十二町ニ亘リ番町、内町、宇治、湊、吹上、廣瀬、新町ノ七區ニ大別ス
市坊四百二十ヶ町ニ畫セリ、戶政一万三千二百八十餘、人口五万七千二百六十有餘ア
リ、往昔ハ若山又ハ巽山ト稱セシガ徳川氏國主トナリテ和歌山ト改メタリ、市内人
家栞比シ巨商輩ヲ連テ頗ル繁盛ナリ、地ニ縣廳、市役所、裁判所、警察署、郵便電
信局、病院、師範、中學、尋常高等及染織等ノ諸學校、皆舊丸ノ内ニ在リ、其他銀行
儲會社工場及ビ新聞社等市内各地ニ散在セリ、南海鐵道停車場ハ紀ノ川ノ北岸北口
ニアリ、紀和鐵道ハ中之島ヲ起點トシテ岩山ニ達ス、汽船航路ハ大阪神戸ニ達スル

モノト縣内各地ニ寄港シテ伊勢尾張ニ航スルモノトアリ又新田町ヨリ海草郡津ニ
達スル小汽船ノ航路アリ故ニ海陸交通至便ナリ、街道ハ大阪街道、大和街道、淡路
街道、熊野街道、熊野街道等アリ

和歌山城

市ノ中央虎伏山ニシテ三層ノ天主閣巍然トシテ翠松ノ間ニ聳ニ此城ハ
天正年間羽柴秀長其臣桑山重晴ニ命ジテ城カシメ後徳川家康淺野幸長ヲ當國ニ封
シ元和五年幸長ヲ安藤ニ移シ徳川頼宣ヲ封ス、頼宣ハ家康ノ子ニシテ紀伊家ノ祖
先ナリ、城内今ハ和歌山縣隊區指令部ヲ置ケリ

天妃山

城南岡公園内ニアル高丘ニシテ山上巖巖重疊シ岩上ニ殉國忠死ノ紀念碑
ヲ建ツ碑下ノ眺閣佳絕ナリ、東北田野渺々トシテ遠ク萬城、龍門ノ翠巒ヲ望ミ
南方遙ニ名草山腹紀三井ノ梵刹、和歌浦ノ勝區ヲ指點シ西北ハ城ノ老樹古木ノ蒼
々タル其光景能ク筆ノ及ブ所ニアラズ、明治二十九年縣ノ公園トナリ四季ノ草花
ヲ配栽ス花候ニ至レハ都下ノ士女袖ヲ連テテ群番ヲ極ム、西麓ニ縣社剱田比古神
社アリ世俗岡ノ宮ト云フ、松生院ノ古刹ハ其北隣ニアリ之ヲ法邊寺ト俗稱ス

西本願寺別院

本町ノ西ニアリ俗ニ鷲ノ森御坊ト云フ天正年中顯如上人ノ創建ナ
リ

禪林寺

島崎町ニアリ南嶽山ト号スル禪臨濟宗ノ古刹ナリ寛永八年ノ創立ニシテ
開山夷山大和尚、開基ヲ南龍院公トス境内ニ接機松、灰塚松、乳母櫻等ノ名木アリ

海草郡

本縣ノ西北部ニ位シ北ハ葛城山脈ヲ以テ和泉ニ界シ、東ハ那賀郡ニ隣リ、南ハ有田郡ニ接シ、西ハ海ニ瀕シ、和歌山市ヲ擁ス、面積十八方里、東西九里卅八町、南北十一里二十二町、人口十二万四千三百五十余アリ、雲山峯、藤白山、名草山等ハ皆郡ノ高嶽ナリ、地勢概テ平坦ニシテ地味肥沃ナリ、郡内ナ四ヶ町、卅八ヶ村ニ區劃シ、人口十二万四千三百五十九人ナリ有ス、郡役所ハ和歌山市内ニアリ、紀ノ川ハ源ヲ大和ノ大壺原ニ發シ郡ノ北部ヲ貫流シテ淡村ニ至リ海ニ注ク長流十五里、貴志川ハ其支川ナリ、此地ハ舊海部、名草二郡ノ地ナリシガ明治廿九年二郡ヲ合シテ本郡ニ改稱セリ

目方町 郡ノ南部海ニ濱スル所ニアリ熊野街道ノ一驛ニシテ人口四千八百余アリ

商家猶チ速チ頗ル繁榮ナリ製傘ヲ以テ名高シ、隣村鳳江ハ漆器ヲ産ス

加太町 郡ノ北西隅ニアリ加太灣ニ臨ミ友ヶ島其前ニ横タリ船ニ渡路ノ由

良ト相對ス、人口四千有餘人家連チセリ和歌山ヲ距ル三里十町道路平坦ナリ

友ヶ島 一名苦ヶ島ト云フ地ノ島、沖ノ島ヨリナル、沖ノ島ニ燈臺アリ第三等不

動白色ニシテ光達十七哩、山上砲臺ノ設ケアリ、遠島、神島ハ其屬島ナリ

和歌浦 和歌町ノ海邊ニシテ著名ノ勝地ナリ今ハ本縣ノ公園ナリ、近時阿波徳島

ニ定期航路開ケ南海鉄道ト連絡シテ日々數回渡船ノ發アリ

日前 國懸國神宮 宮村大字秋月ナリ、兩神宮一ノ境内ニ並ビ鎮座シ各官幣大社ナリ當社創立ハ垂仁天皇十六年四月八日名草濱ノ宮ニシテ此地ニ鎮座ス、社記ニ曰ク國造菟肥ニ云日前 國懸國大神ハ天照大神ノ前靈ニシテ其後威名狀スヤカラズ上古天照大神ノ天ノ岩窟ニ幽居シメシ時神靈ニ隨ヒ石凝結命ヲ以テ治工トナシ天ノ香山ノ金ヲ取リ天照大神ノ御像ヲ圖シ造ラシメ初度造ル所ノ日像鏡ハ是日前大神ノ神靈日矛ハ是レ國懸大神ノ神靈ナリ天津彦彦火瓊杵尊豐原ノ中國ノ主若トナリ天降リ玉ヲ時天照大神三種ノ神寶及ヒ種々ヲ授ケ玉トシテ神子二種ノ神寶ヲ授ケ瓊杵尊二種ノ神寶ヲ神皇產靈尊五世ノ孫天照根命ニ奉獻セシメ始メテ天照日本磐余彥天皇東征ノ時二種ノ神寶ヲ以テ同シク天照根命ニ託シテ齊祭セシメ天皇諸國ヲ經歴シ津ノ國難波ニ到リ天照根命二種ノ神寶ヲ奉獻シ紀伊國海部郡加太浦ニ到リ全所ヨリ木本庄ニ移リ木本ニシテ名草毛見郷ニ到リ琴浦ノ岩上ニ安處シ奉リ以テ天皇東征ノ祈禱ヲナセリ天皇即位二年春二月天照根命ヲ召シ詔曰朕今已歸神ヲ平ク海内無事汝能ク兩大神ヲ敬祭ス祈禱セシメ依テ遂ニ安定ヲ得タリ云々今汝ヲ以テ紀伊國造ト定任ス國名ヲ以テ桂氏トナシ水ヲ子孫ニ傳ヘ尙能ク兩大神ニ奉仕シ爾々神業ヲ恢弘シ實斷テ護リ奉レト是ニ於テ天照根命恭シク勅命ヲ蒙リテ退リ御間城入彦五十五天皇五十二年夏備入姬命天照大神ノ御靈ヲ奉獻シ本國

名草濱宮。遷座。奉。時。日前。國郡大陣。牙浦。名草濱宮。移。宮殿。並。
 一。數。三。年。同。五。十四。年。天照大神。宮。備。名。方。ノ。渡。宮。遷。移。結。了。時。雖。
 日。前。國郡大陣。大。御。宮。留。座。入。法。五。十。次。奉。天。皇。十六。年。名草濱宮。
 伊。太。所。曾。神。社。舊。地。名。草濱代宮。遷。奉。奉。御。座。今。此。地。即。是。是。レ。ナリ。
 御。神。寶。尤。悉。天。皇。御。奉。納。小。鏡。壹。面。五。瀨。命。御。奉。納。御。耳。矣。
 伊。太。所。曾。神。社。四。山。東。村。大。字。伊。太。所。曾。常。磐。山。三。鎮。座。在。國。郡。中。社。ナリ。祭。神。五。十。命。
 一。レ。レ。和。紀。六。年。十。月。初。亥。之。鎮。座。ナリ。日本。書。紀。神。代。卷。曰。五。十。猛。命。妹。大。屋。津。姫。命。
 次。孤。津。姬。命。凡。三。神。即。奉。渡。紀。伊。國。也。ナリ。日本。書。紀。神。代。卷。曰。五。十。猛。命。妹。大。屋。津。姫。命。
 未。是。日。分。遷。伊。太。所。曾。大。屋。津。姫。三。神。社。ナリ。寬。永。四。年。伊。太。所。曾。明。神。八。和。
 銅。六。年。十。月。初。亥。ノ。日。當。所。遷。移。給。了。ナリ。天。皇。御。奉。納。御。耳。矣。
 社。記。由。緒。曰。日本。書。紀。神。代。卷。一。書。曰。素。戔。嗚。命。降。其。子。五。十。猛。神。降。到。於。新。羅。國。
 居。曾。戶。茂。梨。之。處。云。初。五。十。猛。神。天。降。之。時。多。持。鐵。鞭。而。下。然。不。放。神。地。遂。以。持。鐵。鞭。始。
 自。筑。紫。凡。大。八。洲。國。之。內。莫。不。播。種。而。成。青。山。焉。所以。稱。五。十。猛。神。為。有。功。神。即。紀。伊。國。所。
 在。大。神。延。喜。式。神。名。帳。所。載。伊。太。所。曾。社。名。神。大。月。次。相。嘗。祈。嘗。也。
 當。社。例。祭。九。月。十。五。日。古。來。特。色。ノ。祭。式。ハ。陰。曆。正。月。十。五。日。卯。枕。祭。並。管。占。行。幸。同。
 六。月。晦。日。ハ。夏。越。祭。並。芽。ノ。輪。行。幸。ア。地。内。社。五。社。ヲ。實。物。ノ。主。ナ。リ。今。ハ。一。レ。ノ。祭。
 命。旨。上。通。ナリ。境。内。豐。萬。二。十。三。坪。余。

紀三井寺護國院

紀三井寺村。真言宗高野山末。寶龜元年。為。光。上。人。ノ。開。基。
 一。一。本。寺。十一。面。觀。世。尊。安。置。四。國。巡。禮。第。二。番。ノ。札。所。ナリ。僧。塔。伽。藍。高。層。具。備。
 寺。域。五。町。余。步。西。南。和。歌。浦。ノ。風。光。眼。前。現。ハ。以。道。淡。路。島。雜。質。及。
 一。レ。備。ノ。初。島。皆。一。時。ノ。中。一。樂。明。相。當。レ。ベ。カ。ラ。ズ。願。下。有。數。ノ。勝。區。ト。ス。

木本八幡神宮

西。島。野。村。大。字。西。ノ。庄。一。一。八。幡。社。祭。神。應。神。天。皇。日。靈。大。神。
 神。功。皇。后。三。座。ヲ。鎮。ス。由。緒。曰。本。神。ハ。應。神。天。皇。御。宮。入。遷。此。ニ。シ。テ。日本。書。紀。神。
 所。謂。紀。伊。水。門。ノ。地。即。是。也。同。書。神。功。皇。后。之。條。皇。后。隨。神。祇。教。征。三。韓。自。筑。紫。廣。庭。時。應。
 忽。龍。皇。子。起。師。以。待。之。命。武。內。宿。禰。皇。子。出。南。海。泊。于。紀。伊。水。門。云。云。欽。明。天。皇。ノ。御。
 宇。領。宮。ノ。地。ハ。神。殿。ヲ。造。リ。シ。同。境。内。式。社。カ。リ。シ。去。リ。天。正。十。三。年。後。阿。比。共。ニ。
 兵。災。一。罹。レ。テ。以。テ。兩。神。宮。ヲ。合。祀。シ。木。本。八。幡。宮。ト。稱。ス。即。チ。當。時。ノ。神。殿。之。也。領。宮。ノ。
 舊。地。今。尙。權。殿。神。樂。所。一。二。ノ。島。居。ヲ。建。テ。例。祭。陰。曆。八。月。十。四。十。五。ノ。兩。日。一。レ。レ。權。殿。
 一。於。テ。之。ヲ。執。行。ス。

龜山神社

三。田。村。大。字。和。田。一。一。宮。舊。神。社。ナリ。祭。神。八。彥。五。瀨。命。一。レ。レ。延。喜。式。神。名。
 帳。一。一。龜。山。神。社。同。一。一。神。殿。式。一。一。龜。山。五。瀨。命。在。紀。伊。國。名。草。郡。兆。城。東。四。一。町。
 南。北。二。町。守。戶。三。燈。ト。アリ。日本。書。紀。進。到。于。紀。伊。國。龜。山。而。五。瀨。命。莖。子。取。因。
 一。一。葬。龜。山。云。々。五。瀨。命。ハ。神。武。大。皇。ノ。皇。兄。一。レ。レ。東。征。一。レ。レ。從。レ。レ。一。レ。レ。港。一。レ。レ。至。テ。即。
 一。一。一。一。今。ノ。神。社。ハ。德。川。領。置。ノ。再。建。ナリ。丘。上。杉。松。鬱。蒼。一。レ。レ。地。頗。ハ。幽。邃。ナリ。
 一。一。一。一。を。た。け。び。の。神。代。の。御。辟。を。も。は。へ。て。風。は。け。し。き。龜。山。の。松。本。居。宜。長。

武内宿禰誕生地

安原村大字松原ニ生ズ。景行天皇ニリ仁徳天皇ニ至ル五代ノ明庭

長保寺

中村ニ在リ。舊和歌山藩主累世ノ菩提所ニシテ天靈宗ニ屬セリ。一徳

大同寺

有功村大字六十谷ニアリ。南嶽山ト稱シ大同年間傳教大師ノ創建ニ係リ

玉津島神社

和歌浦ニシテ、祭神ニ稚日女尊、神功皇后、次禮姫ノ三神ニシテ創

妹脊山

和歌浦東端ノ江中ニシテ三斷橋ヲ架ス山上ニ多寶塔ヲ建テ本尊釋迦牟尼

和歌浦名所

東照宮、南龍神社、望海樓ノ遺跡、龍山、片葉ノ角、芦邊茶屋、秋葉神

瀧

有功村大字園部圓明寺ノ山中ニシテ高サ五尺アリ下流數十歩ニシテ又新

那賀郡

海草郡ノ東ニ位シ北ハ高城連岸ヲモツテ和泉ニ界シ、東ハ伊都郡ニ隣リ南ハ有田郡

岩山村ノ清水

郡役所、警察署及郵便電信局ノアル所ニシテ有名ノ驛場ナリ、和

根來寺

岩山村ノ北西阪本村ニアリ大傳法院ト稱ス、真言宗新義派ノ總本山ナリ

高キ名僧ナリヤ、常例會式ハ毎月廿八日ニシテ參詣者常ニ紹ユルコトナレ

福琳寺 池田村大字豐田ニアリ、眞言宗金剛山ト稱ス、本尊ハ春日ノ作釋迦如來
ニ安座ス、縁起ニ因レハ靈異記ニ見ヘタル慈氏寺ニシテ寛仁二年伽藍ヲ再興シ勅
願寺トナレ給フ長元元年下總國平忠道謀逆ノ志アリ官之ヲ討征ス軍利アラズ全四
年源頼信ニ命シテ再討セシム其日當寺ニ於テ敵軍調伏ヲ斷ラセ給フ時ニ逆徒速ニ
亡滅セシカバ敵軍更ニ淺カラズ其頃改メテ寺号ヲ今ノ如ク定メ給フ云々

富士崎 紀ノ川ノ北岸伊都郡ニ接近スル所ニアリ、奇巖怪石水中ニ突出シ巖頭松
樹多シ枝ヲ連テテ瀕ニ臨ム蒼翠揃スベシ、東南ニ孤島アリ長サ百歩許、碧岸白沙
奇狀曾フヘカラス、島ノ側ニ富士石トテ水中ニ突起セル奇石アリ形富士ニ似タル
ヲ以テ富士崎ト号ス、紀ノ川長流勝區多シト雖ドモ此所ヲ以テ最第一トナス
富士の根にうさたつ雲と見ゆるかな岩にくたける水の白浪

龍門山 龍門村大字勝神ニアリ故ニ勝神山トモ稱ス、登リ二十五町、頂上ニ無慮ノ池
アリ、延文年間南北ノ兩軍相戦フ其將邊谷伊勢守戦死シテ南軍終ニ敗レタル所ナリ
名所舊蹟 御所ノ芝、野村、田中ノ井戸、田中村、大磯虎車塚、北大井、良禪阿闍
梨誕生地、竹、小竹ノ行宮跡、長田、桂谷ノ青木、麻生村

根來彫及左甚五郎 甚五郎ハ根來原本ノ産ナリ、天正ノ兵亂ヲ伏見ニ遭レ終ニ彼
地ニ没スト云、根來近在ニ甚五郎彫刻ノ重箱又ハ箱等所々ニ

伊都郡

國ノ東北ニ位ス、東ハ大和、南有田郡ニ接シ、西ハ葛城山脈ヲ以テ河内和泉ノ二國
ニ境ス、面積三十四方里、東西九里、南北十一里十三町、一町、二十一ヶ村ニ區劃
シ人口六万五千二百余アリ、地勢ハ南部ニ高嶺重疊シ北部紀ノ川沿岸ニ至リテ平衍
ナリ、高野山ハ南部ノ中央ニ屹立ス花阪ニ登路一里二十余町、北部ニ紀伊見解ア
リ高野街道トス、紀ノ川ハ東ニ來リ郡内ヲ曲流シテ那賀郡ニ入ル、丹生川ハ源ヲ
郡ノ東南隅ニ發シ中部ニ至リテ紀ノ川ニ入ル、高野街道一ハ那賀郡ヨリ來リ花阪ヲ
經テ高野山ニ達ス、一ハ笠田渡田ヲ經テ花阪ニ合ス、一ハ紀見村、學文路ヲ經テ神
谷ニ至リ高野山ニ達ス、紀和鐵道ハ大和五條ヨリ橋本ニ通ス

橋本町 郡中第一繁華ノ地ニシテ人口五千二百余アリ市街東西ニ長ク南北ニ、郡
役所、警察署、郵便電信局、稅務署等アリ、大和街道、高野街道ノ要衝トス、和
歌山ヲ去ル十一里廿八町

妙寺村 郡ノ名邑ニシテ紀ノ川ノ北、大和街道ノ宿驛タリ地ニ妙寺區裁判所アリ
和歌山ヲ離ル九里十二町、戸數一千有余アリ

眞山屋敷 九度山村ニアリ、眞田幸村閉居ノ地ナリ、今、善名精院ト稱スル一字アリ
妹脊山 紀ノ川ノ沿岸ニシテ那賀郡ノ境ニアリ、南岸ヲ妹脊山ト云ヒ、北ヲ脊山ト
云フ、中間ニ小島アリ形船ニ似タルヲ以テ船岡山ト稱ス、此間ヲ妹脊川ト名ツク

高野山金剛峯寺

十六

高野山ハ郡ノ南部ニアル高嶺ニシテ頂上ニ一大廣野ヲナシ僧房寺院許多ヲ連ス、弘仁七年僧空海此地ヲ奏請シテ講堂ヲ建シテ一大伽藍ヲ創建セテ金剛峯寺ト名ツテ是レ一山ノ總寺ニシテ其旨宗古義深ノ經本山ヲリ、奥ノ院ハ空海入定ノ地ニシテ高名世ニ懸レナシ、空海ハ讚岐ノ人、桓武天皇ノ御宇周ニ渡リテ學ヲ修シ歸朝ノ後金剛峯寺ヲ建テ廣ク諸國ヲ巡行シテ大ニ世人ノ信仰ヲ得タル高僧ナリ承和二年奥ノ院ニ於テ入定ス後弘法大師ノ謚ヲ賜フ境内、堂塔名區ノ勝レシモノハ金堂、御影堂、東塔、三味堂、大會堂、瑜珈塔、根本大塔、愛染堂、六時堂、勸學院、大學林、三結松、御社、山玉院、大塔鐘、大門、孔雀堂、四塔、女人堂、御廟、燈籠堂、骨堂、仙陵、玉川、水向地藏、腰廣堂、覺靈堂、汗カキ地藏、棺掛櫻、刈萱堂、波切不動、蛇柳、眞別所、親鸞上人時雨ノ御影、其他境内外名勝頗ル多シ

高野登山口

大門口ハ歷帝ノ臨幸シ玉ニシテ道ナリ、不動阪口ハ大阪京都地方ヨリシテ道ナリ、大瀨口ハ熊野ヨリスル道、龍神口ハ龍神ヨリ來ル、大峯口ハ東口トモイフ大峯山ヨリス、黒河口ハ大和及橋本ヨリノ近道ナリ、相浦口南谷ニアリ相浦村ヨリ來ル近道ナリ

高野村

接近十四字ヲ以テ成ル高野山字小田原ニ村役場、郵便局、警察分署、小林區署等アリ、商賣擔ヲ運テ高野土産ノ家商多シ又水豆腐製場二ニアリ、近年橋本迄電車ノ便開ケテヨリ登山者著シク多キヲ加ヘ春陽ノ候至レハ士女府原ノ群衆ヲ見

有田郡

縣ノ中央ニ位シ東ハ伊都郡及ヒ大和ノ一部ニ接シ、南ハ日高郡、北ハ伊都郡、那賀、海草ノ三郡ニ接ス然レテ西一面海ニ臨ミ、面積十九方里、東西十三里、南北三里、一町、二十ヶ村ニ區畫シ人口七万二百余アリ、地勢ハ西部ヲ除キ他ハ皆險峻起伏ス、氣候温和ニシテ地味肥沃ナリ、城ヶ森山脈ハ日高郡ノ界ニ連ナリ白馬岳、腰廣坂、鹿ヶ瀨峠等ハ皆風中ノ高峯ナリ、長峯山脈ハ北抵ニ連直シ生石ヶ峯、蕪阪ノ高岳ヲ起セリ、有田川ハ源ヲ高野山ニ發シ北流ニ至リテ海ニ注グ流程二十七里十八町、熊野街道ハ笑島、湯淺ヲ經テ鹿ヶ瀨ノ峻ヲ起ヘ日高郡ニ至ル、密柑ハ郡ノ特有ニシテ各地ニ産スト、藤下ニ保田村ヲ以テ最上トス

湯淺町

郡ノ西部海ニ瀕スル所ニシテ郡役所、警察長、郵便電信局、稅務署等ノ設ケアリ、市内富商多ク擔ヲ列テ頗ル繁昌ノ地ナリ、造醬油ヲ以テ名高シ、灣内常ニ漁船ノ發着アリテ運漕至便ナリ、人口一万四百有余ナリ和歌山ヲ離ル十五十町

箕島

郡ノ西北有田川ノ河口ニアリテ名邑ナリ、北 湊 笑島ノ西隣ニアリテ海ニ濱セリ郡中ノ産物多ク醬漬ヨリ輸出ス、大乗寺 御靈村大字徳田ニアリテ淨土宗觀西派ノ古刹ナリ、永祿十二年此地ノ領主

養源寺

十七

明惠上人 石垣村大字歡喜寺ノ人ナリ、父ハ平七武者重國、母ハ湯淺重宗ノ女ナリ、源平ノ争亂ニ重國上總國ニテ戰死セリ、孤兒トナリテ他家ニ養ハレ、後高尾山上覺上人ノ弟子トナリ、苦學ヲ積ミテ終ニ佛典ノ奧義ヲ修メ、年六十ニシテ高尾ニ寂ス、建永年間後鳥羽天皇ノ院宣ヲ蒙リ、高尾高山寺ヲ創建シ、其名普ク世ニ知ラル、又ノ名ヲ高辨ト云ヒ、上人初メテ山城ノ高尾ニ茶園ヲ開キ、後之ヲ宇治ニ移植セリ、實ニ吾國ノ茶コトニ起原ナルコトハ世ニ知ラル、ノ事蹟ナリ、村内ノ畑中ニ一ノ芝地アリ、コレ上人ノ誕生地ニテ、現今有志相計テ一大紀念碑建設ニ着手セリ

宗祇法師 應永年間下津野ニ生レ、連歌ヲ好ミ、服ヲ隨國ヲ巡遊シテ其名世ニ知ラル、中將姫ノ舊跡 糸我村大字中番ノ雲雀山得生寺アリ、(圖中詳記)
次ノ瀧 五四月村大字瀧坂ノ山中ニアリ、巖石ノ疊重セキ山頂ヨリ直下二十八丈幅ニ丈余、源ハ生石ヶ峯ヨリ發ス、流下有田川ニ注入ス、飛瀑ノ快絶百フベカキ之レ國內部智ニ次グノ故ヲ以テ此ノ名アリ
吾郡ニ瀑布甚メ多シ其略ヲ記セバ、能ヶ瀧、不動瀧、黒瀧ヶ瀧、純白瀧、烏瀧ノ瀧、下リ瀧、銚子瀧等ナリ

日高郡

縣ノ中部ニ位シ、東ハ大和ニ界シ、北ハ有田郡ニ隣リ、南ハ西牟婁郡ニ接シ、西ハ海ニ對ス、面積五十六方里、東西十三里、南北九里ニ亘ル、人口八万九千九百餘、二ヶ町三十五ヶ村ニ區劃セリ、地勢海岸ノ地ヲ除クノ外總テ高嶽峻嶺各所ニ起伏セリ、鉾尖、和田ノ高嶺ハ大和ノ國境ニ兼ヘ、笠塔ノ峯、虎ヶ峯ハ西牟婁ノ界域トナリ、虎ヶ峯ノ支脈ヲ中央ニ延ビテ清冷、矢筈ノ峻峯ヲ起シ引ヒテ又真妻山脈トナレリ、日高川ハ源ヲ龍神山中ニ發シ北城谷村ニ至リテ海ニ注シ、流長四十八里沿岸ノ地方ヲ日高谷ト稱ス、氣候海邊ノ地ハ温暖ナレハ山邊稍寒冷ナリ
御坊町 日高川ノ河口ニアリテ郡中第一ノ都會ナリ、郡役所、警察署、郵便電信局、區裁判所、稅務署等アリ、熊野街道ノ一驛ニシテ人家稠密セリ、戸數九百餘、人口五千三百七十ナリ有ス、此地ニ湯川直光ノ創建セシ本願寺別院アリ、日高御坊トイフ地名ノ因ヲ起ルトコロナリ、和歌山ヨリ行程十七里三十町
南部町 南部川ノ河口ニシテ西海ニ濱シ、販賣運搬頗ル繁榮ノ地ナリ、郵便電信局、警察分署ノ設ケアリ、戸數九百四十餘、人口五千七百十四人アリ、熊野街道ノ要路ニ當リ、田邊町トノ交通車馬ノ往復甚メ盛ナリ
衣奈八幡神社 郡ノ西北海岸ニ瀕スル衣奈村ニアリ、應神天皇御宮ノ遺跡ナリ、社殿ハ杉老樹ノ鬱蒼ナル小山ノ頂ニアリ、社頭ノ曬目頗ル佳ナリ

産湯井 比井崎村大字産湯ニアリ、武内宿禰、應神天皇ヲ守護シテ此地ニ來リ御

由良港 北白崎、南小浦崎トソ間ニアリ南海ノ良港ニシテ大船巨船ノ繫泊ニ適セ

日ノ御崎 御坊町ノ北方海中ニ突出スル岬端ニシテ三尾村ニ屬セリ、圓形白色ノ

德本上人誕生地 志賀村ニアリ上人ハ坊ニシテ念佛ノ志ヲ起シ後德本ト稱ス世ニ名

千里濱 南部町ノ海濱數十町ノ間ニ云フ、古ニヨリ名ニ聞ヘタル勝區ニシテ前面

龍神温泉 日高川ノ水源龍神村ニアリ其功驗ノ著キハ夙ニ世人ノ知ルトコロニ

龍神温泉 日高川ノ水源龍神村ニアリ其功驗ノ著キハ夙ニ世人ノ知ルトコロニ

龍神温泉 日高川ノ水源龍神村ニアリ其功驗ノ著キハ夙ニ世人ノ知ルトコロニ

西牟婁郡

縣ノ南部ニ位ス東ハ東牟婁郡ニ界ホ、北ハ大和及日高郡ニ連、西南一對海ニ面
ス、面積六十五方里、東西二十一里、南北十六里十九町、二町四十ヶ村ニ分割シ人
口八万六千三百有余アリ、地勢ハ山嶺ニシテ平地ニ乏シク海岸屈曲シテ島嶼多
大塔ヶ峯ハ東西牟婁兩郡隔山ノ根底ニシテ山頂ニ峯ニ分シ法師ヶ峯、三日ノ森、牛
作ヶ岳等ノ高嶺ヲ起セリ實ニ縣内第一ノ高峯ナリ海面ヨリ高キコト三千八百七十尺
、登路四十八町アリ、城ヶ森山脈ハ日高ノ郡界ニ亘リ、安塔ヶ峯、分龍山ハ中央ニ
聳立シテ脈ヲ南北ニ引ケリ、富田川ハ源ヲ大和ノ界ニ發シ南富田村ニ至リテ海ニ入
ル長流二十五里、其他日置川、秋津川等皆郡ノ大河ナリ、龍野街道ハ田邊ヨリ分レ
テ二トナリ一ハ富田、周參見、串本ヲ經ルモノト一ハ栗柄川、近露ヲ經ルモノトニ
シテ何レモ東牟婁新宮ニ達ス道路峻險ニシテ串本以東田邊附近ヲ除クノ外ハ何レモ
車ヲ通セズ、本郡ハ元東牟婁郡ト合シ單ニ牟婁郡ト稱ヘシガ明治十二年東西ニ分割
セリ

田邊町 秋津川ノ河口ニシテ田邊灣ニ臨ミ縣内第二ノ都邑ナリ、郡役所、裁判所

警察署、郵便電信局、中學校、稅務署及銀行、會社等アリテ市内殷盛商賈頗ル繁

昌ナリ、港内常ニ船舶碇泊シ日々漁船ノ來往アリ、田邊城ハ慶長十一年淺野氏ノ

築ク所ニシテ徳川顯宣當國ヲ領スルニ當リ老宰安藤直次ヲシテ居城セシム其子孫

相繼以明治維新ニ至レリ

串本町

郡ノ東南隅ニアリ東海ヲ隔テ、大島ト相對シ、西ニ色海ニ面セリ、郵便電信局、漁業會社、精米會社及銀行等ノ設ケアリ人家稠密富強殊ニ多シ

開羅神社

田邊町ノ東端湊村ノ神田ニアリ縣社ニシテ本殿ニ伊邪那美命及ヒ天照大神ヲ齊キ祀レリ源平ノ亂ニ熊野別當湛僧ト云ヘル人神前ニテ赤白ノ鷄ヲ闘ハシメテ自カラ去就ヲ決メテリ因テ社号トナレリ

湯崎温泉

瀬戸館山村ニアリ風俗ニ長ク近時浴客益々盛ナリ

潮ノ岬

本縣ノ最南端潮崎村ニアリ岬角ニ第一等不動白色ノ燈臺アリ光達二十里蟾蜍巖 稻成村ニアリ瀨流ニ臨ミテ巨巖屹立相並ベルノ巖恰モ蟾蜍ノ如シ其他山腹ニ至レバ奇巖怪石大小羅列シ形体各々極リナク實ニ一區ノ絶勝ナリ又上秋津川

ニ至ル道路川ニ沿フテ登閣ノ仙境アリ奇勝曾テ可カラズ熊野ノ勝景ヲ探ラント欲セバ先ツ茲ニ至リテ一驚セヨ

辨慶

田邊町ニ生誕ス長ズル及ビ誓テ京都ニ於テ學ビ傍ヲ軍醫ヲ修セリ、後武藏坊辨慶ト稱ス

野長瀬六郎

近野村大字近露ノ人ナリ、親其親玉熊野ニテ運レテ吉野ニ向ヒ給ハントセン時ニ玉座庄司親王ヲ襲撃シテレハ瀨六郎庄司ト追ヒ親王ヲ救ヒ奉リケリ

東牟婁郡

本縣ノ東隅ニ位ス、東北ハ大和國及ヒ南牟婁郡ニ接シ、西ハ西牟婁郡ニ隣リ、東南大洋ニ面セリ、面積八十一方里、東西八里、南北十里、一町三十ヶ村ニ區分セリ、人口七万五千五百七十餘、地勢ハ全部皆峻山高峯ニシテ平地少クシ海岸屈曲多ク島嶼多シ、郡ノ高嶺ハ大雲取、小雲取、那智山、妙法山等ナリ大和ノ國界ニ野頭山、果無山、西牟婁郡ノ界ニ大塔ノ峯皆全部ニ支脈ヲ連テ峻峻最モ甚クシ、新宮川ハ源ヲ大和國金剛山ニ發シ新宮ニ至リテ海ニ注シ注ス法程十二里二十六町、那智川ハ源ヲ那智山ニ發シ天滿ニ至リテ海ニ注シ、古座川ハ源ヲ大塔ヶ峯ニ發シ古座ニ至リテ海ニ入ル流長十六里、熊野街道ハ一ハ串本ヨリ來リ天滿ニ經テ新宮ニ入ル之ヲ大邊地ト云フ、一ハ本宮ヨリ來リテ新宮ニ達ス之ヲ中邊地ト云、大邊地ハ車輛ヲ通レ道甚メ易シ、氣候ハ海邊殊ニ温暖ナレドモ山邊稍寒冷ナリ、地味肥沃ナクズ

新宮町

新宮川ノ河口ニ臨ミ市街ヲナセリ、郡役所、警察署、裁判所、郵便電信局其他銀行會社ノ設ケアリ市内商賈繁盛ヲ述テ頗ル繁榮ノ地ナリ、戶數二千七百七十五人口一万三千八百餘有アリ、和歌山ヲ離ル五十七町十八町、熊野速玉神社ハ此地ニアリ縣社ニ列ス、新宮城ハ市ノ東丘阜ノ上ニアリ、淺野左近ノ居城ナリシガ元和五年水野重英之ニ移リ大ニ修繕ヲ加ヘ明治維新ニ至レリ

勝浦灣

熊野灣ノ北ニアリ、南太地崎、北大乙崎ノ内部ヲ云フ勝浦港附近鎮泉

多ク名ケテ赤島、外ノ湯、越瀬ノ湯ト云フ、日々派船ノ寄港アリテ甚ダ至便ナリ

大島 古座村ノ南、海中ニアル一島ナリ周田四里、人口二千二百四十有ス、大島浦ニハ船船常ニ碇泊ス、樞野崎ハ島ノ東端ニシテ第二等旋回白色ノ燈臺アリ、光

遠十七海里ニ及ブ明治廿三年土耳其軍艦ノ沈没セシ所ナリ

那智瀧 那智山中ニアリ吾國第一ノ瀑布ニシテ直下八十余丈飛瀧神社即チ之ナリ雄壯譽フルニ物ナシ其他四十有余ノ瀑布アリ、嶺上地平カケル所アリ花山法皇ノ三年幽棲シ給ヒタル行宮ノ跡アリ法皇櫻ヲ植ヘ給ヒタル

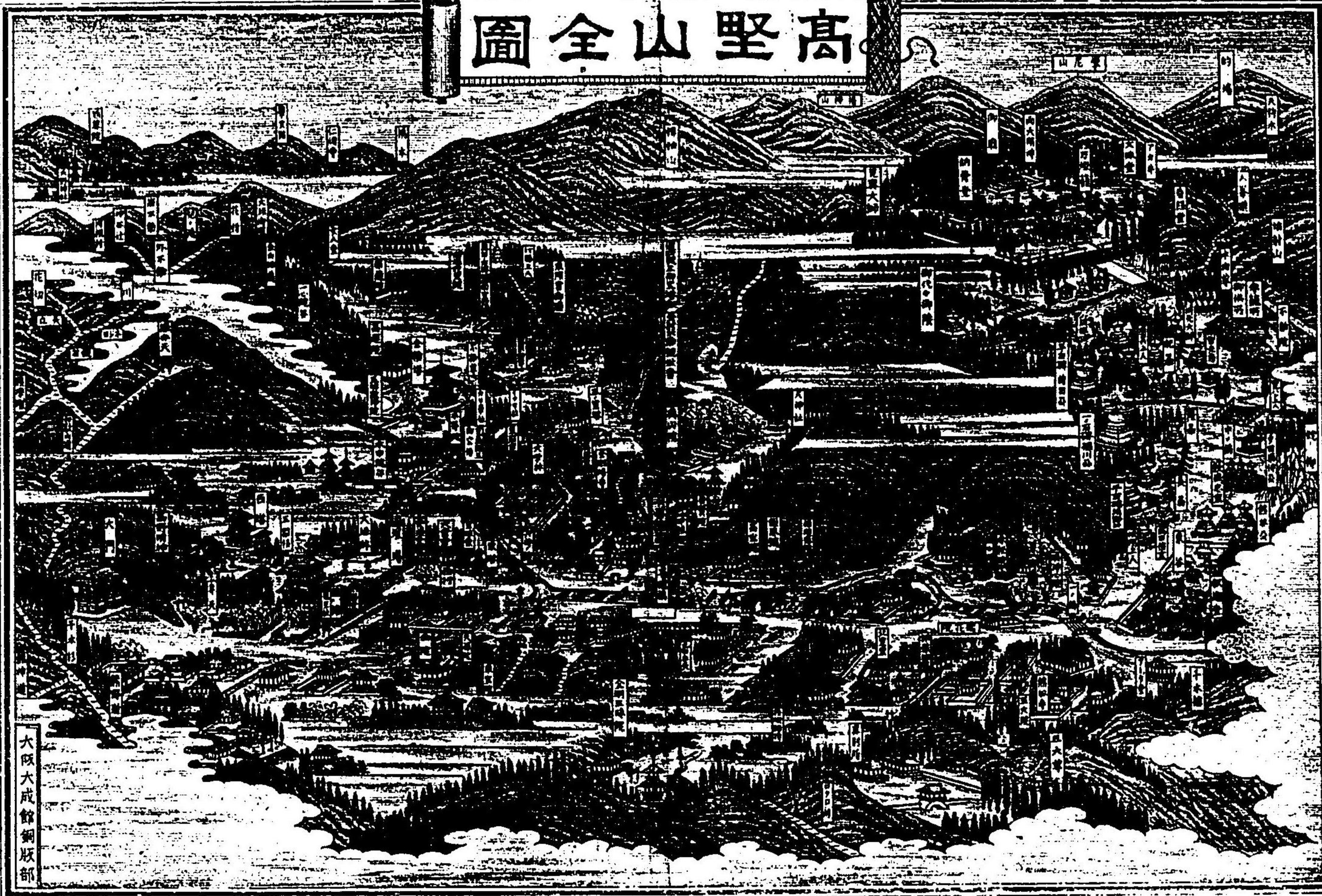
徐福墓 新宮町ノ海濱ニアリ昔支那始皇帝徐福ヲシテ不老不死ノ神藥ヲ求メシメシニ熊野ニ來リテ終ニ歸ラズ後死シテ此所ニ葬レリト云碑ハ徳川頼宣ノ建立ナリ

熊野川 新宮川ノ上流北山川ヲ上ルコト三里餘ニシテ色ル八町ノ奇景アリ河水深ク流ヨ其色藍ノ如ク兩岸絶壁ノ光景絶ク筆ノ盡ス所ニアラズ同人遊客來リ遊ブ者多シ

郡内名地 浦神灣、宇久井灣、古座浦、向島、須江崎、本宮、天満、濱ノ宮、三輪崎神倉山等ナリ國中ニ記スルモノ甚ニ多シ

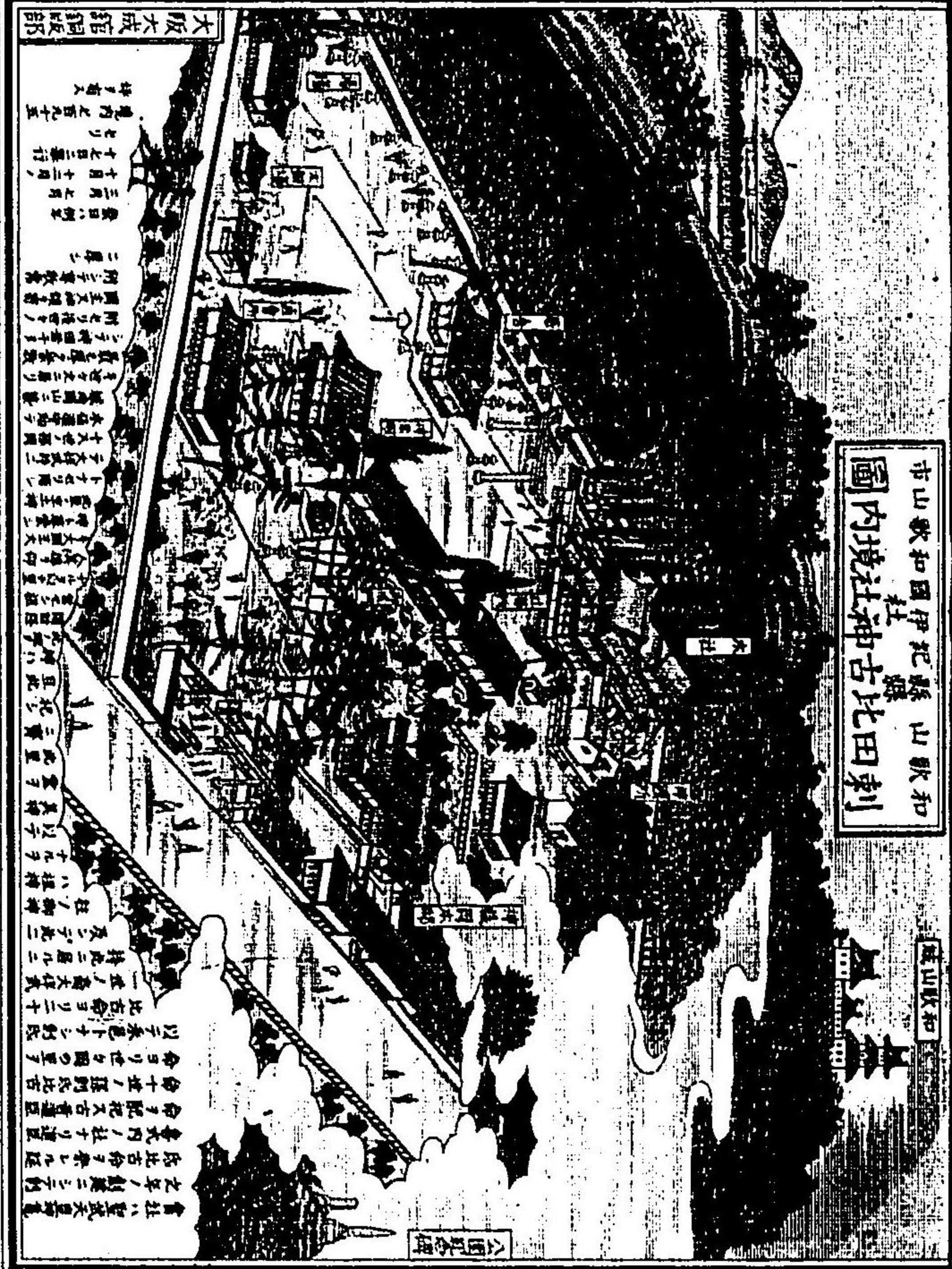
熊野座神社 本宮ニアリ國幣中社ニシテ崇神天皇ノ御宇創建ス

高堅山全圖



大阪大成館版部

市山歌知國伊托縣 山歌知
 圖內境社申古比田刺



山歌知
 縣伊托國

大阪大成組
 繪

今社
 繪

之社、伊托、三、

此社、伊托、三、

命、伊托、三、

命、伊托、三、

命、伊托、三、

命、伊托、三、

命、伊托、三、

命、伊托、三、

命、伊托、三、

命、伊托、三、

命、伊托、三、

命、伊托、三、

命、伊托、三、

命、伊托、三、

命、伊托、三、

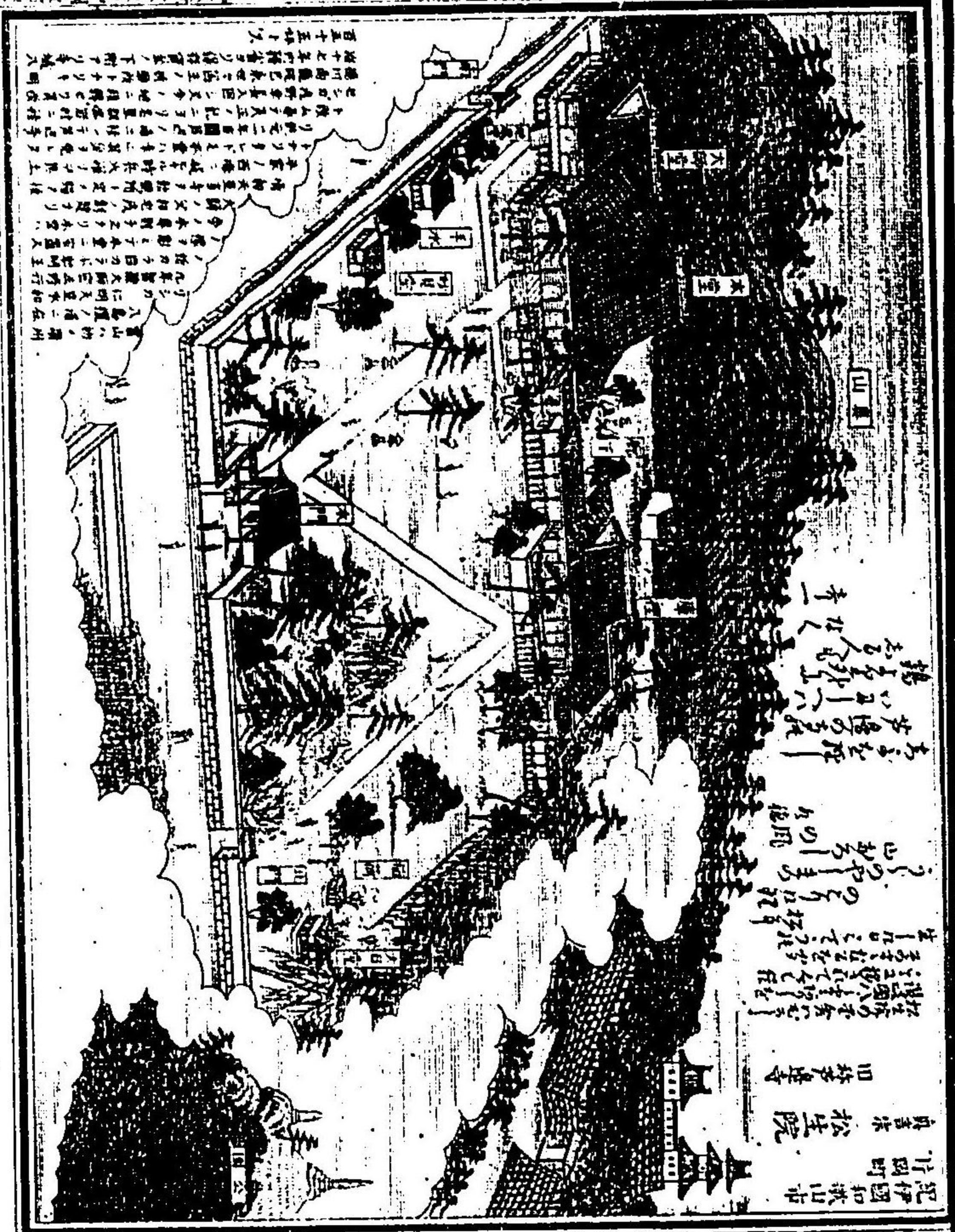
命、伊托、三、

命、伊托、三、

命、伊托、三、

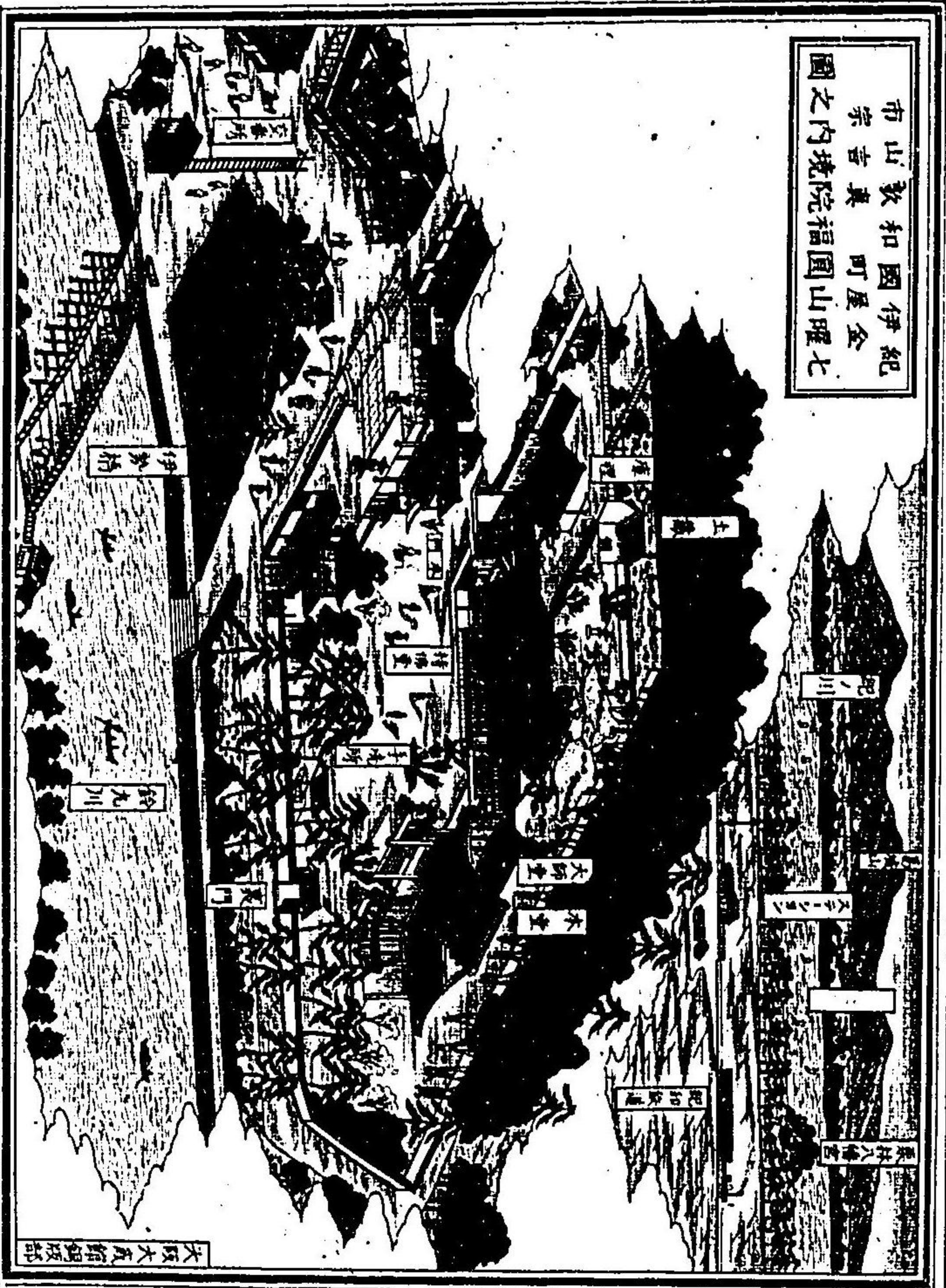
命、伊托、三、

大坂の陣 陣城の図



大坂の陣 陣城の図

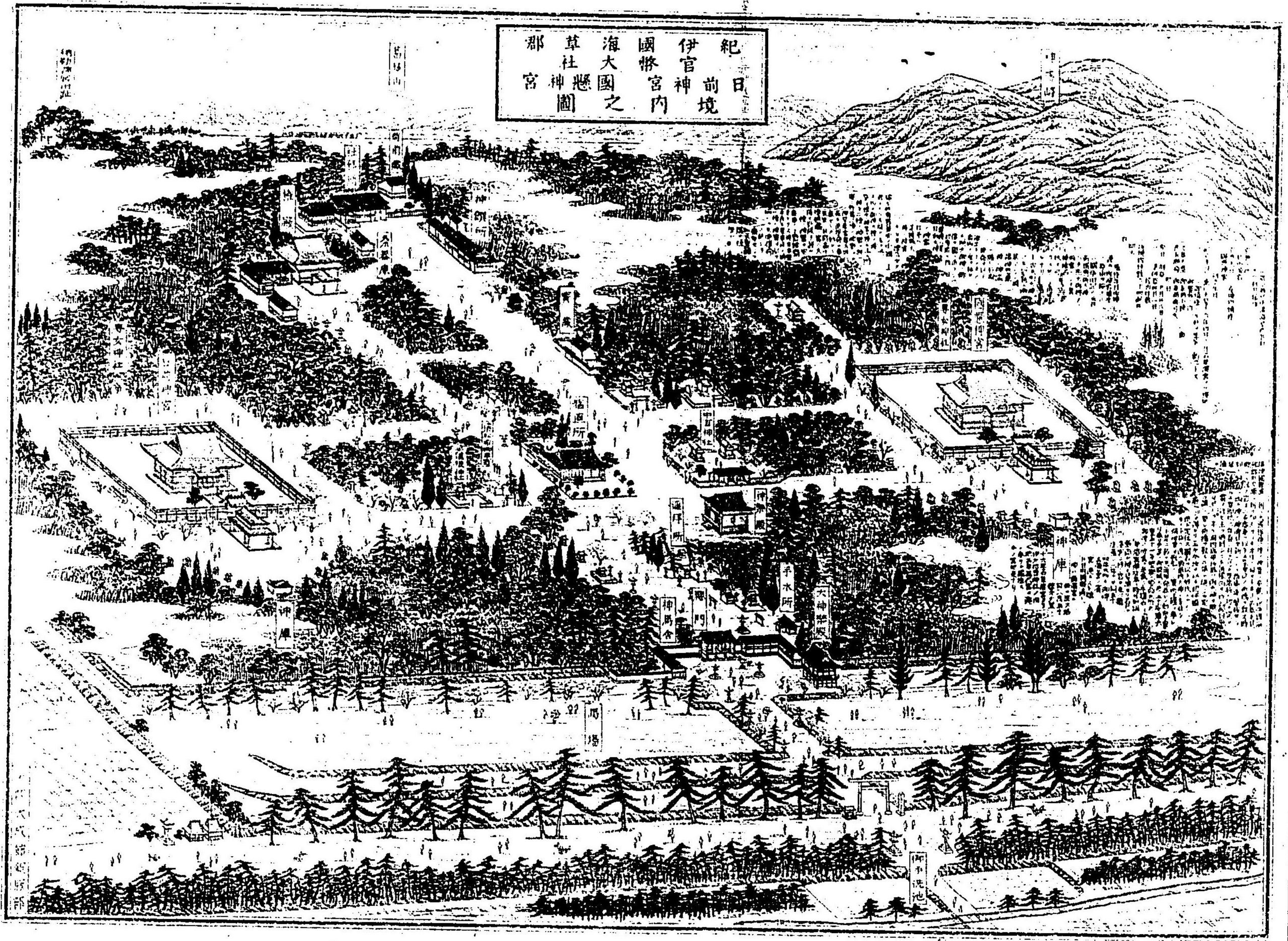
此の陣城は、大坂の陣の時、徳川家康が築いたものである。この陣城は、大坂の陣の時、徳川家康が築いたものである。この陣城は、大坂の陣の時、徳川家康が築いたものである。



起伊屋全
 都吉真
 七曜山福院境之內

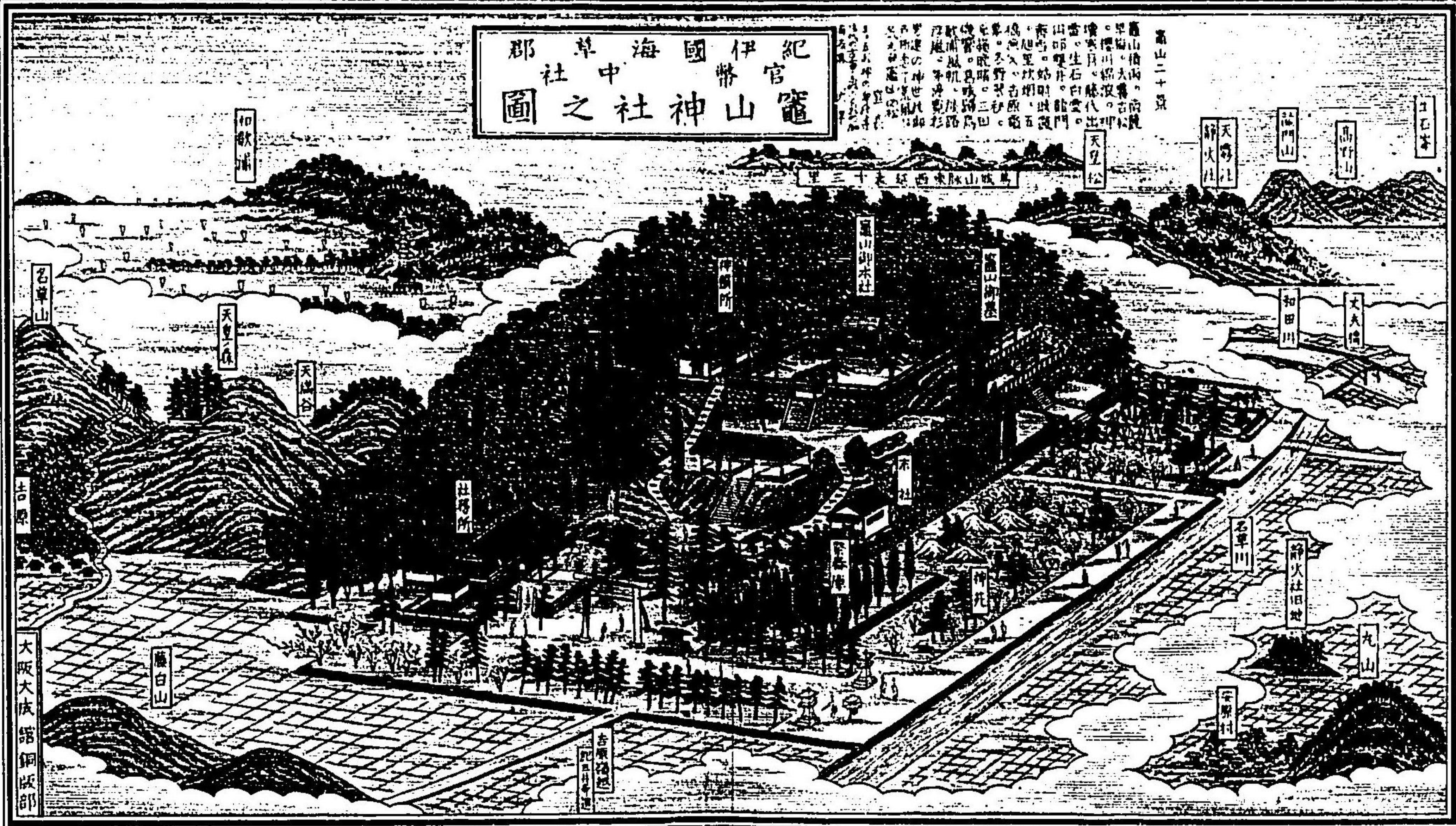
大坂大藏院

紀日
伊官前境
伊官神宮內
國幣宮內
海大國之
草社懸圖
郡宮

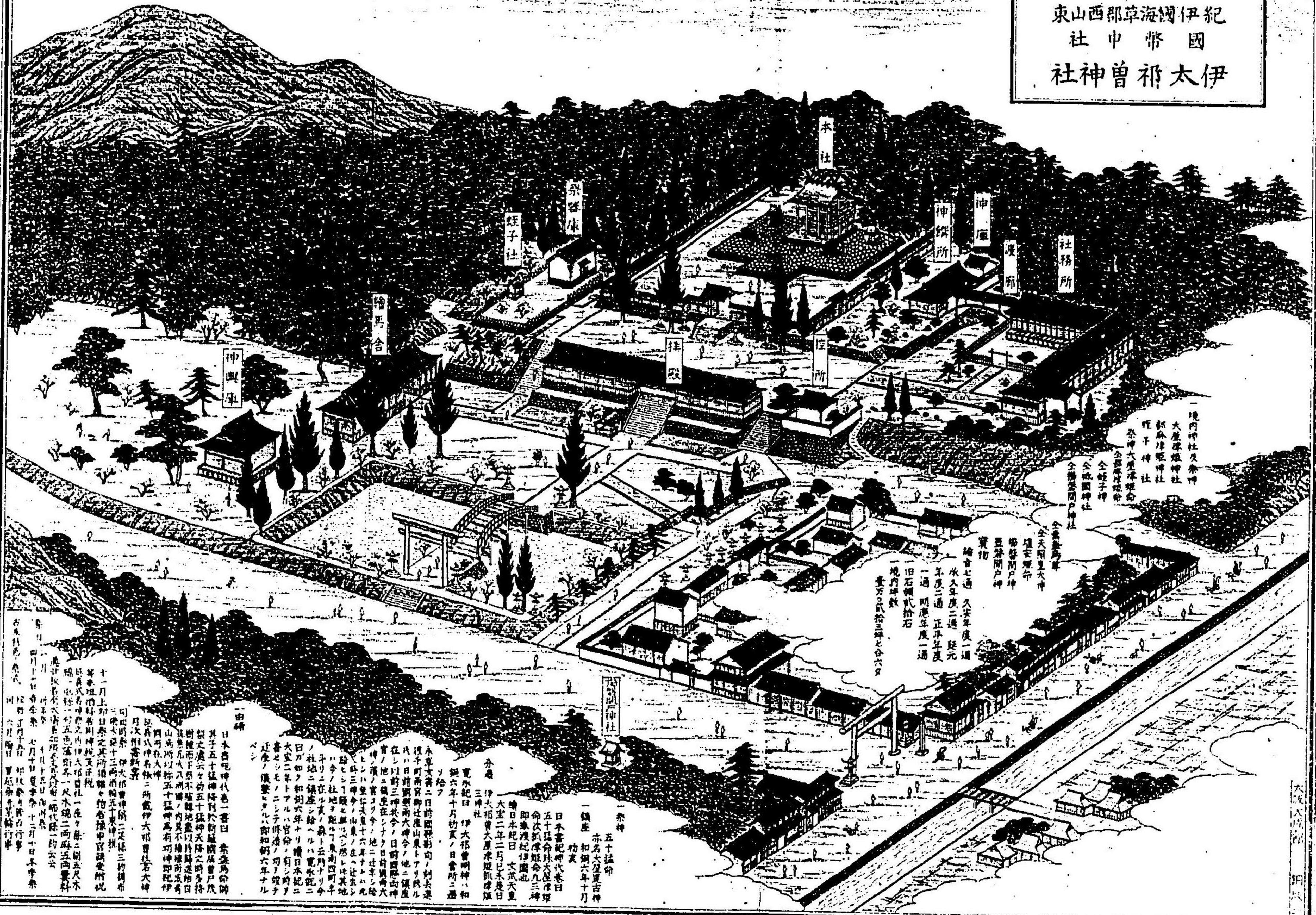


紀伊國海草郡
官幣社中之山
竈之神社之圖

竈山二十景
竈山頂山、南麓
櫻山、生石、白雲
天竺、天竺、天竺
天竺、天竺、天竺
天竺、天竺、天竺



東山西郡草海國伊紀
社中帶國
社神曾禰太伊



日本書紀神代卷一書曰 余我命神
其子五十孫降於伊弉諾伊弉
美尊天孫於五十孫神天孫之國
於伊弉諾伊弉美尊天孫之國
其地不遠於五十孫神天孫之國
其地不遠於五十孫神天孫之國
其地不遠於五十孫神天孫之國
其地不遠於五十孫神天孫之國

伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊

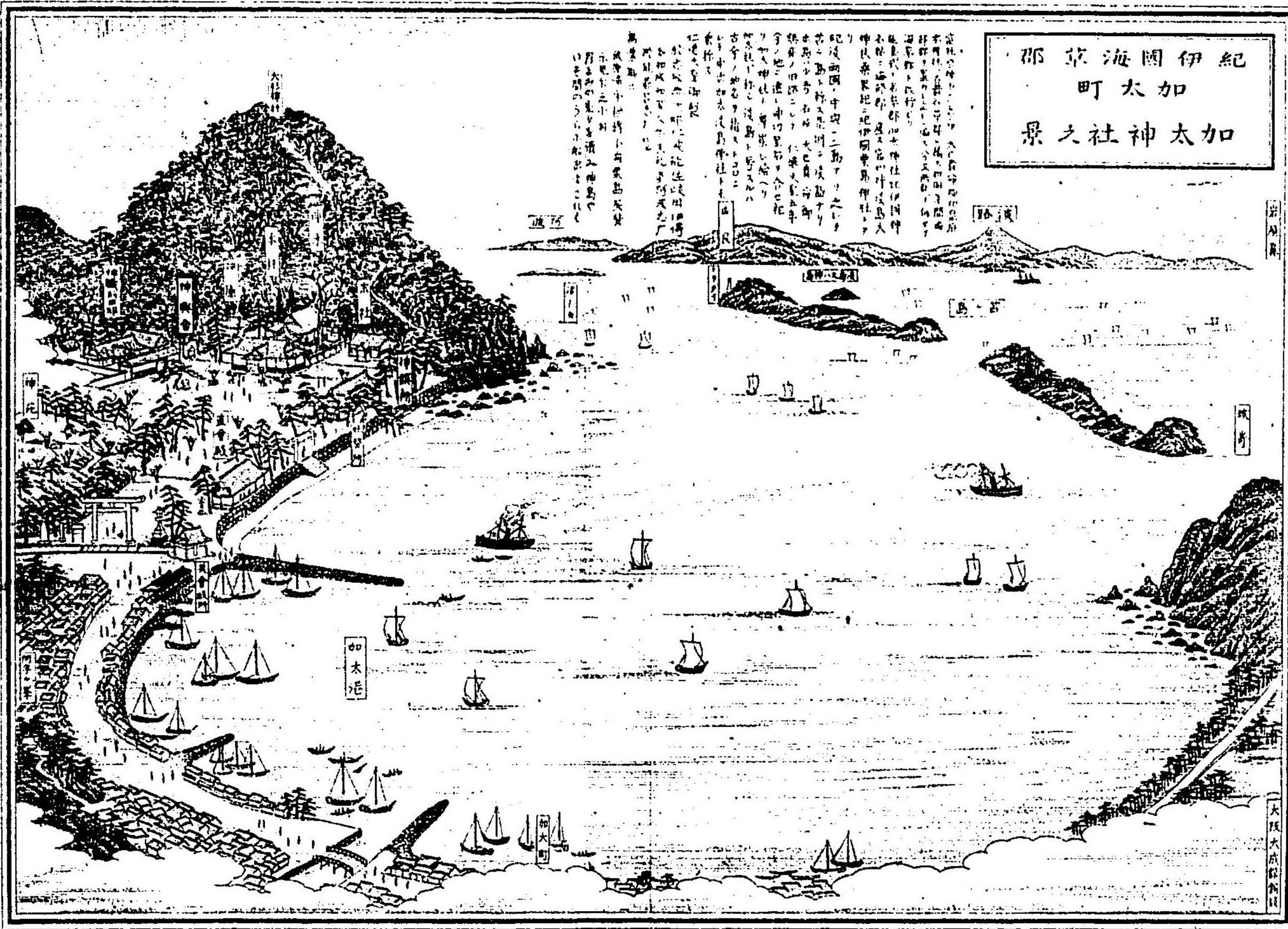
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊

伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊

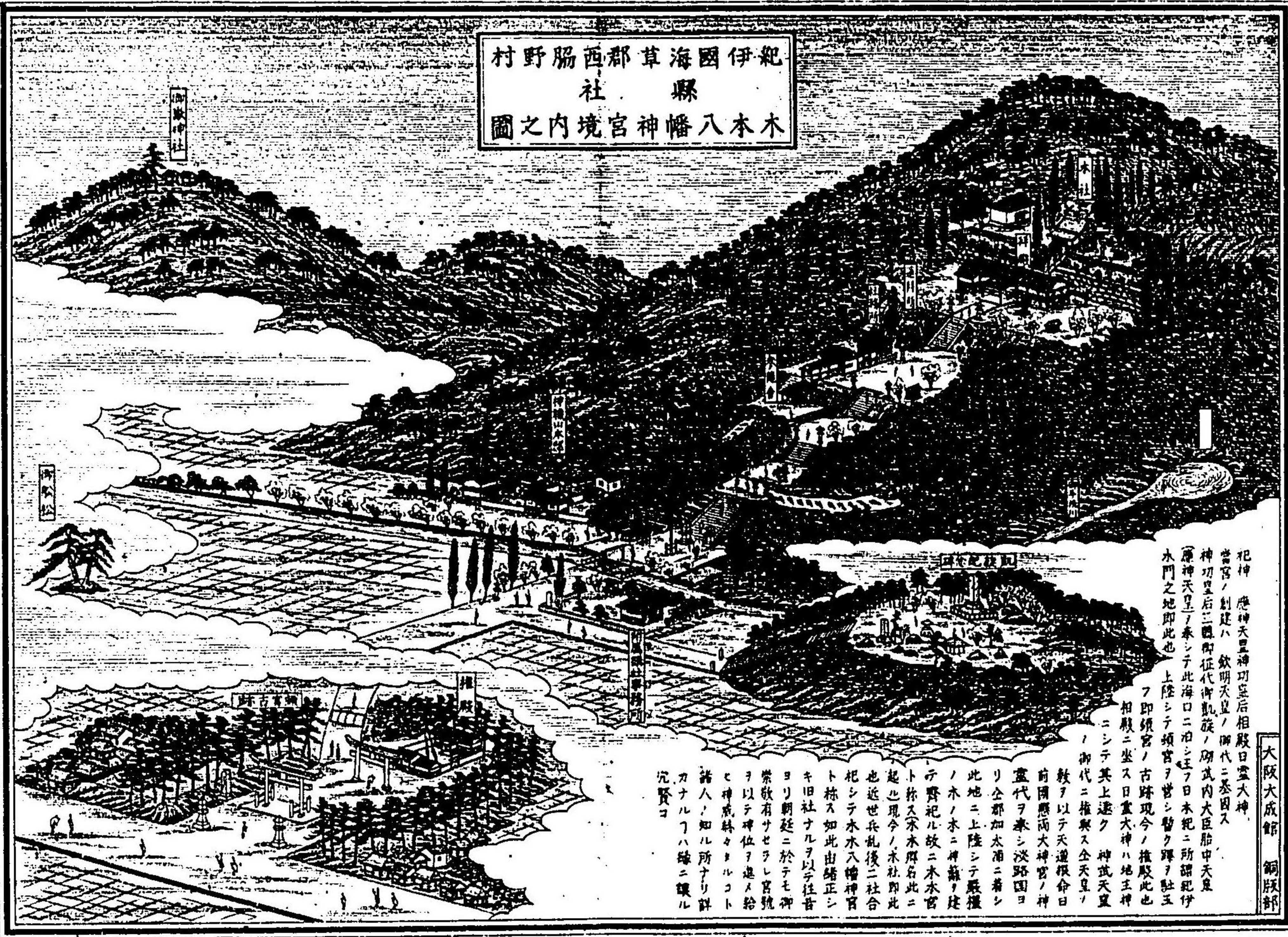
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊

伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊
伊弉諾伊弉美尊

紀伊國海草郡
加太町
加太神社之景



紀伊國海草郡西野村
 縣 社
 木本八幡神宮內境之圖



大阪大成館 銅版部

祀神 應神天皇神功皇后相殿日靈大神
 當宮ノ創建ハ 欽明天皇ノ御代ニ奉因ス
 神功皇后ニ體附征伐新羅ノ御武内大臣胎中天皇
 尊神天皇ヲ奉シテ此海口ニ泊リテ日永紀ノ所謂紀伊
 水門之地即此也 上陸シテ頓宮ヲ營シ暫ク踞リ駐王
 ヲ即頓宮ノ古跡現今ノ推殿此也
 相殿ニ坐ス日靈大神ハ地王神
 ニシテ其上速ク 神武天皇
 御代ニ推舉ス全天皇ノ
 教ヲ以テ天運根命日
 前國爾爾大神宮ノ神
 靈代ヲ奉シ淡路國ヨ
 リ企郡加太浦ニ着シ
 此地ニ上陸シテ嚴獲
 ノ木ノ木ニ神籬ヲ建
 テ示野祀ル故ニ木本宮
 ト稱ス又木本原此ニ
 起也現今ノ木本即此
 也近世兵亂後ニ社合
 祀シテ水本入幡神宮
 ト稱ス如此由歸正シ
 キ旧社ナルヲ以テ往昔
 日リ朝廷ニ於テモ御
 崇敬有サセラレ宮號
 ヲ以テ神位ヲ進メ給
 ヒ神威赫々タルコト
 諸人ノ知ル所ナリ詳
 カナルヲ八幡ニ號ル
 況賢コ

和歌浦真景 紀伊國

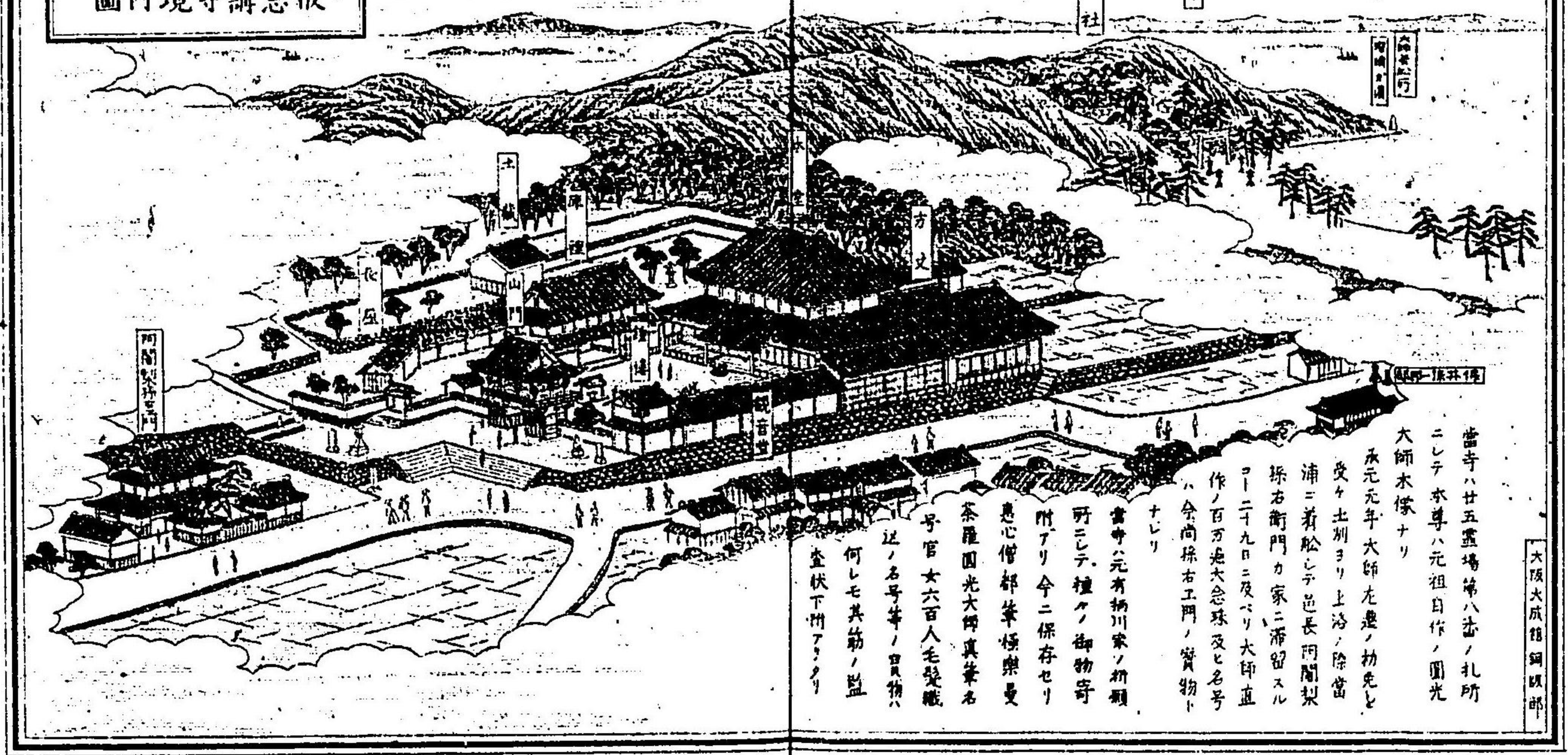


元祭天皇御后衣通姫
 神祇
 己かよにの来(さよひま)
 しものをまほひひま
 山辺赤人
 志の浦(まみ)みまの
 あー(ま)まー
 田嶋(は)ま
 云津島(ま)まの
 まはけの(ま)ま
 和歌の(ま)ま
 公任卿
 御蔵歌
 ゆき(ま)ま
 入江(ま)ま
 神と(ま)ま
 入江の(ま)ま
 大上天皇
 和歌浦(ま)ま
 法皇御光殿
 阿波
 出島
 米栄
 淡路
 東照宮
 阿波
 淡路
 出島
 米栄
 阿波
 淡路
 東照宮
 阿波
 淡路
 出島
 米栄
 阿波
 淡路
 東照宮
 阿波
 淡路
 出島
 米栄
 阿波
 淡路
 東照宮
 阿波
 淡路
 出島
 米栄

尚社勅文之写
 紀伊國海部郡
 玉津島明神應
 化之神也
 聖武天皇元冬
 十月辛子紀伊國詔
 曰
 西野原名爲明光
 神聖置守戸勿令
 荒換春秋二時差
 護官人莫祭玉津
 島之神云々

大坂大成館 銅版部

紀伊國海草郡
 加太村大字川
 淨土宗西山派
 報恩講寺境內圖



大坂大成館編輯部

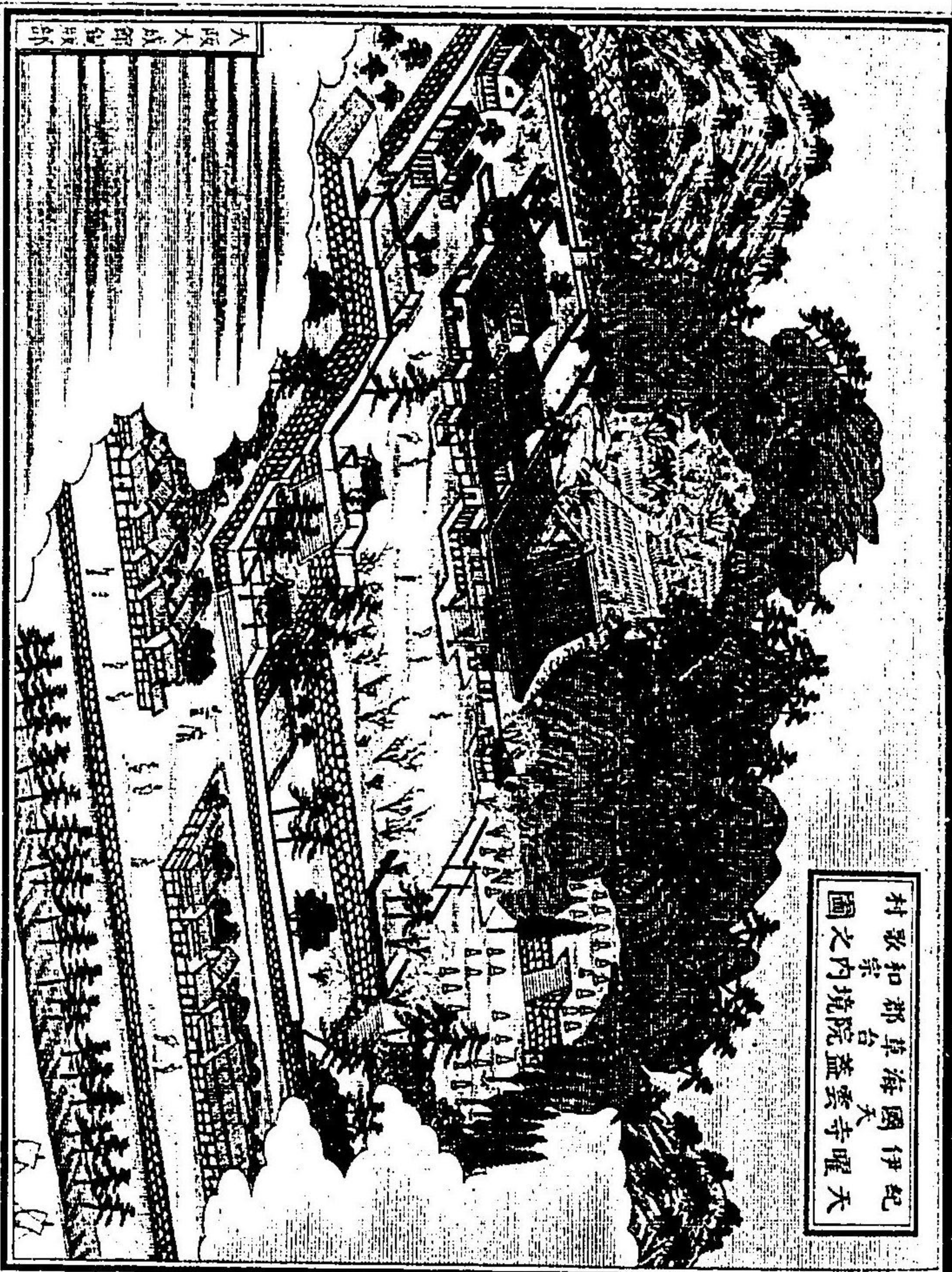
當寺ハ廿五靈場第八番ノ札所
 ニシテ本尊ハ元祖自作ノ圓光
 大師木像ナリ

承元元年大師左邊ノ劫先ト
 受テ土別ヨリ上浴ノ際當
 浦ニ着船シテ道長門關梨
 孫右衛門カ家ニ滞留スル
 コニ九日ニ及ベリ大師直
 作ノ百万遍大念珠及ヒ名号
 ハ会向孫右工門ノ寶物ト
 ナレリ

當寺ニ元有柳川家ノ祈願
 所ニシテ種々ノ御物寄
 附アリ今ニ保存セリ

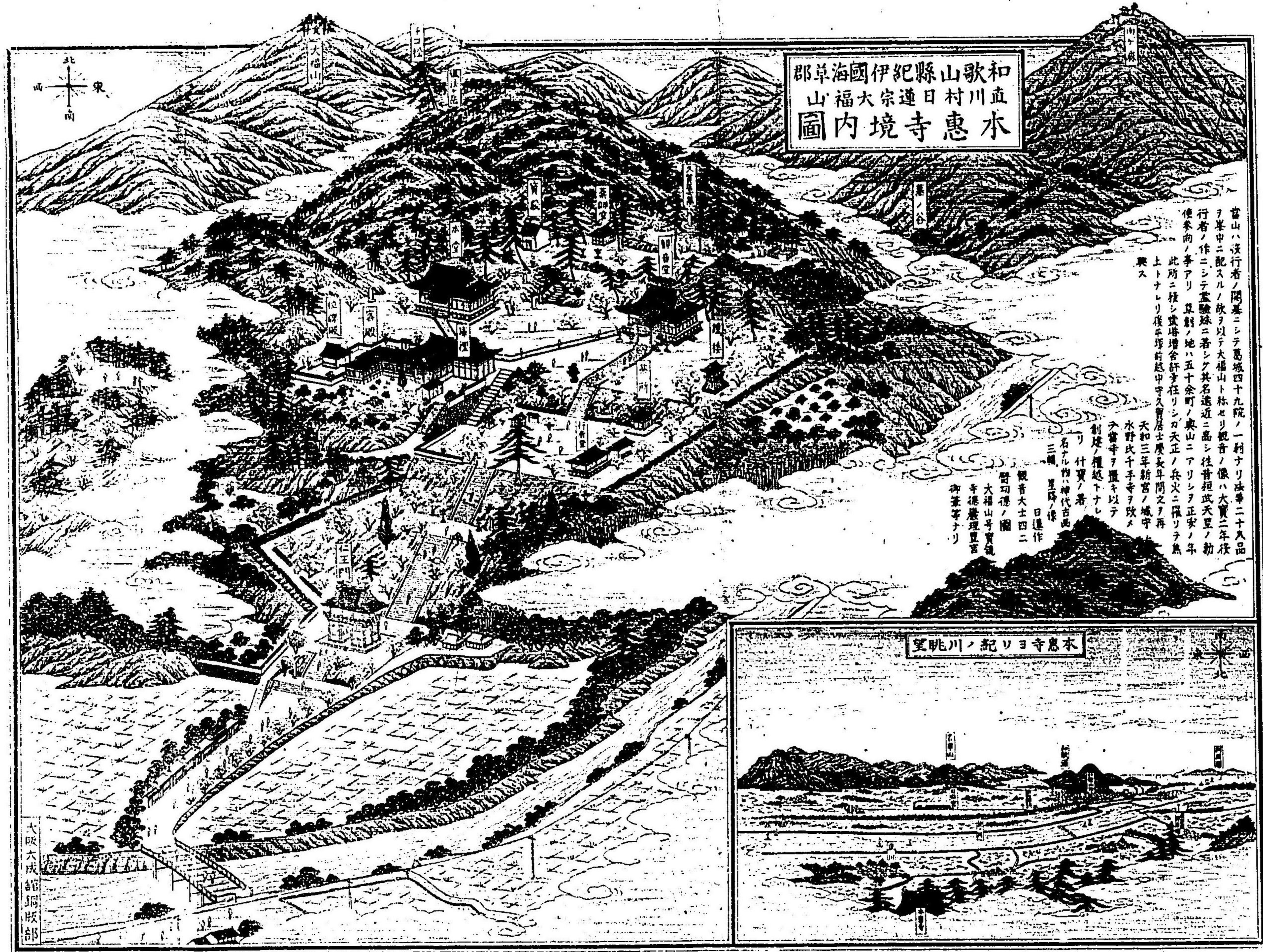
惠心僧都筆極樂曼
 荼羅圓光大師真筆名
 号官女六百人毛髮藏

延ノ名号等ノ目録物ハ
 何レモ其後助ノ監
 査伏下州アリ



天曜寺
伊國海臺郡
和宗內院之
村圖

大坂大藏新地



和歌山縣紀伊國海草郡
直川村日蓮宗大福山
水惠寺境内圖

當山ハ没行者ノ開基ニシテ萬城四十九院ノ一刹ナリ法華二十八品ノ經中ニ配スルノ故ヲ以テ大福山ト稱セリ觀音ノ像ハ大寶二年没行者ノ作ニシテ靈驗ニ著シク其名遠近ニ高シ往昔桓武天皇ノ勅使奉向ノ事アリ草創ノ地ハ五十余町ノ東山ニアリシテ正安ノ年此功ニ種シ寶塔増舎軒宇在リシコト天正ノ兵火ニ罹リテ無上トナレリ後平野町越中守久曾居士慶長年間之ヲ再興ス

水惠寺ヲ置キ以テ
創建ノ禮越ナレ
リ竹賢ノ著
名ナル神代古馬
三編ノ傳
觀音大士四二
臂功德ノ圖
大福山号寶鏡
寺德慶理豆宮
御筆等ナリ

水惠寺ヨリ紀伊川眺望

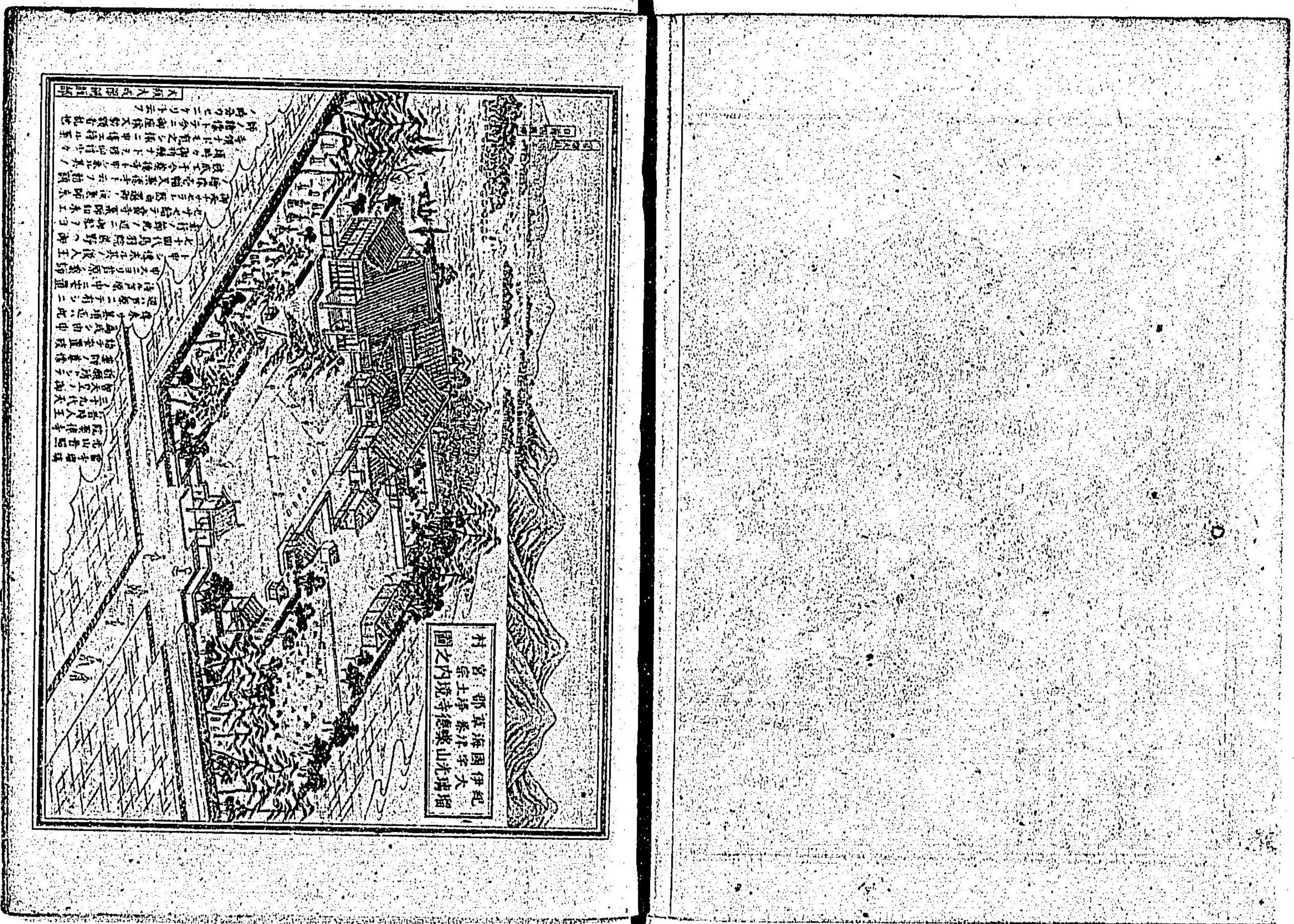
大坂六成館同版部

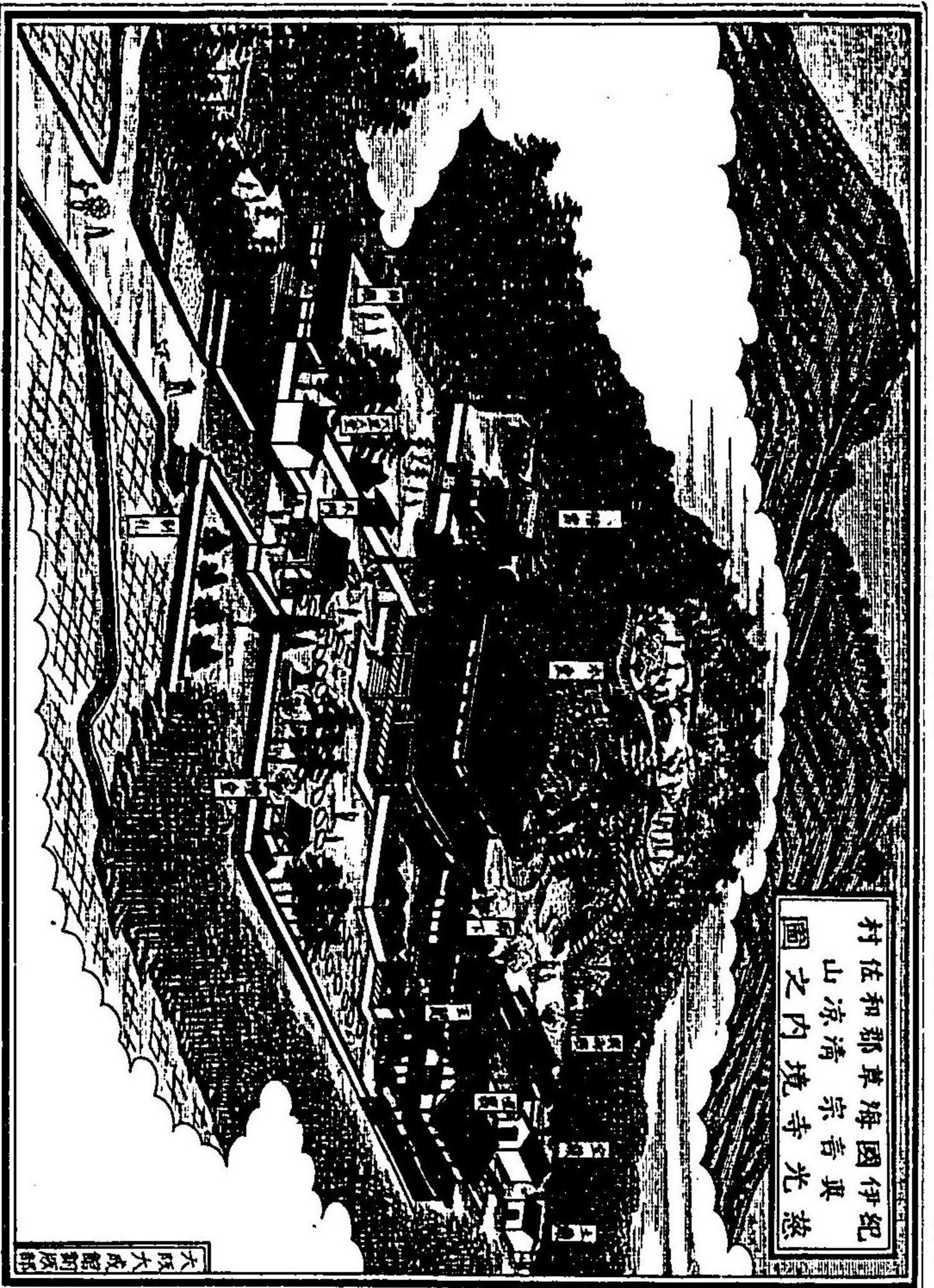
紀伊國海草郡野崎村
 淨土宗、山西山
 本取極
 受陽山總持寺



當山ハ受陽山知照下寺ニ世傳極取本
 山ト云フ惟花開天皇實德二年晴南天宮上
 人ノ開基ナリ 上人ハ赤松院實分第三子
 明ニシテ佛地ヲ好ミ餘ニ其美妙ヲ極ム 攝關ヲ輔行多智圓
 ニ奉リ南田郡ニ十八ヶノ寺宛リ創建ス 世人ノ尊信厚クナ
 ルニ由リ、持念真受重 正觀町天皇寺ヨリ歸者ヲ賜ヒ、勅
 額寺ト定メラル寺城千六百余坪アリ院後ノ高堂如龍光風ニ
 シテ鐘與ノ其ノ尺セリ 寺實ニハ開基上人遺身ノ舍利三顆
 眞心遺徳ノ證ニナル本院知照ノ靈驗等其地多クアリ故ニ
 之ヲ尊シキ

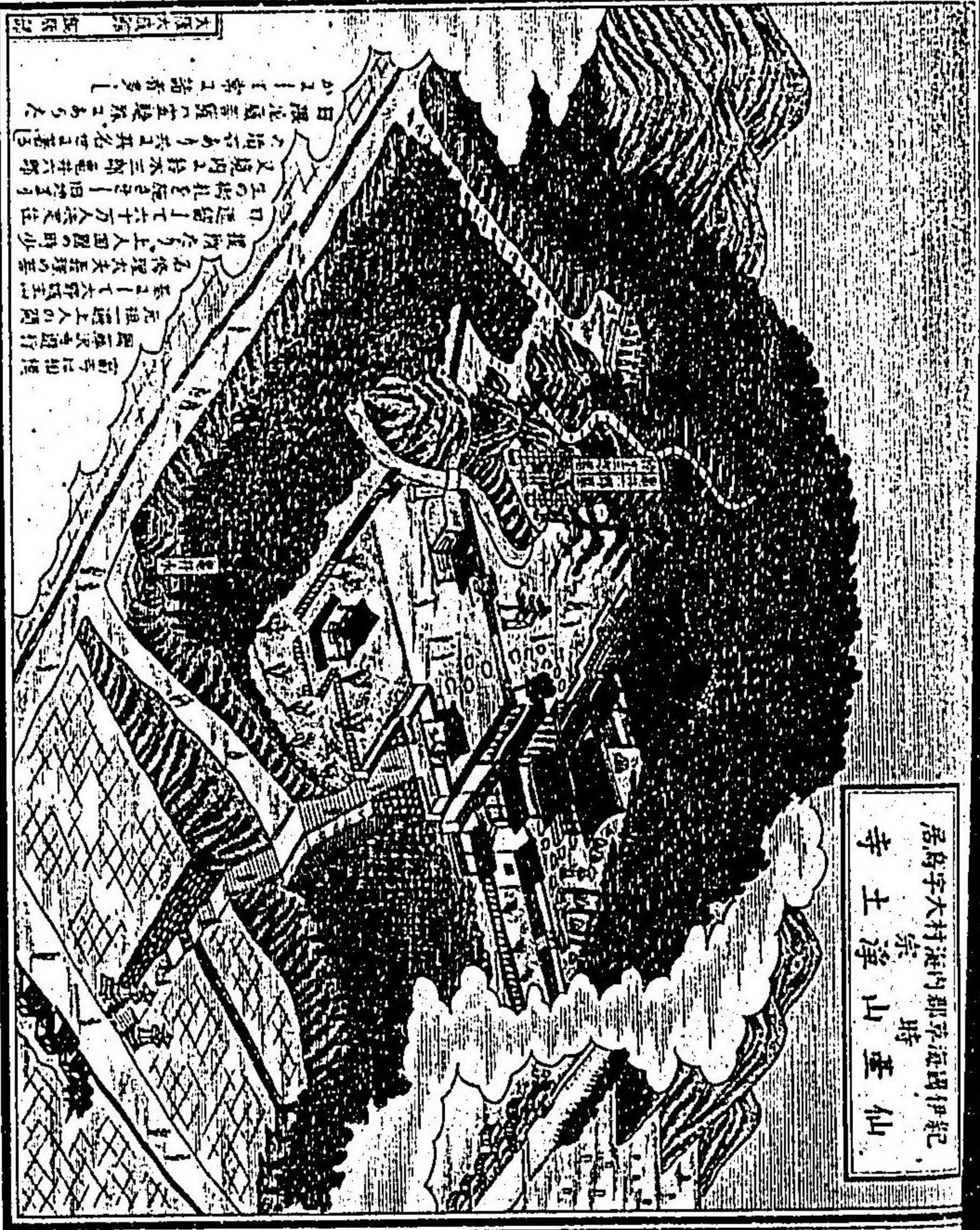
大坂大成館銅版部





伊紀
真光
梅宗
寺境
清涼
草那
郡和
佐村
之
內
山
圖

大政大成繪圖

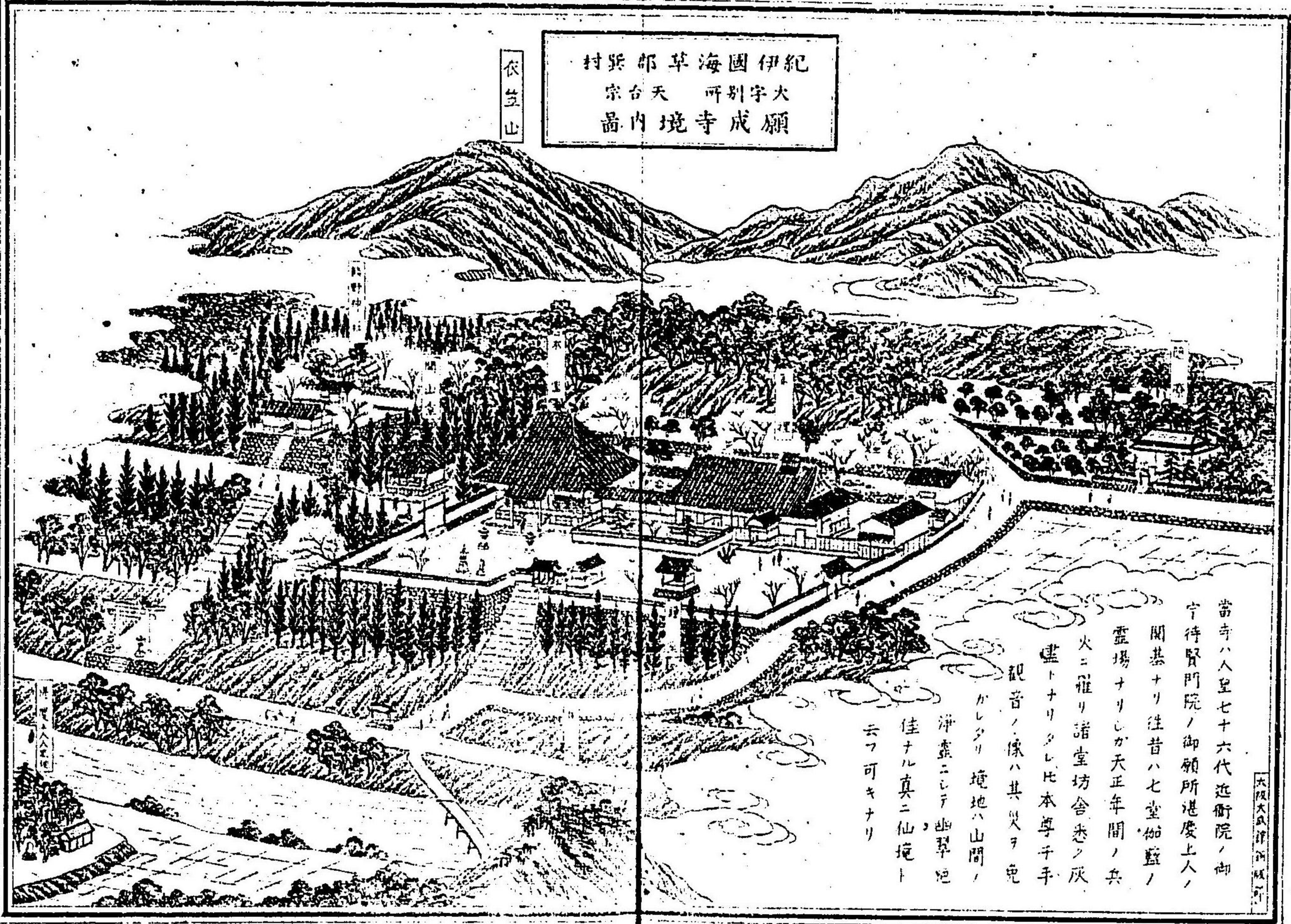


居時宇大村深内耶季海國伊紀
 宗時
 寺土淨山臺仙

此寺是仙臺山淨土寺也
 在聖德太子開闢
 於此寺建立大佛殿
 其寺之大佛殿
 可達七十餘丈之佳
 云此寺之建立
 又據傳云其寺
 之建立者乃
 日理光顯聖師
 於此寺之建立
 其寺之建立者
 其寺之建立者

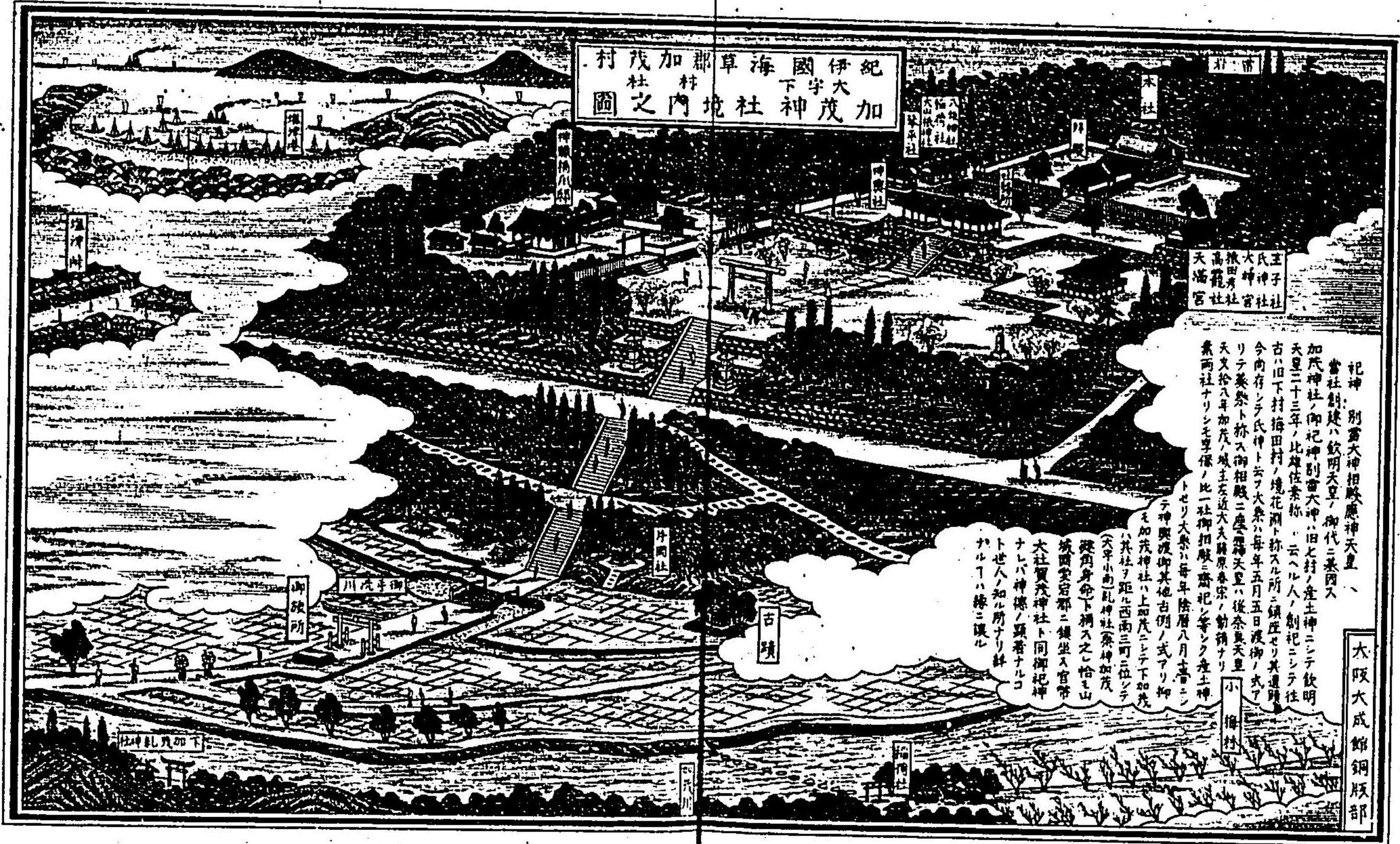
衣笠山

紀伊國海草郡
大宇別所
願成寺境內



當寺ハ八聖七十六代近衛院ノ御
宇待賢門院ノ御願所遷慶上人ノ
開基ナリ往昔ハ七堂伽藍ノ
靈場ナリシカ天正年間ノ兵
火ニ罹リ諸堂坊舎悉ク灰
塵トナリタレ比本尊千手
觀音ノ像ハ其災ヲ免
ガレタリ境地ハ山間ノ
淨土ニシテ幽翠池
佳ナル真ニ仙境ト
云フ可キナリ

大坂大武野



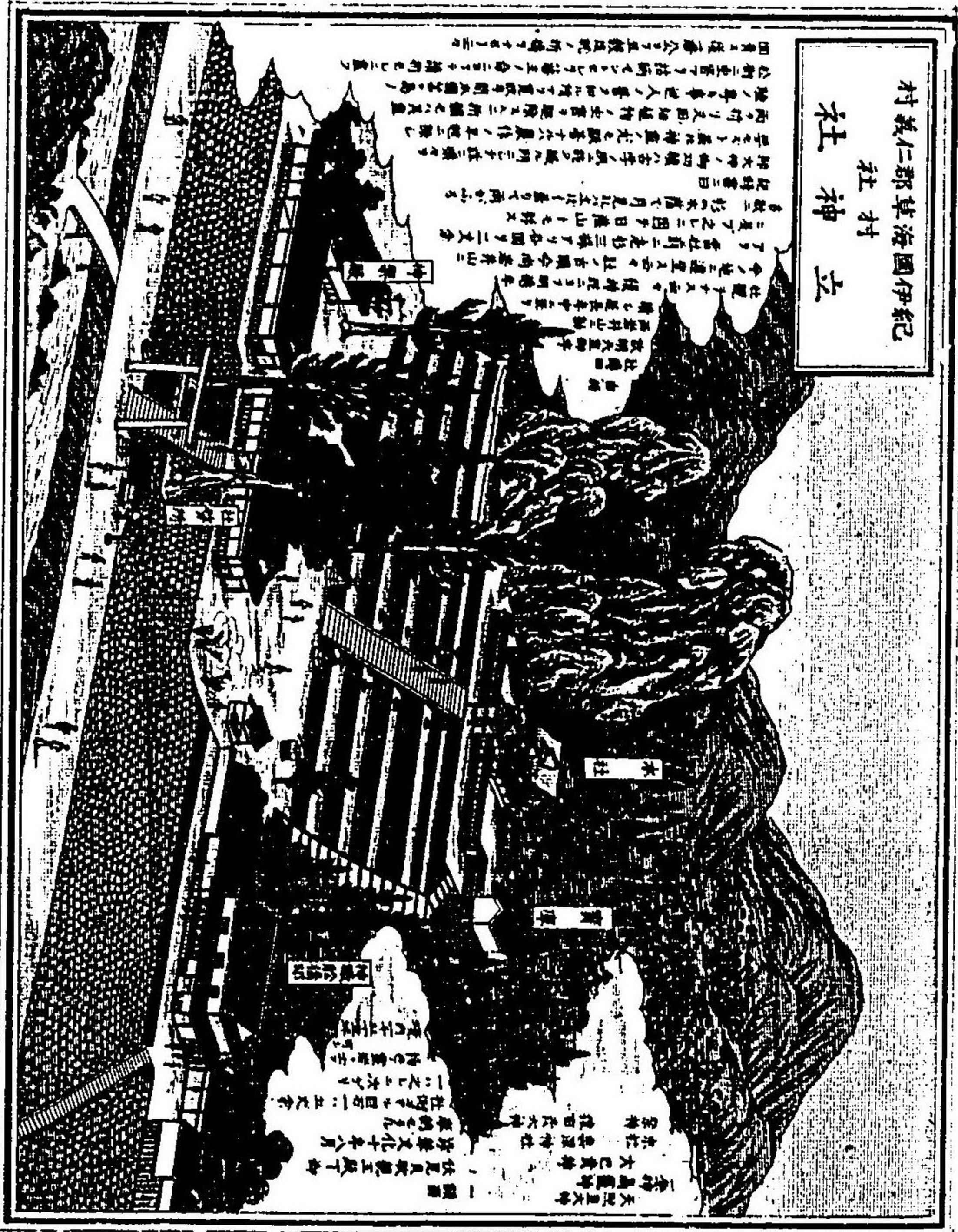
紀伊國海草郡加茂村
大加茂神社境内之圖

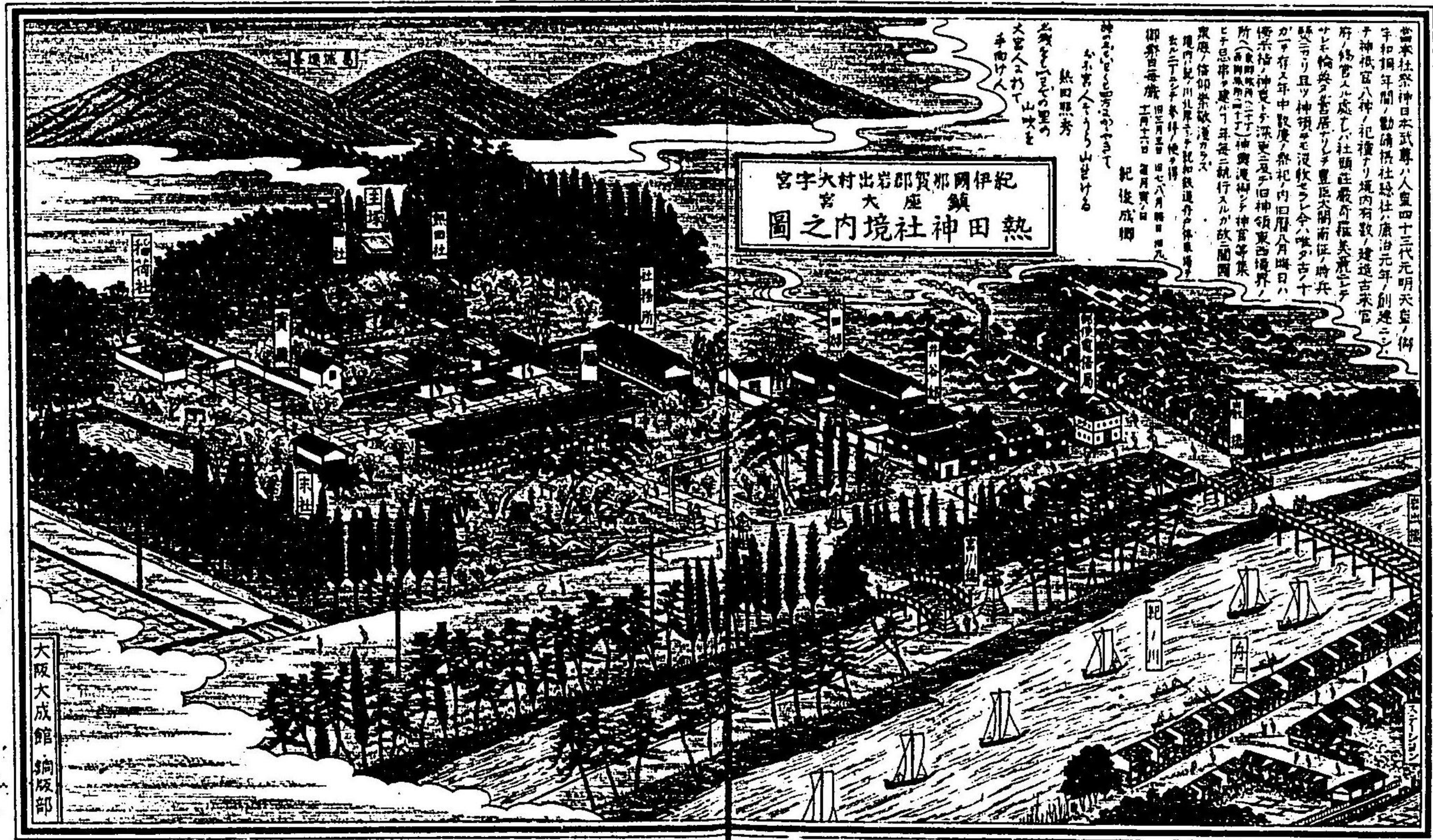
王子神社
大神社
高野神社
大加茂神社

祀神 別當大神 祖神 天皇、
當社 創建、欽明天皇、御代、皇國入
加茂神社、御祀 別當大神、由之村、産土神ニシテ、欽明
天皇二十三年、此地に遷居、云々、人々、御祀ニシテ、往
古、山下村、梅田村、境花洲、村ニシテ、鎮座セリ、其遺蹟
今尚存シ、氏神ト云フ、大祭ハ、毎年五月五日、渡御ノ式ヲ
リテ、兼祭ト称ス、御祖殿ニ、産土神、後奈波天皇、
天皇、於八年、加茂、城主、近大、大加茂、尊、勳、勳、
兼、兩社、ナリ、ニ、尊、保、比、一、社、御、祖、殿、
トセリ、大祭ハ、毎年、陰曆八月十五、
子神、御、渡、御、其、他、古、例、ノ、式、アリ、
大加茂神社、上、加茂、ニ、テ、下、加茂、
ハ、其、社、ヲ、距、北、西、南、三、町、三、位、
ニ、在、リ、天、年、小、加茂、社、祭、神、加茂、
磯、角、身、下、稱、入、之、山、
城、園、堂、定、都、二、儀、坐、入、官、帶、
大、社、賀、茂、神、社、ト、同、御、祀、神、
ナ、レ、ハ、神、標、ノ、頭、者、ナ、ル、コ、
ト、世、人、知、ル、所、ナ、リ、
ナ、ル、ト、ハ、縁、ニ、限、ル、

大阪大成館銅版部

村義仁郡草海園伊紀
社 村 立
社 神 立



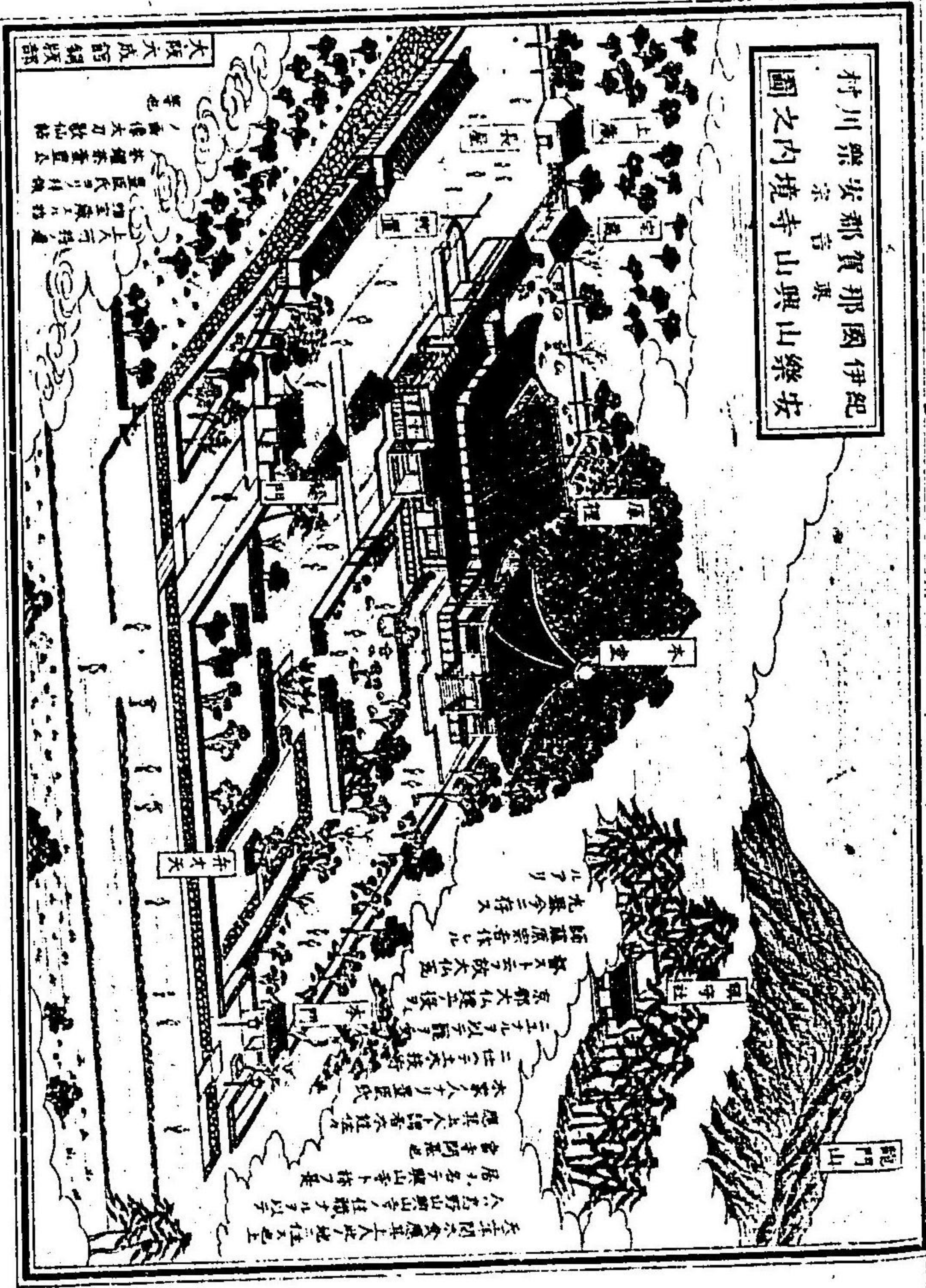


熱田神社境内之圖
 伊弉諾伊弉册岩出村大字
 鎮座大宮

當神社祭神日本武尊八人皇四十二代元明天皇御
 宇和御年開勸修御社跡於廣治元年創建之
 于神祇宮八神ノ祀禮ノ境内有秋津御宮建主奉宮
 所ノ神宮ノ處ハ社領莊嚴奇極美觀之
 所ニ輪奐々甚厚シク重臣大朝臣臣將兵
 賦タリ且ツ神領ノ沒收之令ハ奉テ古十
 カノ有テ年中散漫ノ祭祀内ノ御八月御日ハ
 傳示給ノ神領ノ所東三宮御領東西境界ノ
 所ハ秋津御宮ニテ神領邊境ノ神宮等集
 止テ忌部ノ處ハ一拜三禰ノ行入カ秋津御
 宮邊ノ御祭禮取テ
 現行秋津御宮ナリ秋津御宮ノ御祭禮
 正長ノ子奉神傳
 御祭禮每歲 三月廿三日 四月廿三日 七月廿三日 八月廿三日
 祭後成御

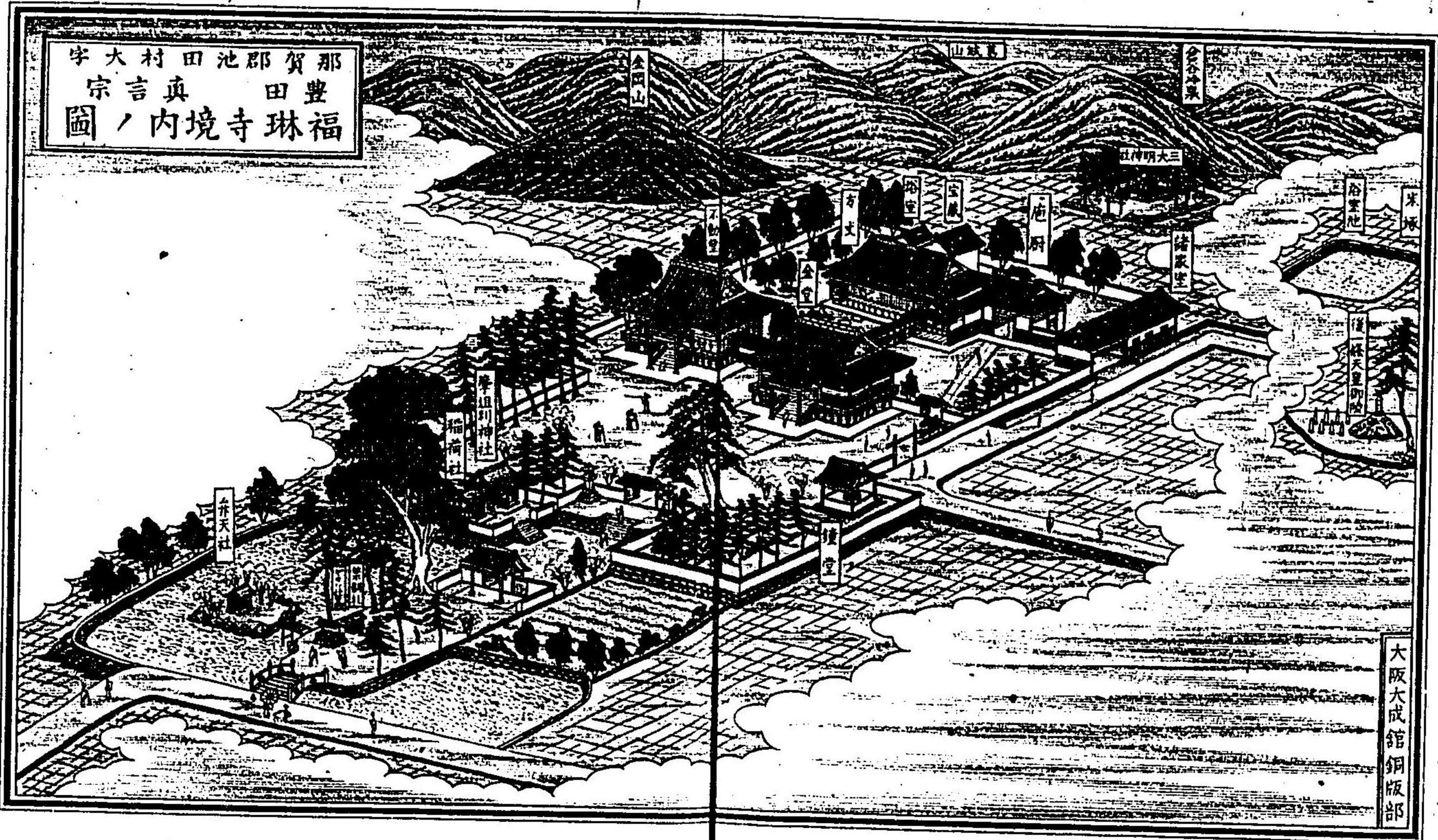
大阪大成館編輯部

伊紀國那賀郡安樂村
 安樂山興山寺之内部圖

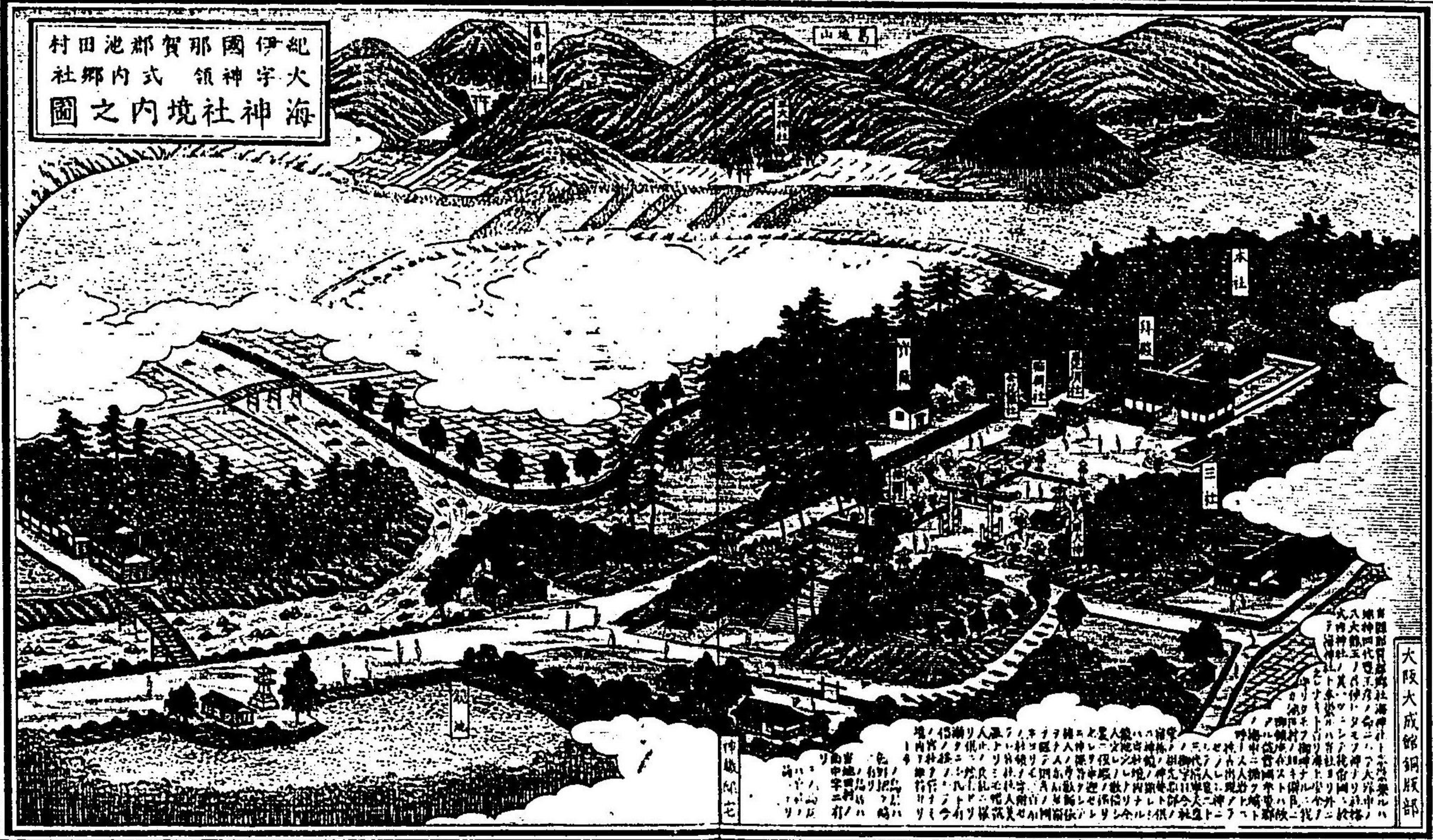


安樂山興山寺
 此寺名興山寺
 今在興山寺
 寺之大門
 寺之大門
 寺之大門
 寺之大門

大坂大藏院
 大藏院
 大藏院
 大藏院

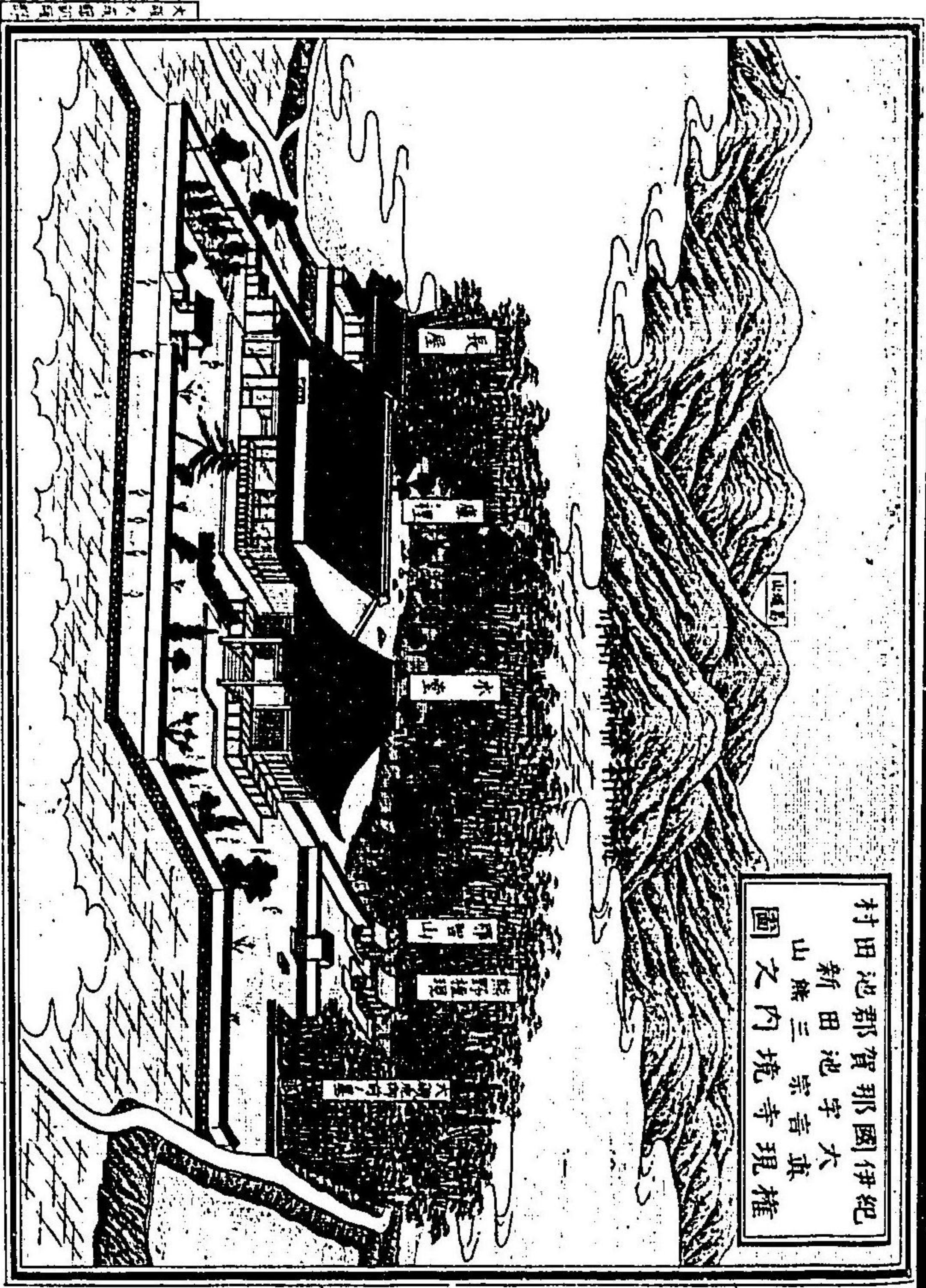


紀伊國那賀郡池田村
大宇神領式内社
海神社境内之圖



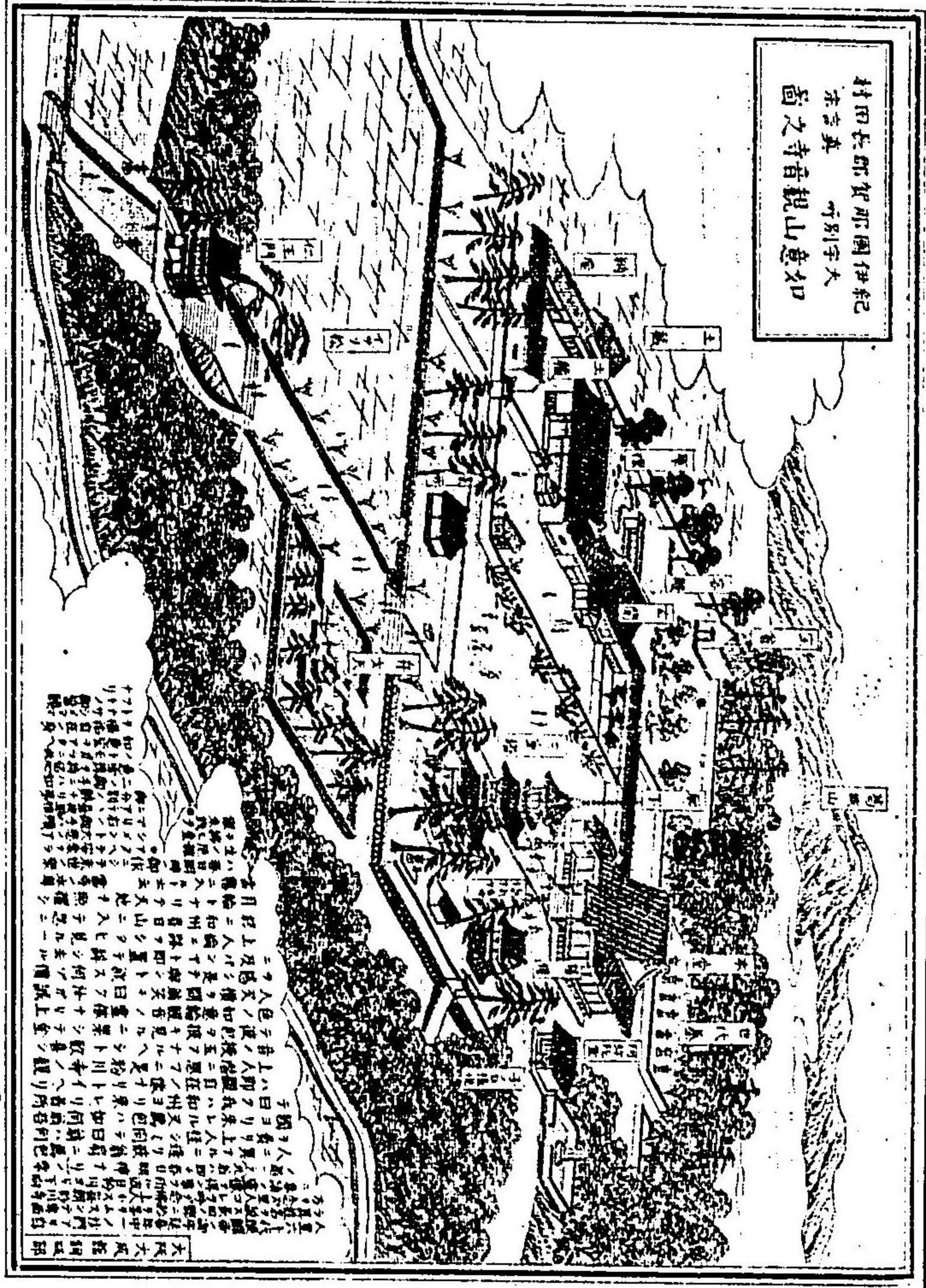
大坂大成館銅版部

此圖繪自舊圖... 大宇神領式内社... 海神社境内之圖... 繪者... 大坂大成館銅版部... 此圖繪自舊圖... 大宇神領式内社... 海神社境内之圖... 繪者... 大坂大成館銅版部...



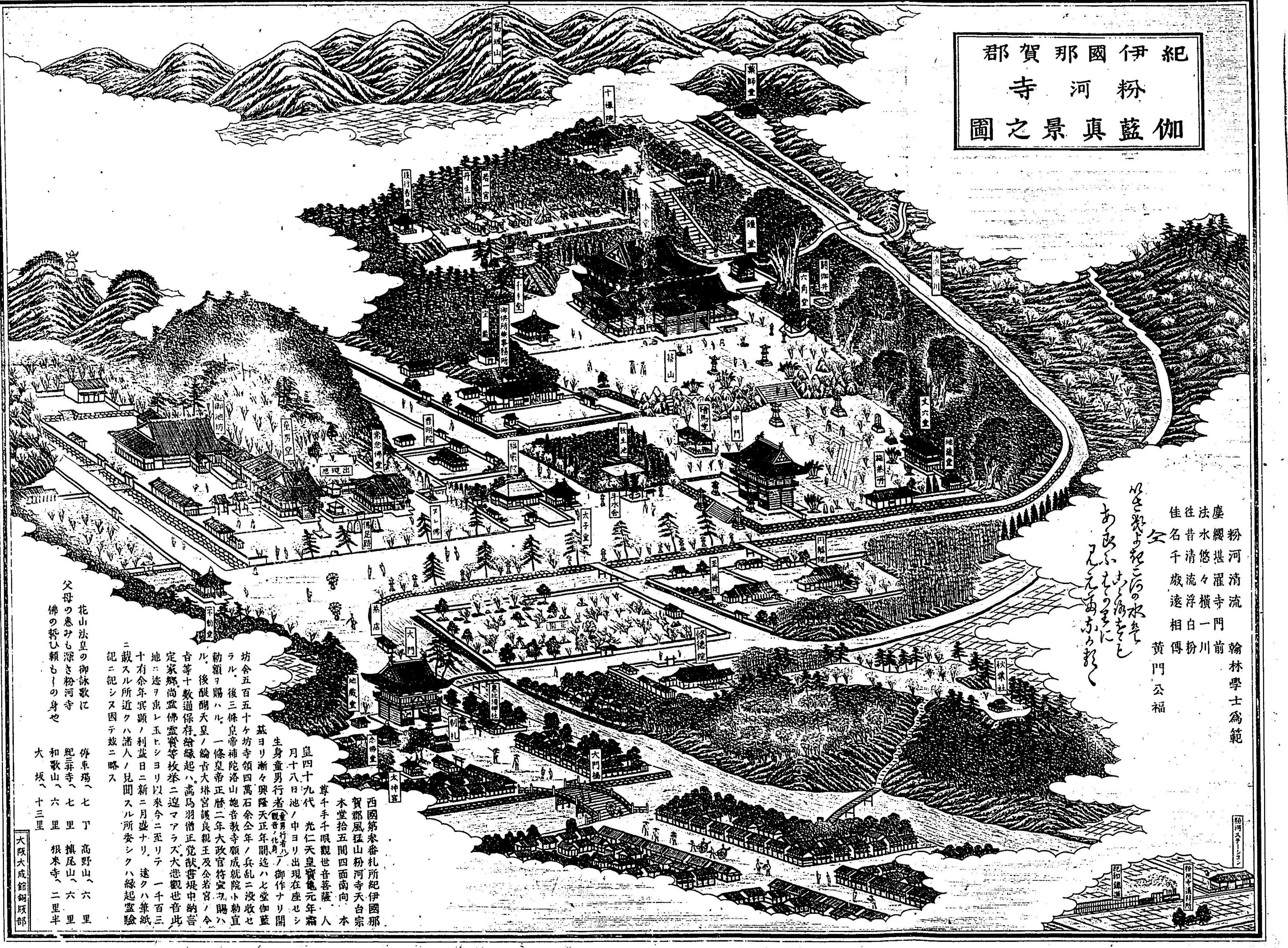
伊賀郡
 大正寺
 宗廟
 池田
 三田
 新山
 池田
 村
 圖

村田長郎賀那園伊紀
 茶言真 呼別字大
 箇之寺音觀山意如



大正六年
 村田長郎賀那園伊紀
 茶言真 呼別字大
 箇之寺音觀山意如

郡賀那國伊紀
寺河粉
圖之景真藍伽



粉河清流 翰林學士爲範
塵縹濯寺門前
法水悠悠橫一川
佳名千歲遠相傳
黃門公福

此寺粉河之水也
あまのついでに
えんをみるか

西國第末番札所紀伊國那
賀郡風猛山粉河寺天台宗
本堂拾五間四面南向 本
尊千手千眼觀世音菩薩 人
皇四十九代 光仁天皇寶龜元年霜
月十八日池ノ中ヨリ出現在座也シ
生身童男行者(童男行者ノ御作ナリ開
基ヨリ漸々興隆天正年間迄ハ七堂伽藍
坊舎五百五十六坊寺領四萬石余年ノ兵亂ニ没收セ
ラル 後三條皇帝神陀浴山施音教寺願成就院ト勅宣
勅額ヲ賜ハル 一條皇帝正曆二年大政官符宣ヲ賜ハ
ル 後醍醐天皇ノ綸旨大井宮護良親王及全若宮ノ令
旨等十教道保存給縁起ハ 高島羽信正覺狀書堤中納言
定家卿尚靈佛靈寶等故奉ニ違マラス 大徳觀世音此
地ニ迹ヲ垂レ玉ヒシヨリ以來今ニ至リテ 一千百三
十有余年冥顯ノ利益日ニ新ニ月盛ナリ 遠クハ筆紙
ニ載スル所近クハ諸人ノ見聞スル所委シクハ縁起靈驗
ニ記シヌ因テ茲ニ略ス

花山法皇の御詠歌に
父母の恩も深き粉河寺
佛の誓ひ頼もりの身也

停車場 七里 高野山 六里
紀伊寺 七里 旗尾山 六里
和歌山 六里 根来寺 二里半
大坂 十三里

紀伊國伊都郡
天野村
天神社境内之圖

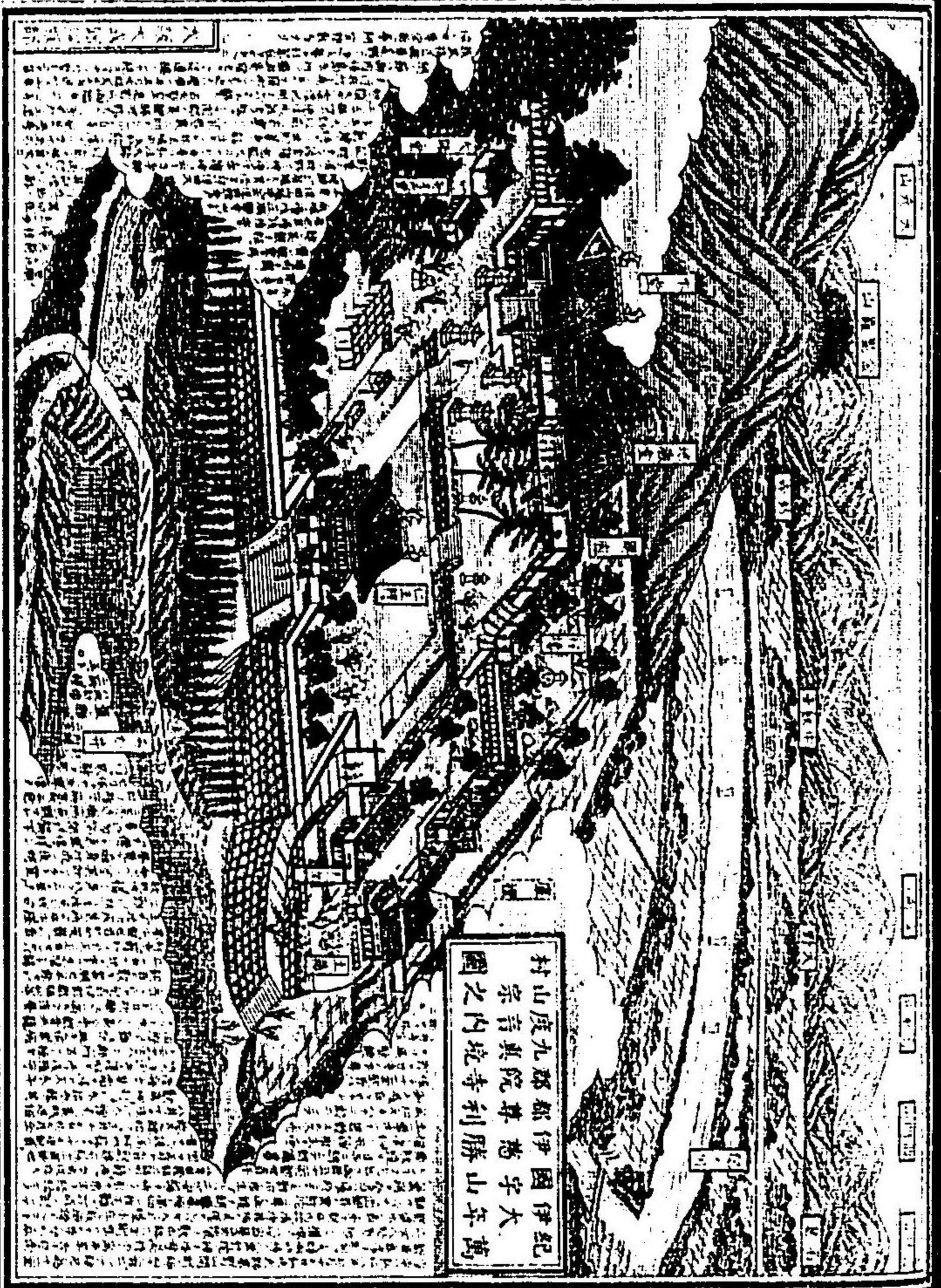


高野山あふくと雲ふくは
ふよつ地神ふしとみか
宮住四所と立つや四方の香
天野祝田生家
魂子

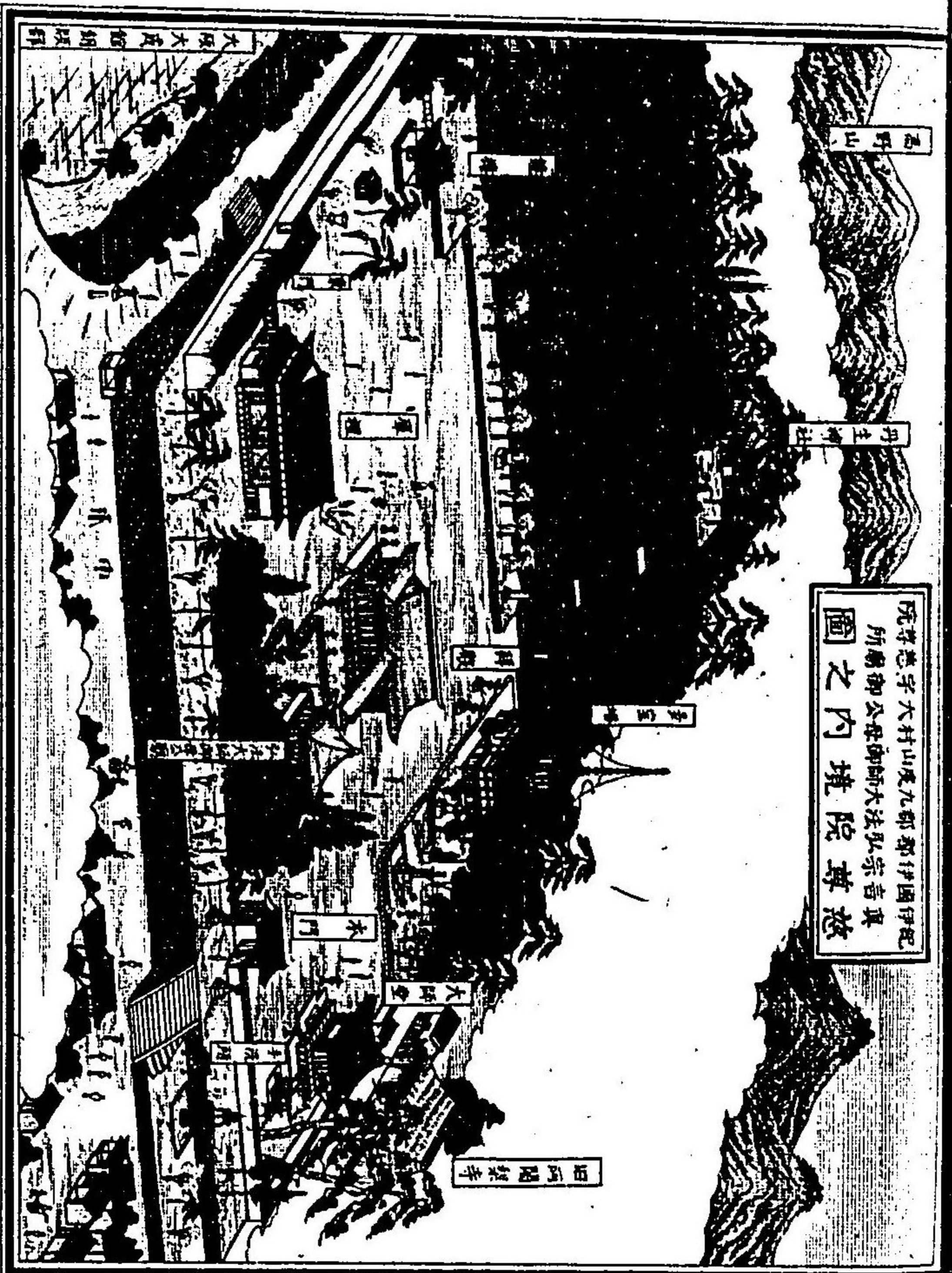
有王九基
八神神社
西行法師古蹟
西行法師女之塚
恩王園三平塚

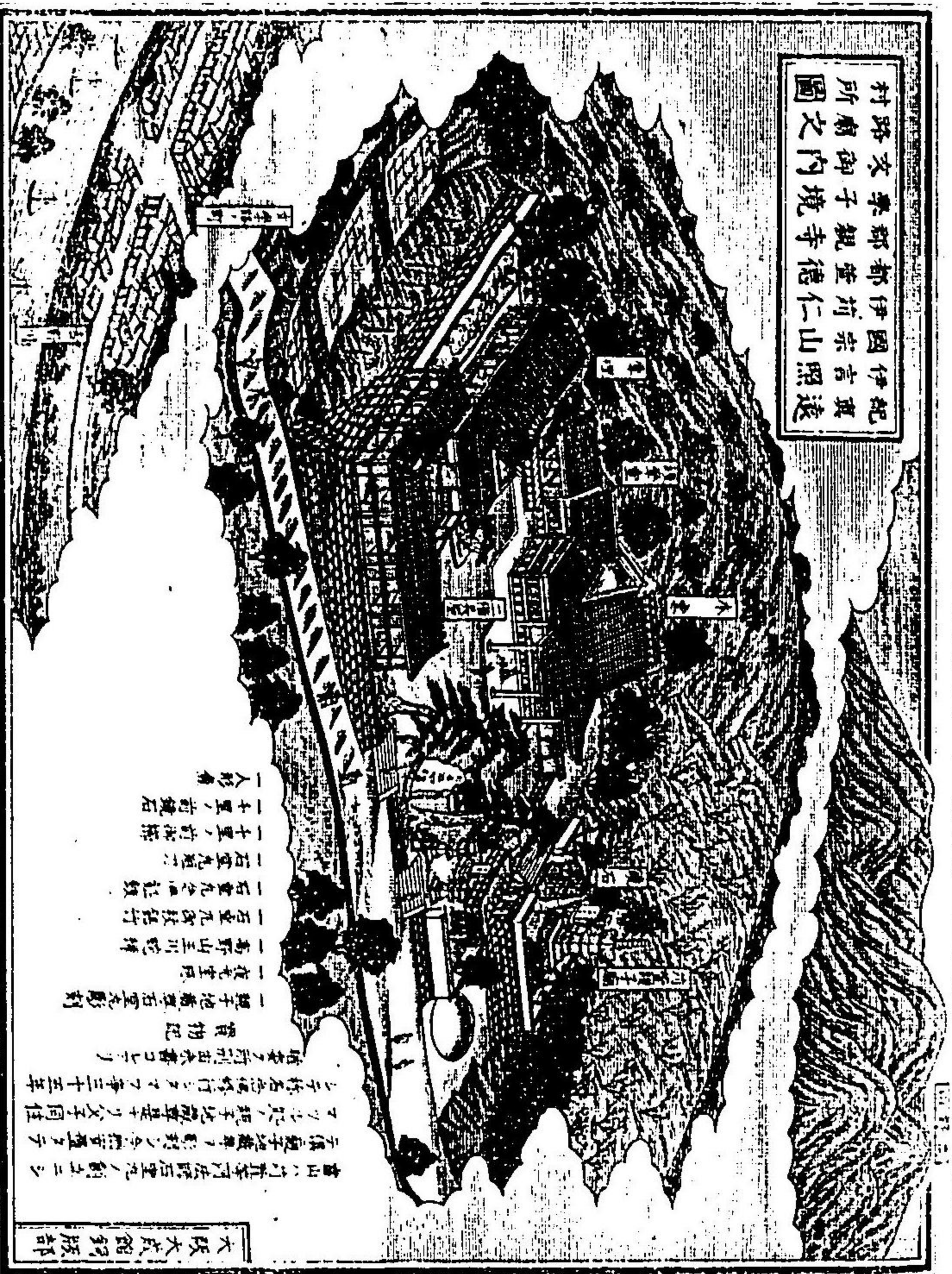
略一記
創立地神第三代天
津彦火瓊杵尊命
ヲ賜ルヲ造リ奉ル
給フ日本最初ノ神社
ニシテ常世ノ宮トモ
号ス但シ四社ノ中三
四ノ宮ハ永元年中ノ
創立ナリ
神徳 土農工商ヲ守リ奉ヘ給
フ御神等ニシテ古来神恩ヲ蒙
リタル者甚多シ就中神功皇后
三韓ノ御征討及弘安四年元寇
ノ際ニ特勲ヲ蒙リ給ヒシ莫
等ハ古書ニ明カナリ
茶室 應神天皇深ク御崇敬テ
リテ巨町ノ神領地ヲ寄セ給ヒ
以テ御代々ノ天皇ヲ始メ皇族
方厚ク御崇敬シ給ヒ隨テ種々ノ寄
賜物アリ其他諸侯伯ノ崇敬等一々
枚舉ニ及ラス尙ホ昔神ハ高野山
ノ地主神ナルヲ以テ弘法大師同山
草創以テ永常ニ山内ハ勿論同山歸依
ノ輩持更崇信深シ
旧社領 應神天皇ノ寄賜セシ領地
ハ万針町中吉紀州泉州播州阿州
備後等ニ於テ領地ヲ賜ハル夫々官
職下文アリ
旧社領及神人 明治維新迄ハ境内
ニ於テ三十九ノ社屋ナル建初アリテリ
又神領社司以下三十八名アリテ常ニ社務
ニ従事セリ
祭日 正月十四日 二月十六日 六月十八
日 八月十六日 十月晦日 十一月
十六日
此社神領地神恩甚大故テ境内等々家々祀ス

大阪大成館銅版部



伊紀大宇山
萬年山
利勝寺
草庵院
九龍山
度山
村

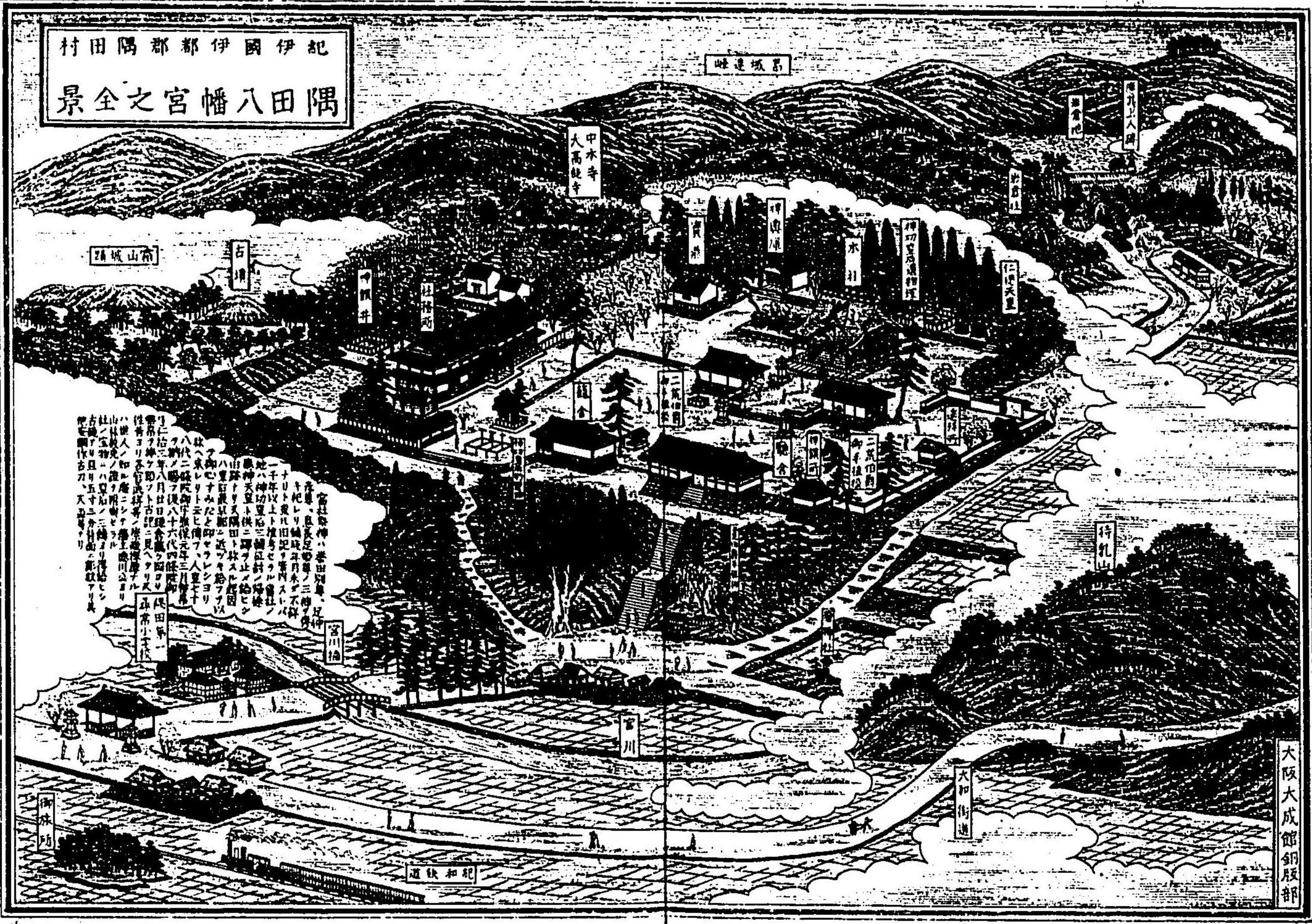




伊紀
伊國
伊宗
伊山
伊德
伊觀
伊親
伊寺
伊境
伊子
伊娘
伊交
伊路
所圖
之內

當山宮其内院聖元納主ニシ
 存德本權ノ影射ノ全德聖攝ノ
 マナク大親手以爲聖攝ノ父子同姓
 之子特命德射シマクマ重三十五年
 娘等所願用奉可トナリ
 寶物也
 一屋宇地敷五百支影射
 一有寺民
 一有野山而吃博
 一石室九合而柱額
 一石室高麗ノ
 一十車ノ御座
 一十車ノ御座
 一人給備

大坂 大阪 錦 河 阪 部



紀伊國伊都郡隅田村
隅田八幡宮之全景

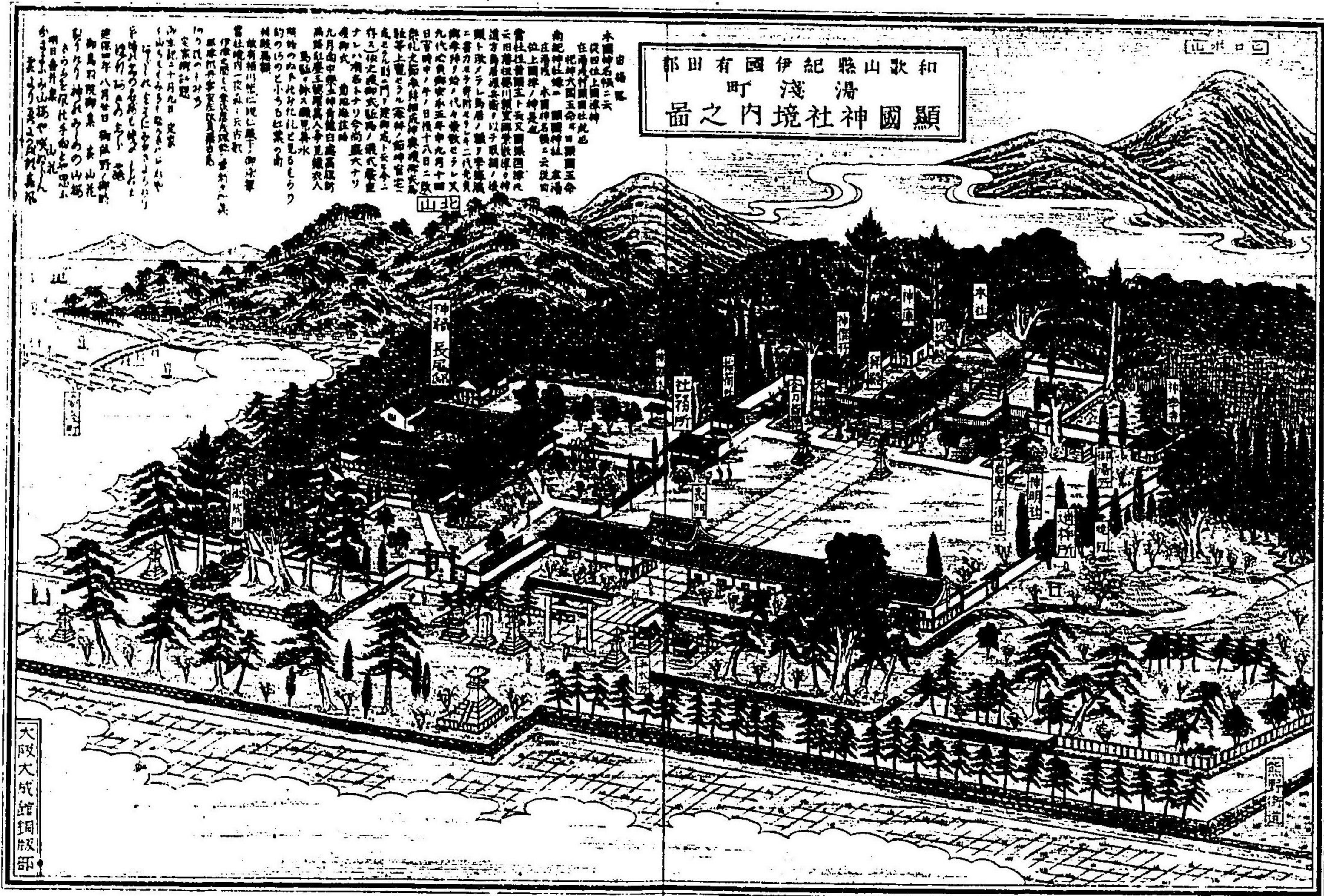
八幡宮

中山寺
大高殿

山崎城

此神社は、昔より隅田村の中心地にして、八幡神を祀り、村人の安んずる所なり。其の由緒、古くは、元弘三年（1313）に、寺田元康公が、此地に八幡宮を建て、社領を賜はりて、村に社を建て、八幡宮を祀り、村人の安んずる所なり。其の由緒、古くは、元弘三年（1313）に、寺田元康公が、此地に八幡宮を建て、社領を賜はりて、村に社を建て、八幡宮を祀り、村人の安んずる所なり。其の由緒、古くは、元弘三年（1313）に、寺田元康公が、此地に八幡宮を建て、社領を賜はりて、村に社を建て、八幡宮を祀り、村人の安んずる所なり。

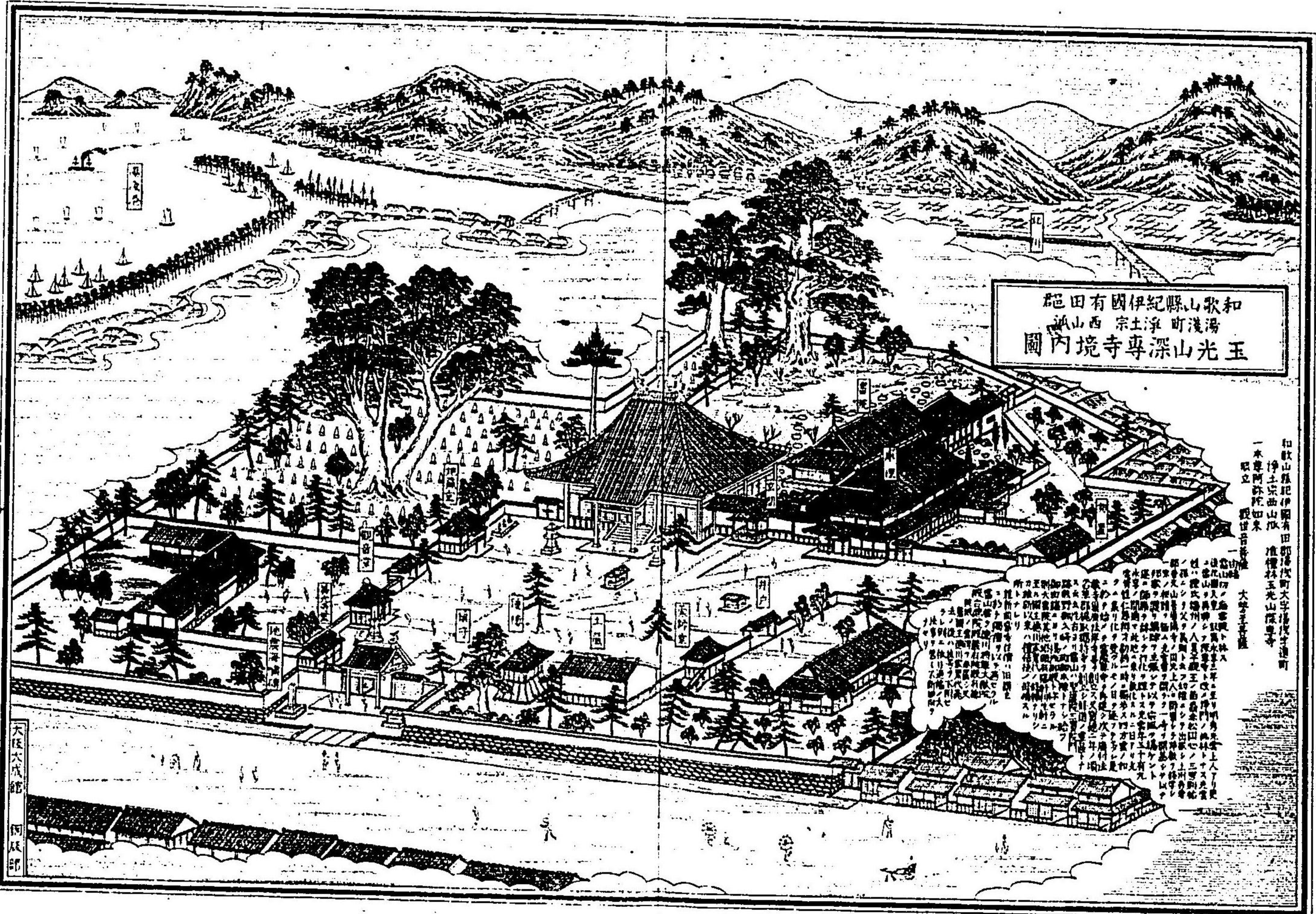
大阪大成館印



和歌山縣紀伊國有田郡
湯淺町
顯國神社境内之湯

本國神社三云
在湯淺町顯國神社
由紀國國司命
命祀湯淺町顯國神社
在湯淺町顯國神社
由紀國國司命
命祀湯淺町顯國神社
由紀國國司命
命祀湯淺町顯國神社

大阪大成館銅版部



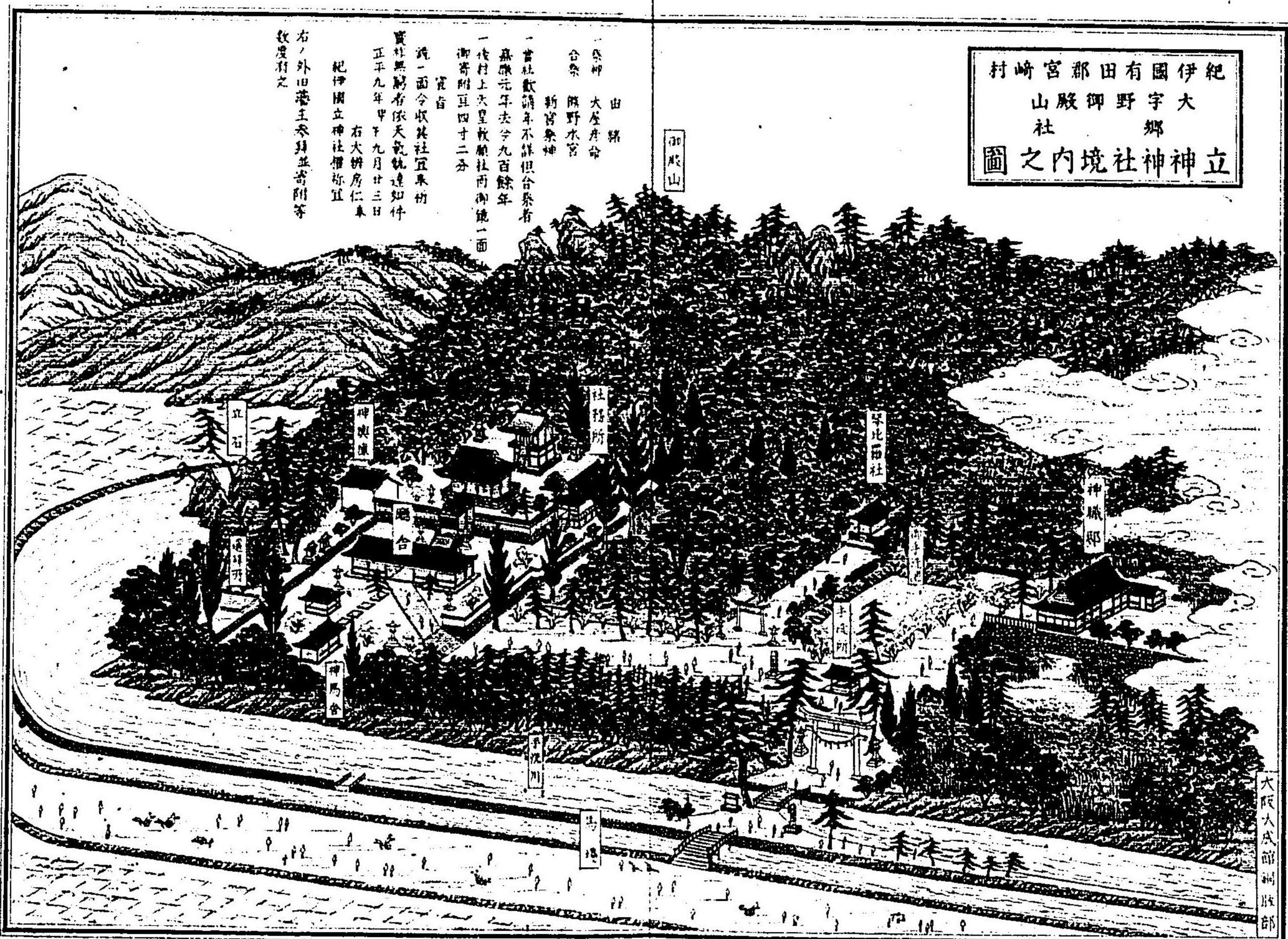
和歌山縣伊弉國有田
湯淺町淨土宗山西
玉光山深專寺境內圖

和歌山縣伊弉國有田
湯淺町淨土宗山西
玉光山深專寺境內圖

玉光山深專寺
此寺創自天智
天皇十三年
即西曆六百七十四年
由聖德太子
所創設也
寺內有古
鐘一口
傳言此鐘
乃聖德太子
所鑄也
寺內有古
鐘一口
傳言此鐘
乃聖德太子
所鑄也

天保六年
四月

紀伊國田郡宮崎村
大宇野御殿山
立神神社境內之圖



一 祭神 大座月命
 一 合祭 熊野水宮
 一 祈宮祭神
 一 當社歡請年不詳但合祭者
 一 嘉應元年去今九百餘年
 一 後村上天皇敕願社而御鏡一面
 一 御寄附豆四十二分
 一 實音
 一 疏一面今收其社宜果物
 一 實非無屬者依天武天皇遺知伴
 一 正平九年甲午九月廿三日
 一 紀伊國立神社權守
 一 右外田藩主奉封並寄附等
 一 敬啟行之

大坂大成館刷版部

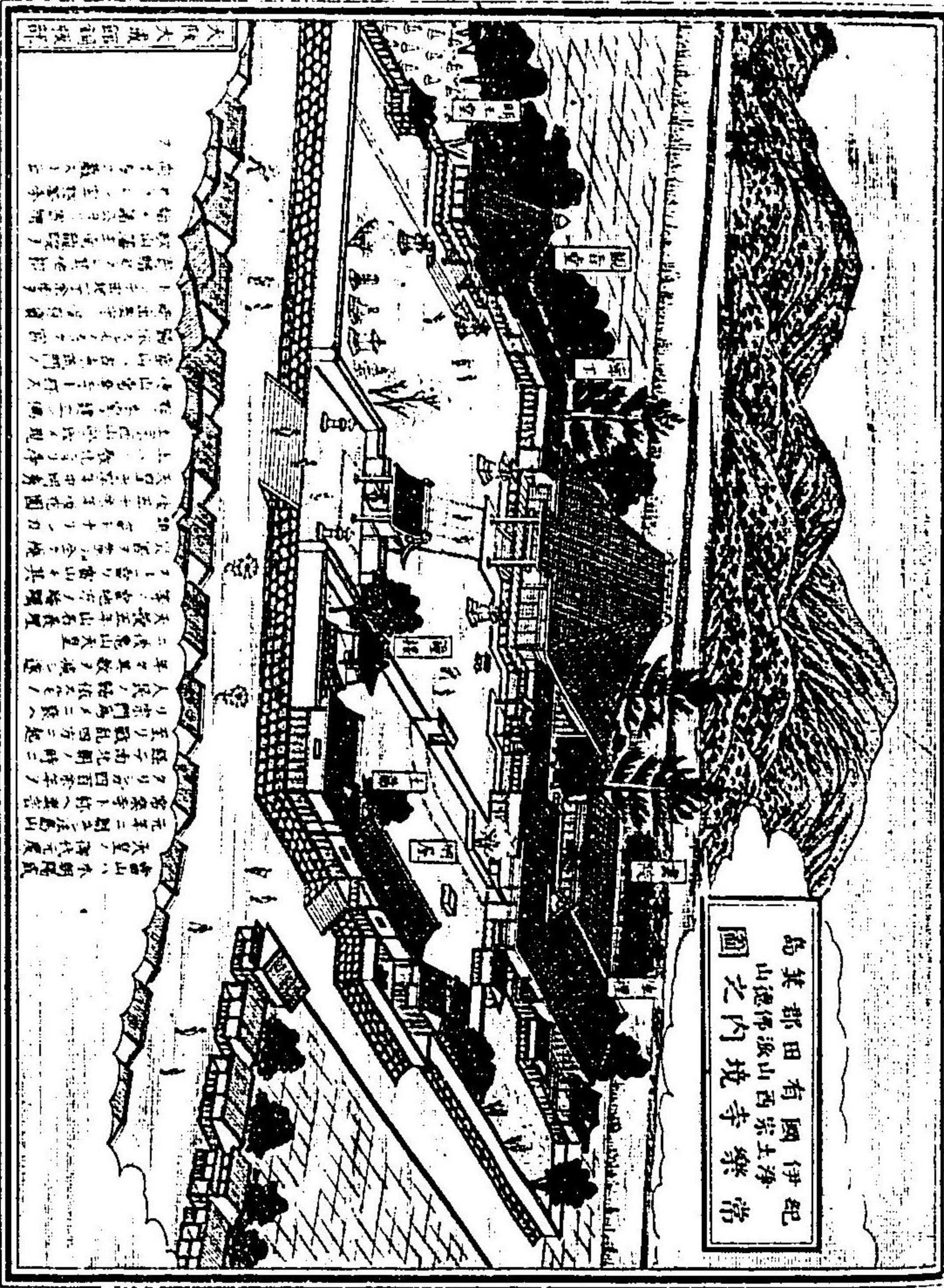
紀伊國村宮
伊弉諾山王
淨妙寺之圖



昔年、平城天皇ノ
國母乙年、滿皇太后
勅願ノ地ニシテ、淨
妙寺ノ開基ナリ。皇
八七、靈鏡ノ金山ナリシガ天
正年中、兵燹ニ罹リ、大半ノ有
ニ、燬シテ、今ヤ往古ノ一、班ヲ觀
ルニ、過キ又、然ル佛像及、須弥壇
ハ、希有ノ寶品ニシテ、美
工、露上、樓等ヲルベキ、嚴整狀及、保存全
等ノ官廳、アリ、頃日、又、國寶中ニ、編入ノ、案ヲ、被リ、甲種
三等ノ、位置ニ、列ス。

有、四山、對、海、龍、潭、
堂、虛、春、深、赤、檀、利、
千、秋、如、掃、菴、黃、金、
特、賜、百、室、塔、保、存、資、全、國、故、聖、賢、之、一、句、ヲ、傳、ベリ、
旭、ノ、雲、み、う、け、て、ち、ち、す、の、白、ひ、ら、さ、

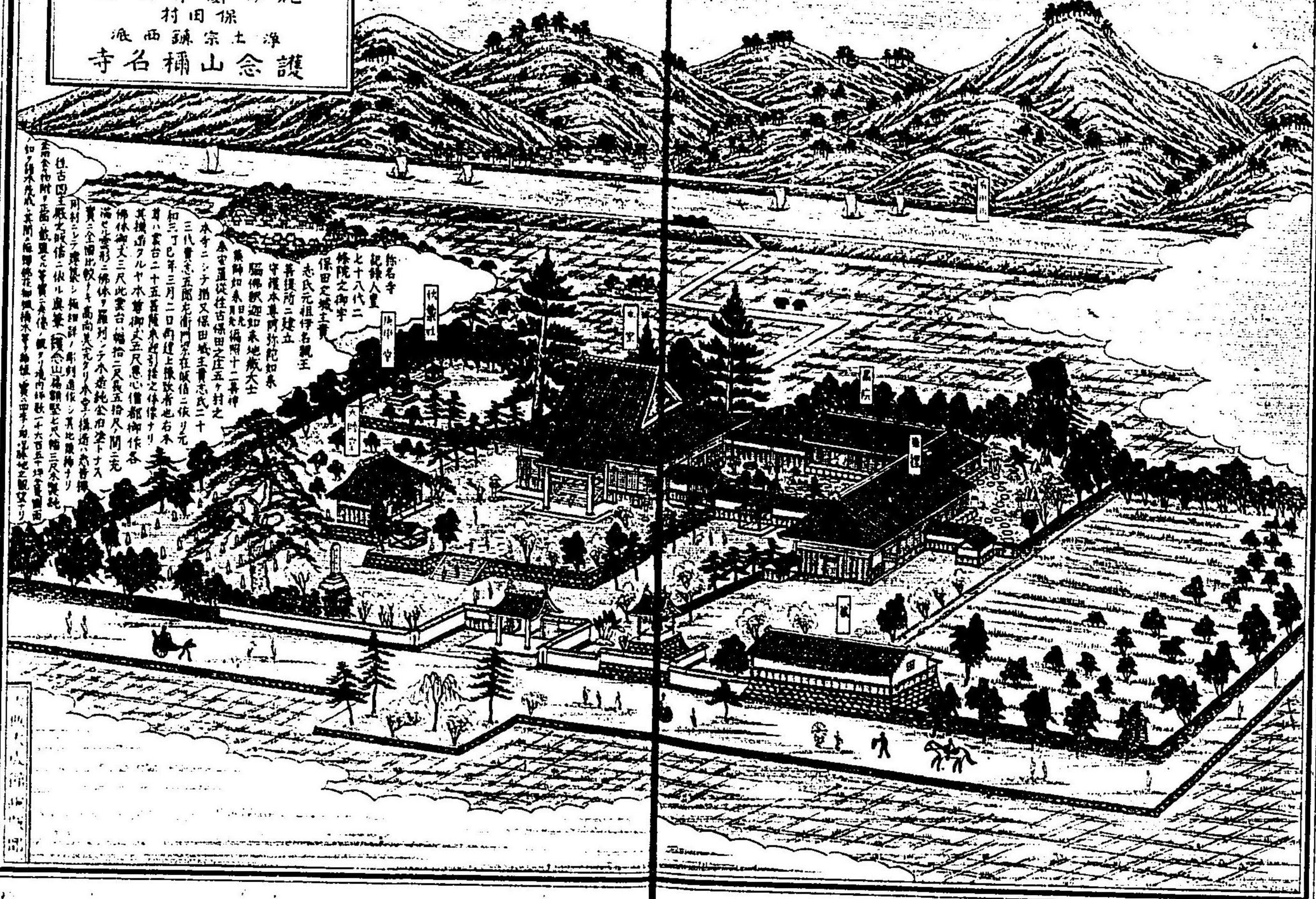
大坂成館
銅版部



伊紀
淨土
上祭
寺
西
田
有
郡
其
島
山
德
之
內
境
圖

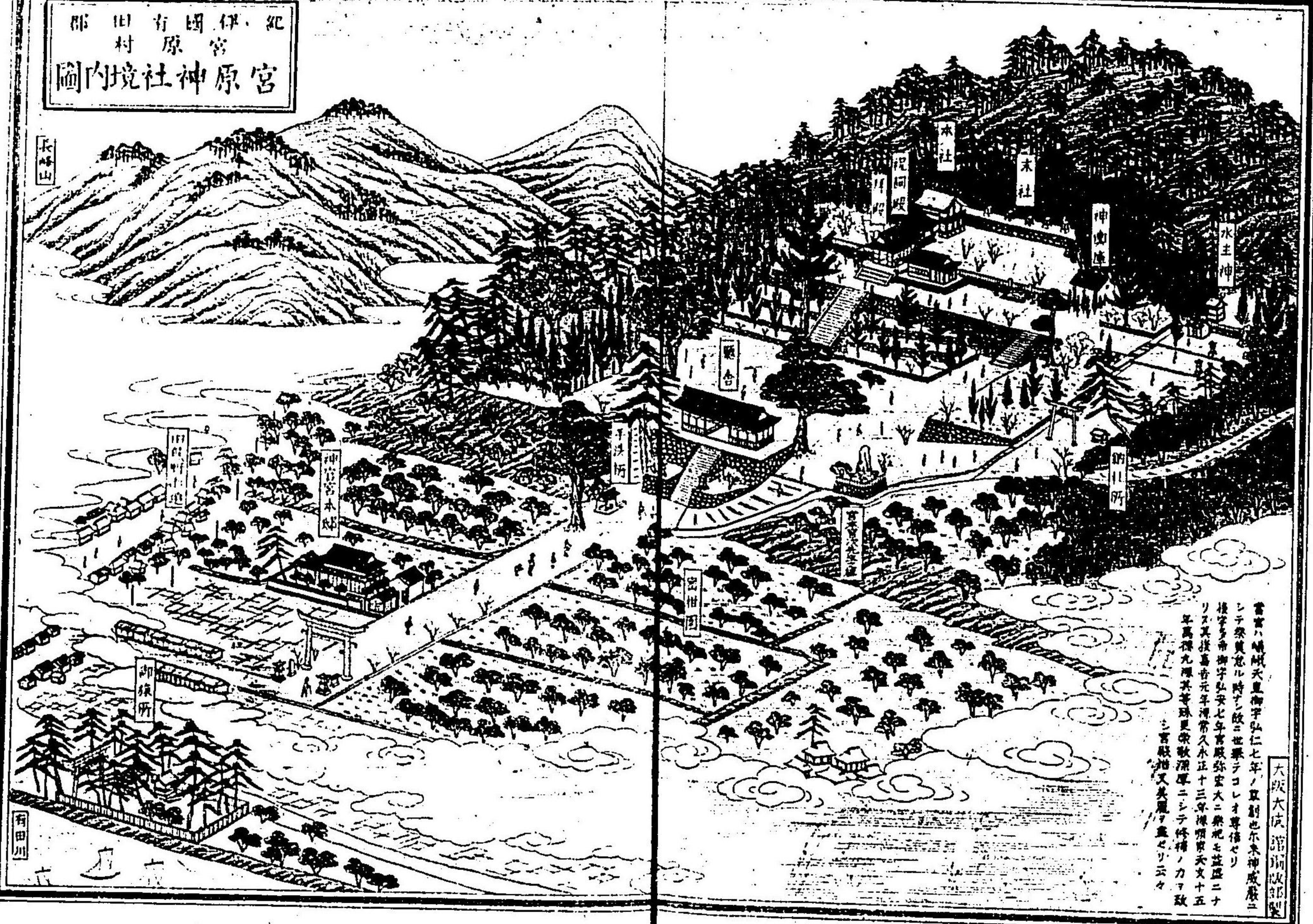
大城大城...
 此城之西...
 其城之東...
 其城之南...
 其城之北...
 其城之內...
 其城之外...
 其城之東...
 其城之西...
 其城之南...
 其城之北...
 其城之內...
 其城之外...

肥前國有田郡
保田村
淨土宗跡西池
護念山名寺



此寺名護念山
 七十八代二
 條院之御宇
 保田之城主
 志氏元祖寺也
 菩提所二建立
 寺額本阿彌陀如來
 臨佛殿知本地無大
 無神和泉日蓮佛十二尊神
 今寺ニテ彌陀佛五ヶ村之
 三十八尊五箇名所門左在保信二依リ元
 和子巳年三月二日創建上像故者也右木
 其横功丸ノ水曾脚丈五尺心僧都柳作各
 佛体丈三尺此堂台輪二尺五拾八間元
 満寺堂形ニ依リ屋列ニテ水邊此堂堂十入
 實ニ全圖比較ノ高而美尤クノ小堂横道ノ長
 同村ニテ屋列ニ依リ屋列ノ間道ニテ其地無ク
 住古田王殿之御宇保田之御宇保田之御宇
 住古田王殿之御宇保田之御宇保田之御宇
 住古田王殿之御宇保田之御宇保田之御宇

紀伊國青田郡
宮原村
宮原神社境内圖



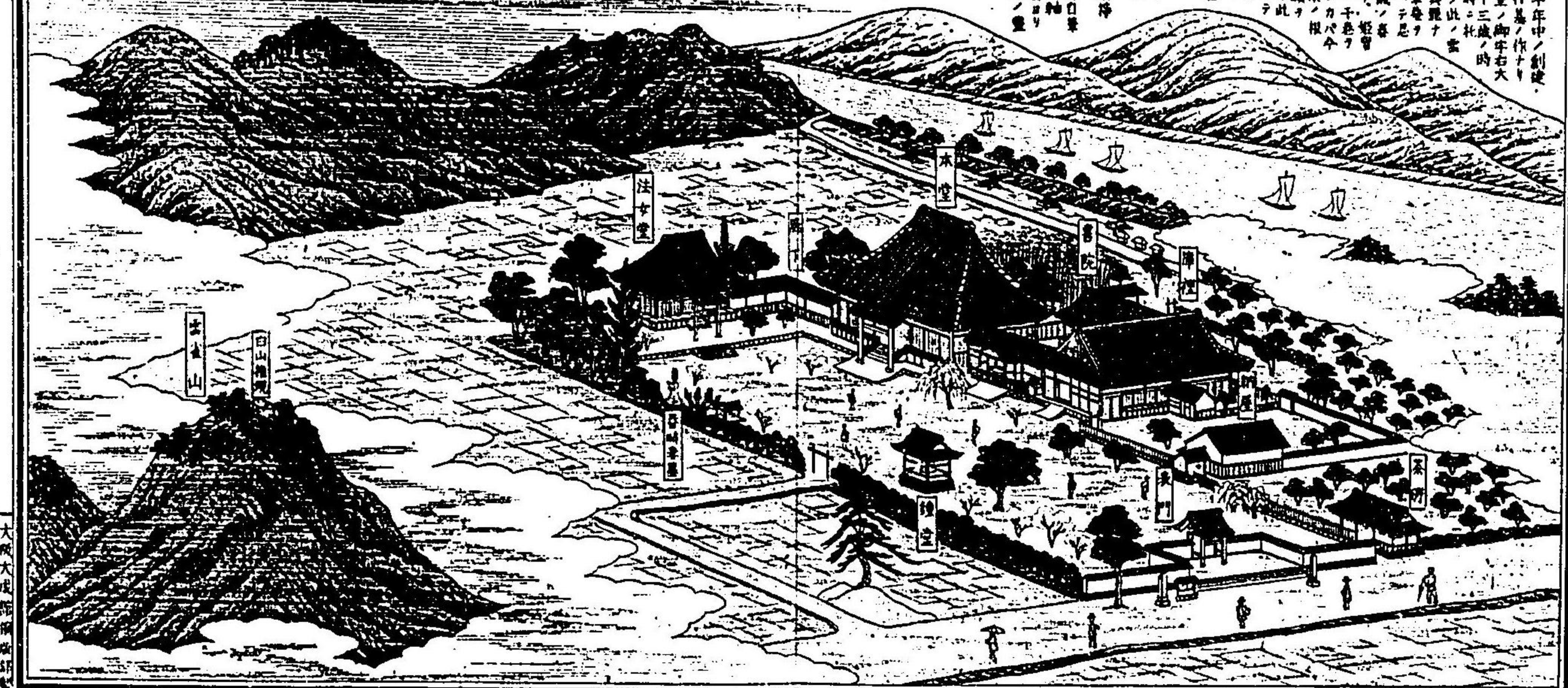
大坂大正 洋南政記製
 當宮小幡城天皇御宇弘仁七年ノ皇創也尔来神威屢三
 シテ榮光ル時ニ於テ世襲テコレヲ尊儀セリ
 推テ多希御宇弘安七年宮殿修築大ニ崇祀ニ益盛ニナ
 リノ其後嘉吉元年河常久永正十三年棟宇修葺大文十五
 年萬壽九禮其等跡更敬禮厚ニシテ修繕ノカテ致
 三宮殿猶又其麗々盛之リ云々

長峰山

青田川

記伊國田有郡赤我村
淨土宗 雁山 山西 派
得生寺境內圖

當寺中時在開基天乎年
寺記曰聖武天皇行馬作
御宇時得生寺境內十三
山名一都日蓮之山
二都日蓮之山
三都日蓮之山
四都日蓮之山
五都日蓮之山
六都日蓮之山
七都日蓮之山
八都日蓮之山
九都日蓮之山
十都日蓮之山
十一都日蓮之山
十二都日蓮之山
十三都日蓮之山
十四都日蓮之山
十五都日蓮之山
十六都日蓮之山
十七都日蓮之山
十八都日蓮之山
十九都日蓮之山
二十都日蓮之山
二十一都日蓮之山
二十二都日蓮之山
二十三都日蓮之山
二十四都日蓮之山
二十五都日蓮之山
二十六都日蓮之山
二十七都日蓮之山
二十八都日蓮之山
二十九都日蓮之山
三十都日蓮之山
三十一都日蓮之山
三十二都日蓮之山
三十三都日蓮之山
三十四都日蓮之山
三十五都日蓮之山
三十六都日蓮之山
三十七都日蓮之山
三十八都日蓮之山
三十九都日蓮之山
四十都日蓮之山
四十一都日蓮之山
四十二都日蓮之山
四十三都日蓮之山
四十四都日蓮之山
四十五都日蓮之山
四十六都日蓮之山
四十七都日蓮之山
四十八都日蓮之山
四十九都日蓮之山
五十都日蓮之山



大正六年

紀伊國有田郡糸我村
大宇中
箱荷神社境内之圖



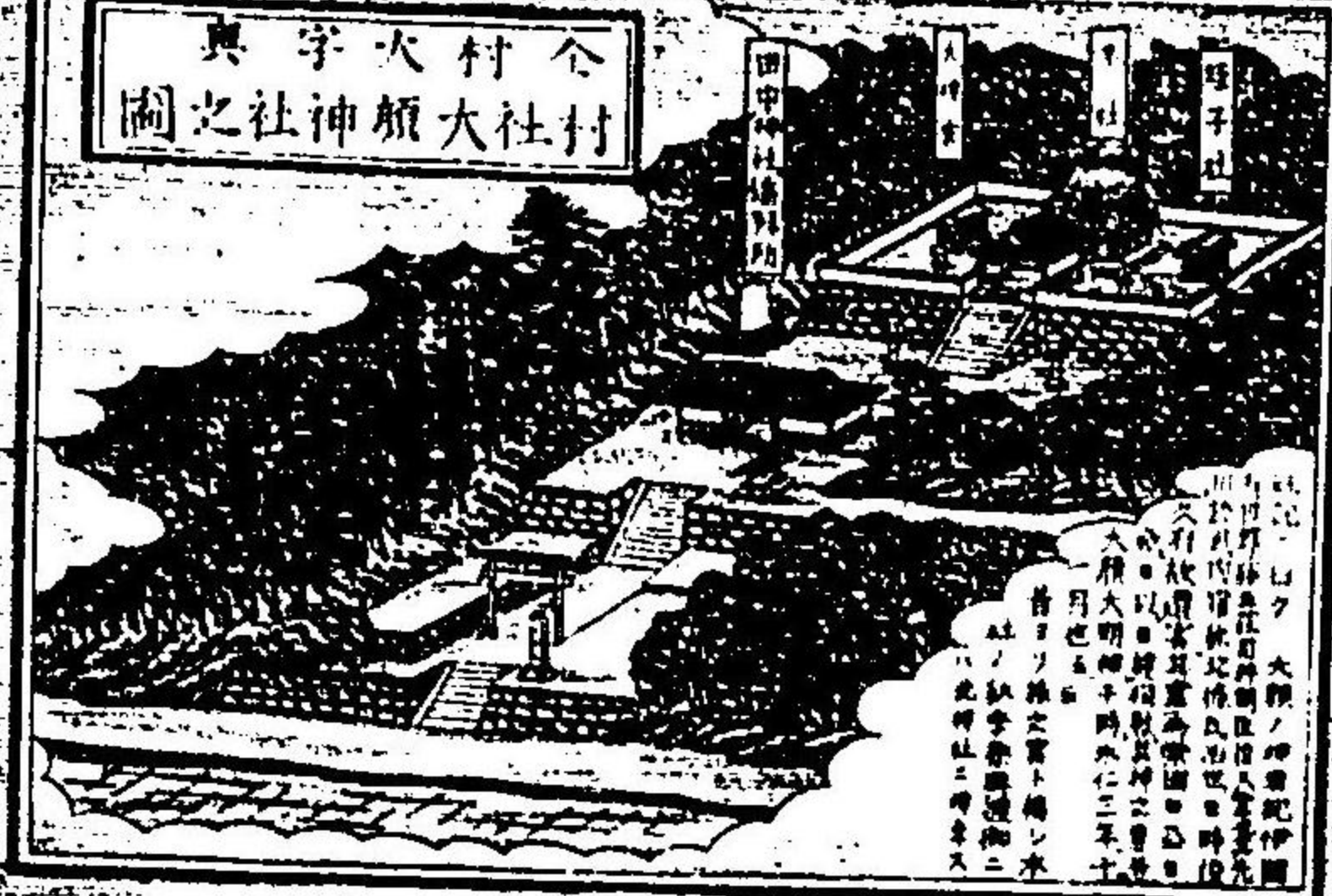
大坂大成館 銅版部

赤鹿社 箱荷社ト云フ
 祀神三座 倉橋連命 大威神 大市姫神
 人皇八代者之天皇五十四庚辰ノ理リ箱荷神社ト称山上
 ニ江連ノ張リテ祭ル此頃木ノ社ヲ造ル事ヲ知ラズ定
 マレル神地神ノナシ人皇廿八代者
 開天皇二年乙卯ノ春始メテ赤鹿
 山ニ社殿ヲ造營シテ祭ル事
 トナレリ後山ヨリ今ノ地
 ニ移ス

熊野道中
 昔物ノ赤鹿ノ水ノい
 ツか来リテモ噴リ
 赤鹿ノ水

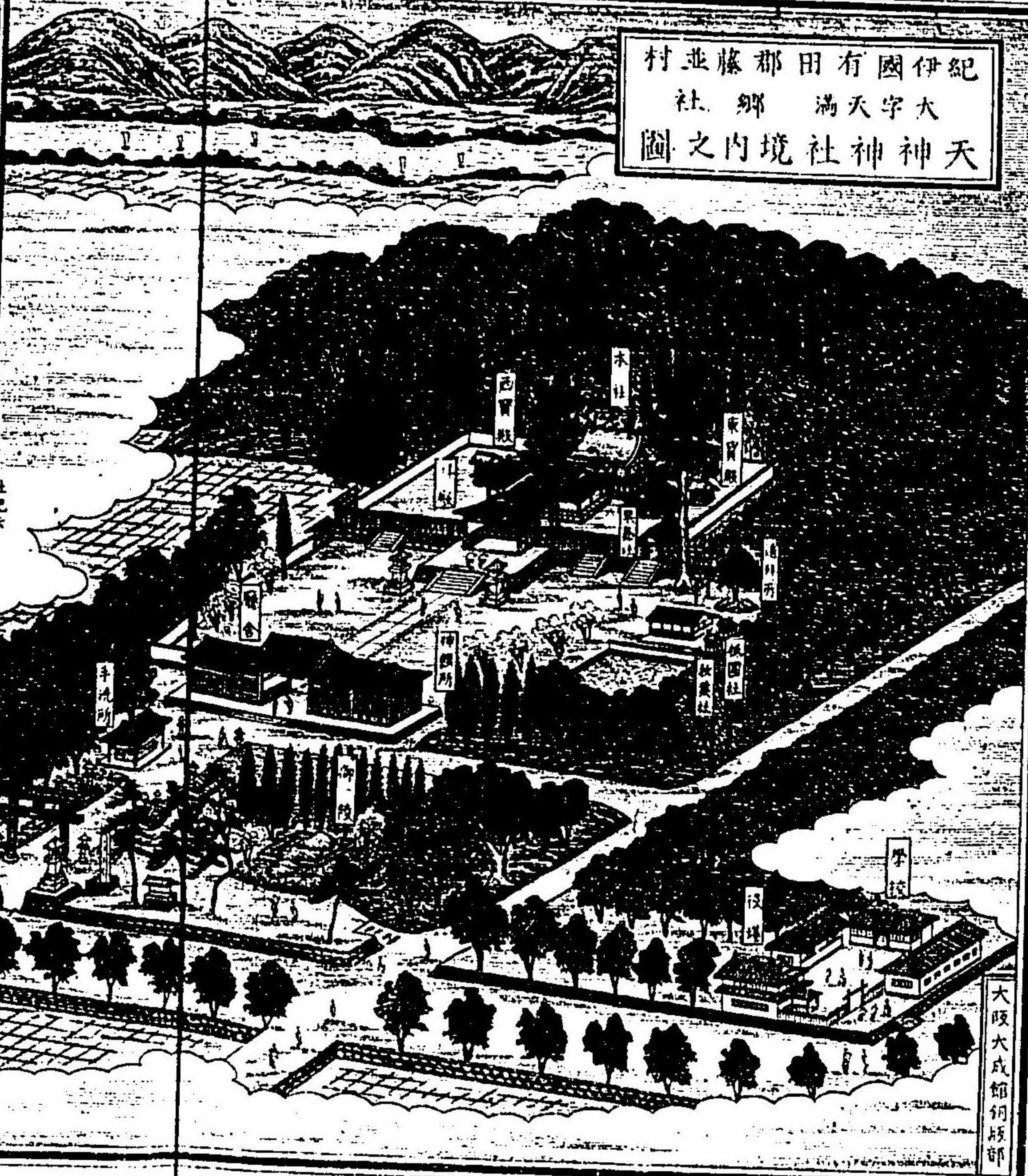
足利道中赤鹿ノ山ノ
 神地ニ在リテ
 前代院元張
 赤鹿山ノ人ト云フ事ヲ
 告ル事ト云フ
 本丸ト云フ赤鹿山ノ山ノ
 入テては也
 赤鹿山ノ山ノ
 赤鹿山ノ山ノ
 赤鹿山ノ山ノ

全日本村天字真
村大社神廟之圖



此社天字十七年
武内宿禰奉 勸水王
大神於此地三輪嶽
下其後 靈明天皇三年
已而開王子靈廟於野
田行ノ時 神降ノ
同四年十月 天皇祀伊弉
諾尊ノ行幸ノ時 降ノ
又神戶ノ増大ニ由テ
天字三年 皇極天皇御紀伊國守
時 於山崎北野神社ニリ天照宮ノ
靈泉 於山中 靈泉ノ神 於山崎
ノ湖ニ合祀シ以テ天照神社ト公稱ス云

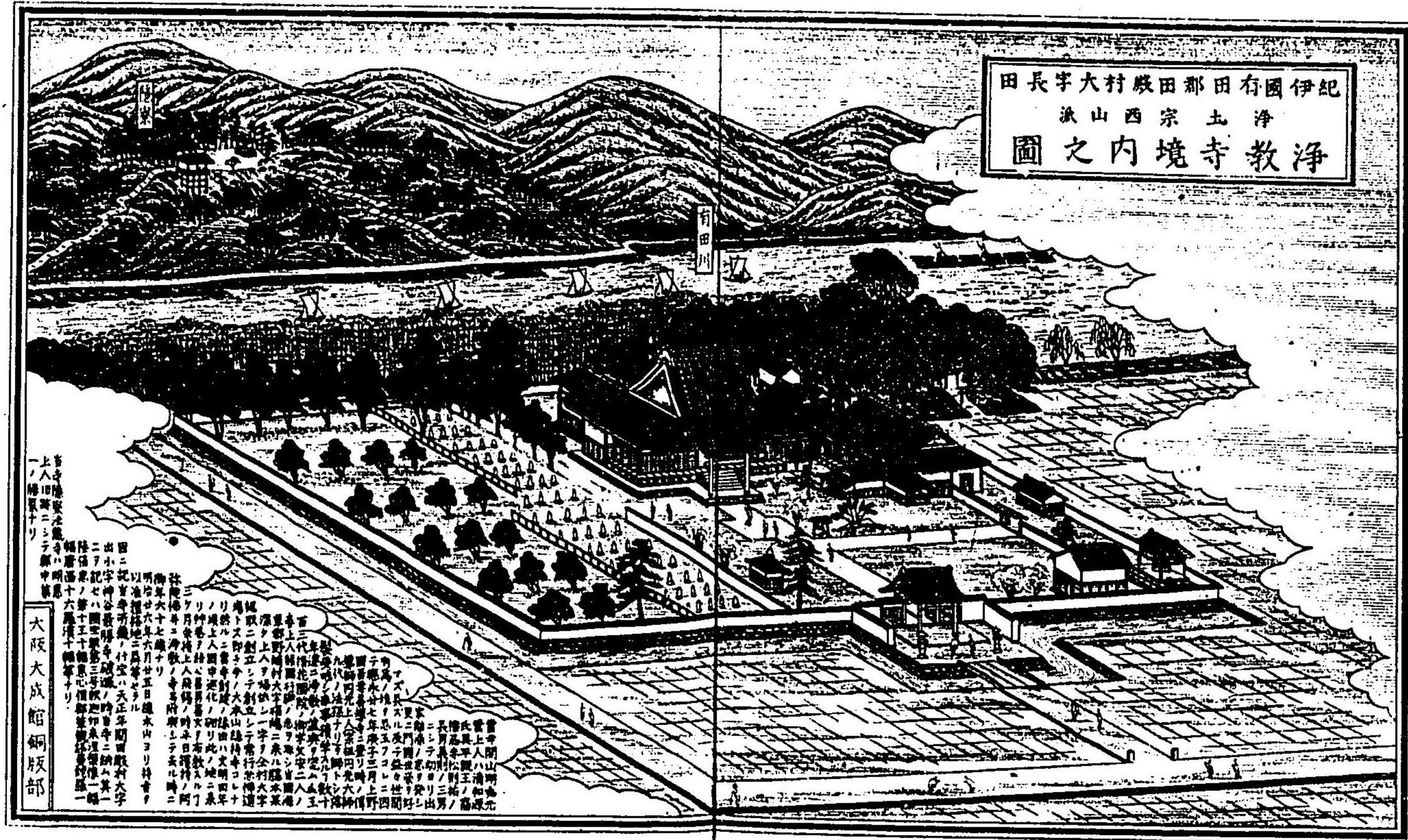
紀伊國田郡藤並村
大天字天滿鄉社
天神社之內境之圖



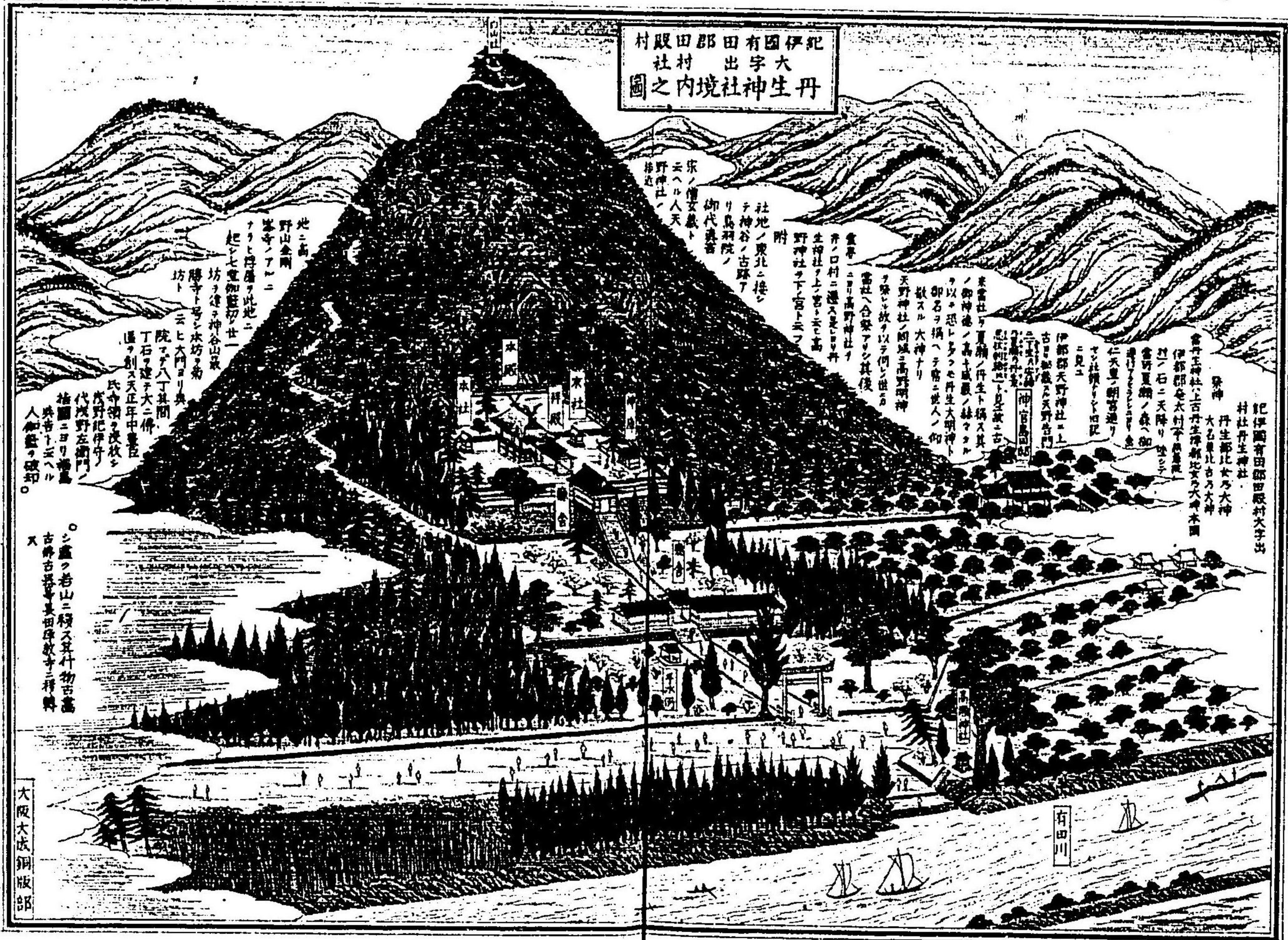
社記云
此社天字十七年
武内宿禰奉 勸水王
大神於此地三輪嶽
下其後 靈明天皇三年
已而開王子靈廟於野
田行ノ時 神降ノ
同四年十月 天皇祀伊弉
諾尊ノ行幸ノ時 降ノ
又神戶ノ増大ニ由テ
天字三年 皇極天皇御紀伊國守
時 於山崎北野神社ニリ天照宮ノ
靈泉 於山中 靈泉ノ神 於山崎
ノ湖ニ合祀シ以テ天照神社ト公稱ス云

日本書紀二日ノ
靈明天皇四年五月 皇孫宿禰于天武天皇
於上起項而收中略 宿禰曰 萬歲千秋之獲靈心
於此 於此 於此 於此 於此 於此 於此 於此
之乃 於此 於此 於此 於此 於此 於此 於此
同四年十月 天皇祀伊弉諾尊ノ行幸ノ時 降ノ
又神戶ノ増大ニ由テ 天字三年 皇極天皇御紀伊國守
時 於山崎北野神社ニリ天照宮ノ 靈泉 於山中 靈泉ノ神 於山崎
ノ湖ニ合祀シ以テ天照神社ト公稱ス云

大天大成館御藤部

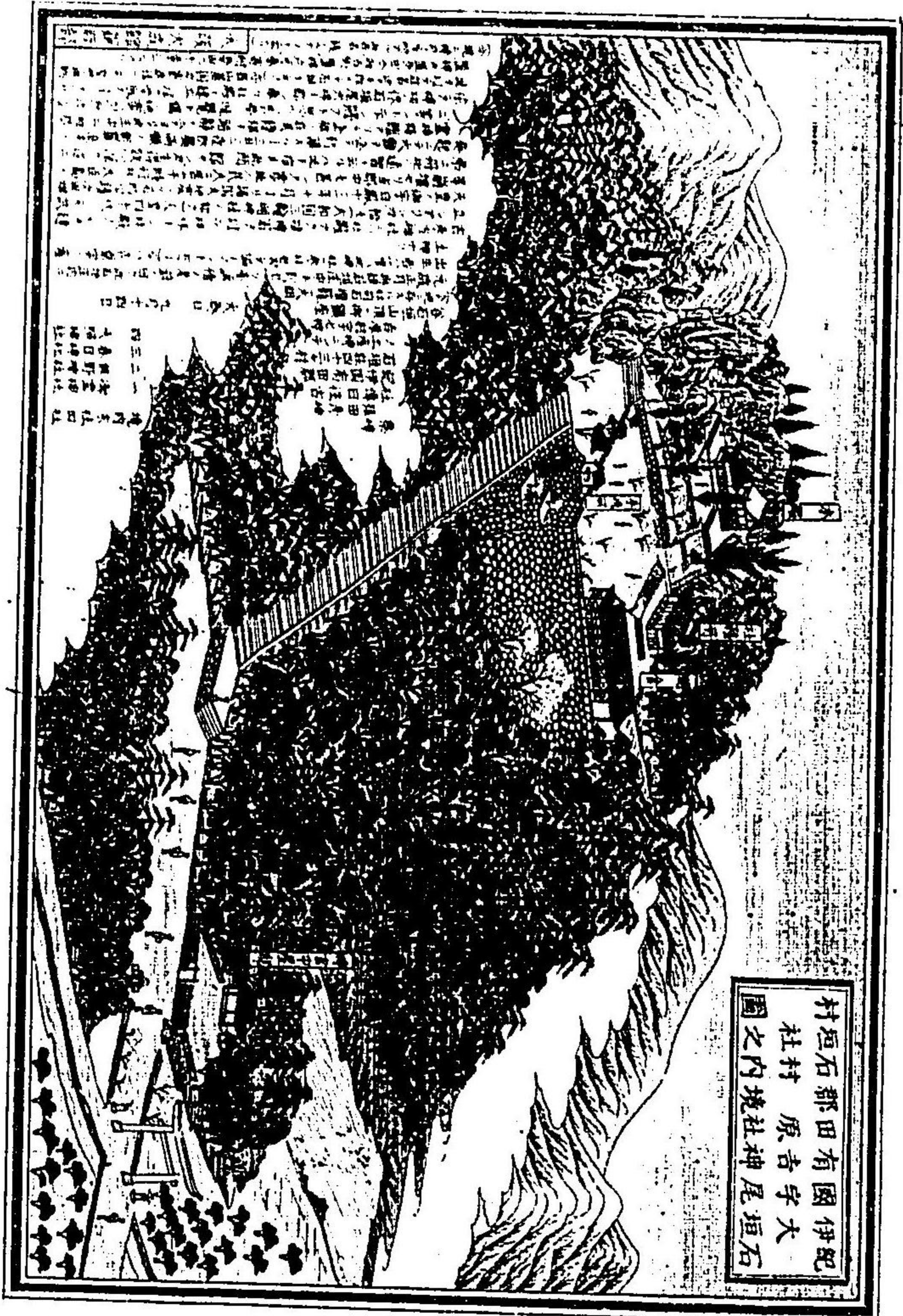


紀伊國有田郡田原村大字出丹神社之内境圖



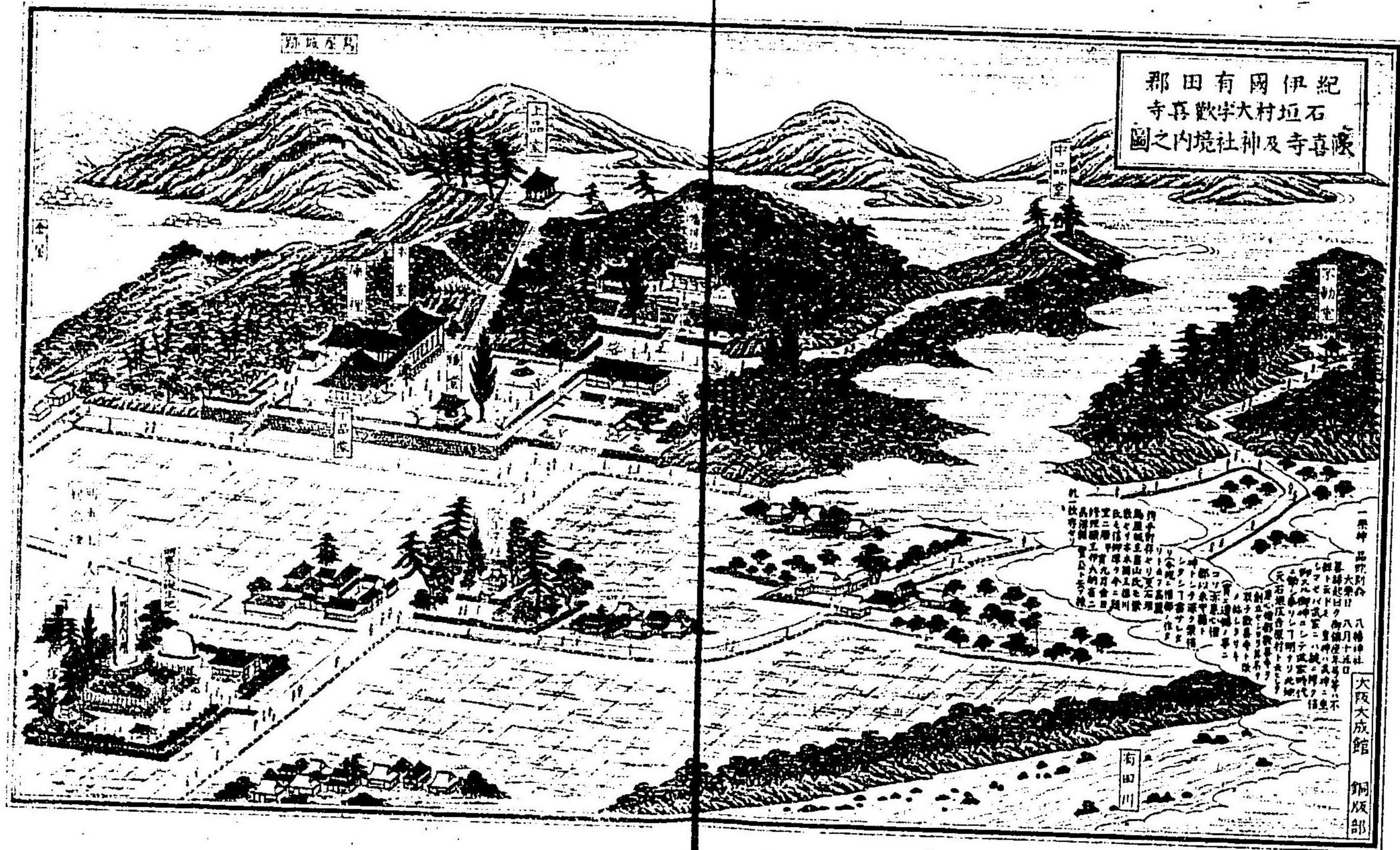
此山... 野山... 坊... 丁... 伊都... 丹生... 紀伊... 有田... 郡... 田原... 村... 大字... 出丹... 神社... 之内... 境... 圖...

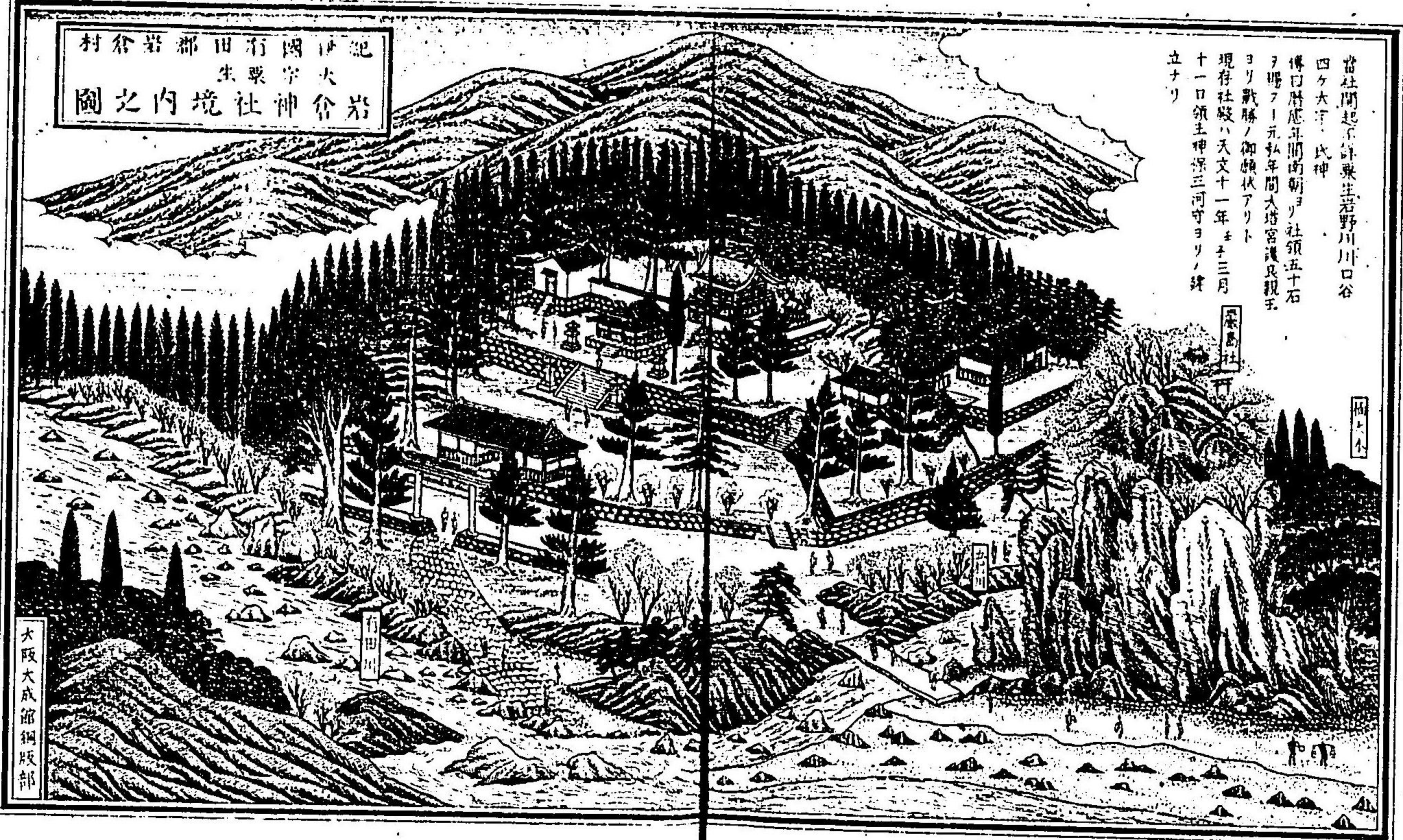
大阪大坂銅版部



伊紀 犬尾 宇布 郡 石垣 村
大 吉 原 石垣 村
石 垣 村 社 内 之 圖

石垣村の歴史
石垣村は、古くは石垣郡の中心地として栄え、
その歴史は古く、石垣の戦いで有名である。
石垣の戦いは、徳川幕府の統一に大きく貢献した。
石垣村には、石垣の戦いの歴史を伝える多くの史跡があり、
その中でも、石垣の戦いの本陣跡として知られる石垣本陣跡は、
石垣村の歴史を語る上で重要な場所である。
石垣村は、自然豊かな美しい山村であり、
その風景は多くの人々を魅了している。
石垣村には、多くの伝統的な行事があり、
その中でも、石垣の戦いの歴史を伝える石垣の戦いの祭りは、
石垣村の歴史を伝える上で重要な役割を果たしている。
石垣村は、歴史と自然が調和した美しい山村であり、
その魅力を多くの人々に伝えることが、
石垣村の今後の発展にとって重要な課題である。





紀伊國有田郡岩倉村
大宇字栗生
岩倉神社境内之圖

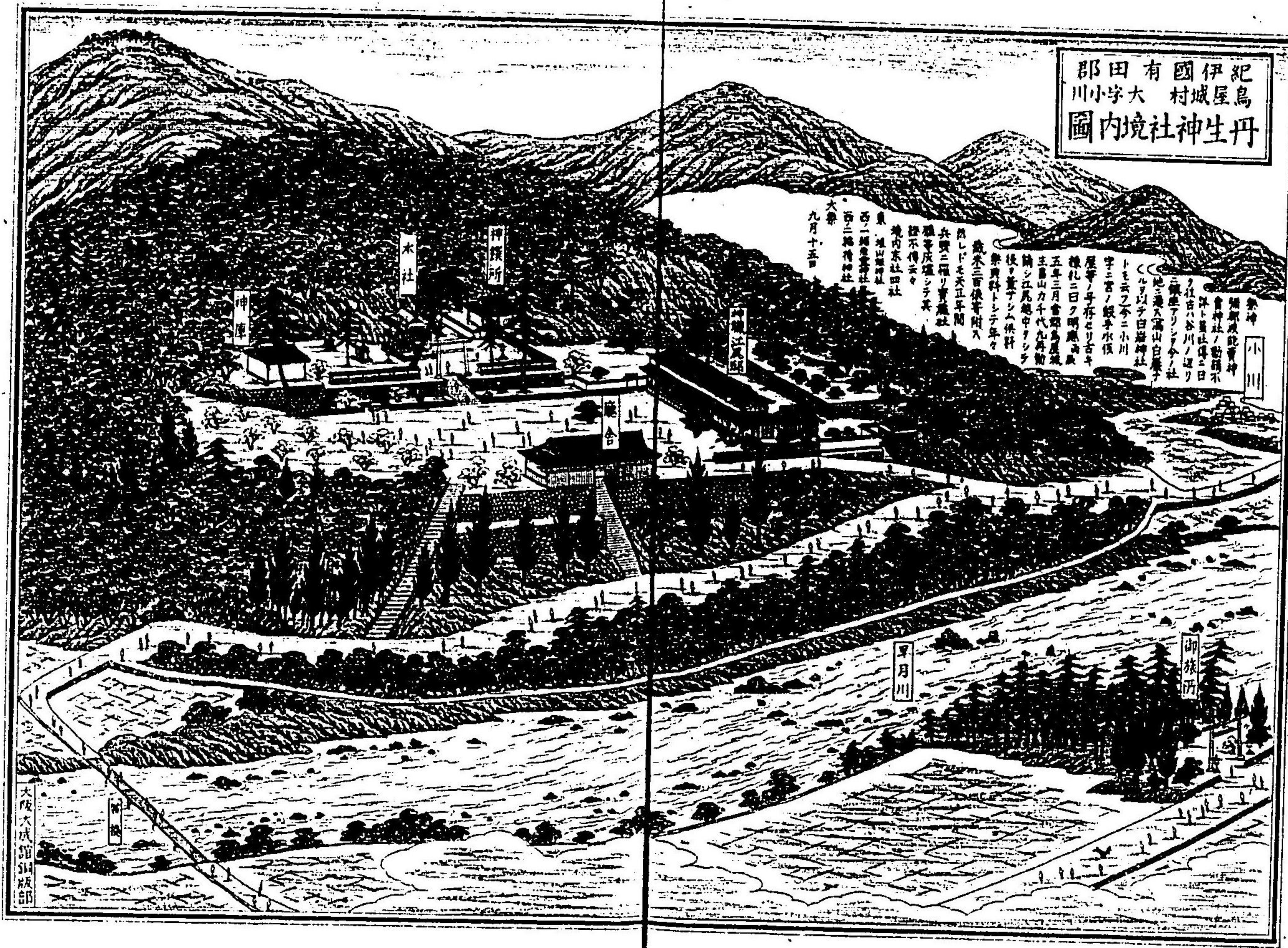
當社開基不詳、粟生野川河口谷
四々大宇、此神
傳曰、曆應和開朝、社領五十石
ヲ賜テ、元弘年間、大塔宮護良親王
ヨリ、歌懸ノ御旗伏アリト
現存社殿、天文十一年、壬子三月
十一日、領主神保三河守ヨリ、建
立ナリ

栗生

四々

大坂大成館銅版部

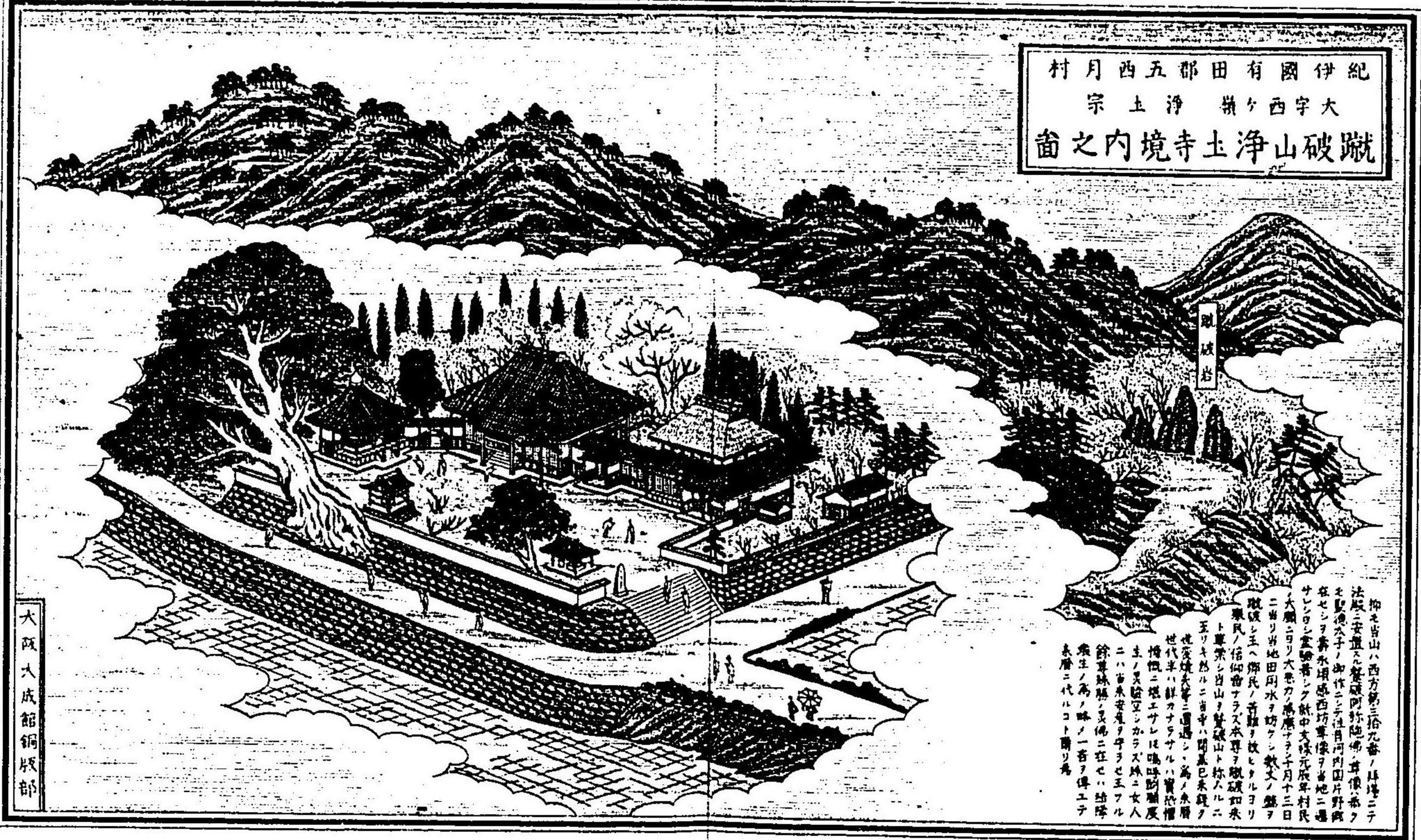
伊紀國有田郡
鳥屋城村大字小川
丹生神社境内圖



丹生神社、鳥屋城村大字小川に在り、古くは天武天皇の御代に於て、丹生山に於て、丹生神を奉祀せり。神代卷に、丹生神は、伊紀國丹生山に在り。天武天皇の御代、丹生神を奉祀せり。神代卷に、丹生神は、伊紀國丹生山に在り。天武天皇の御代、丹生神を奉祀せり。

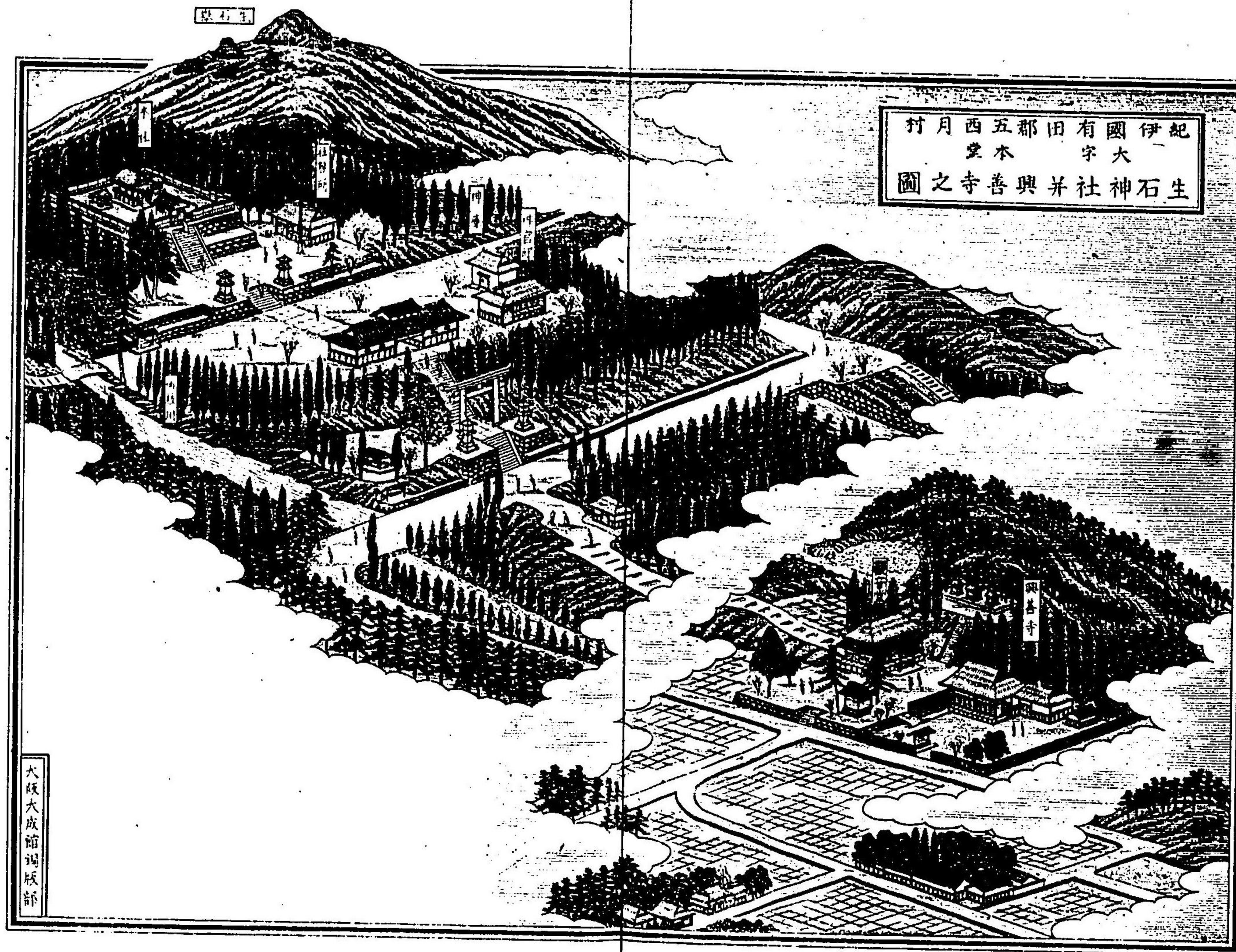
大城小川 伊紀郡

紀伊國有田郡西月村
大宇字ヶ嶺浄土宗
蹴破山浄土寺境内之亩



抑て吉山ハ西方影三岳穴番ノ峰ニテ
法眼ニ安座スル聖阿彌陀佛ノ尊像ヲ
奉安スル事ヲ始メテ西月村ノ地ニ
サレシメテ聖徳太子ノ御宇ニ於テ
大徳ニヨリ大徳ノ所ニ於テ千月十三日
ニ當リ山田田圃水ヲ助ケテ教文ノ鑑ヲ
撰録シテハ御氏ノ善積ヲ教ヒタルヨリ
上尊宗ノ山ヲ蹴破山ト云ハルニ
世々傳ヘテ三邊通シテ高ノ水層
権臣ニ據テサレテ其地ノ聖徳太子
主ノ聖徳太子ノ御宇ニ於テ五ノ人
ニハ當リ安座スル事ヲモテ五ノ人
餘事無クモ佛ニ在リテハ結隆
衆生ノ為ノ味ノ一善ヲ傳エテ
去唐ニ代ルコト斷リ為

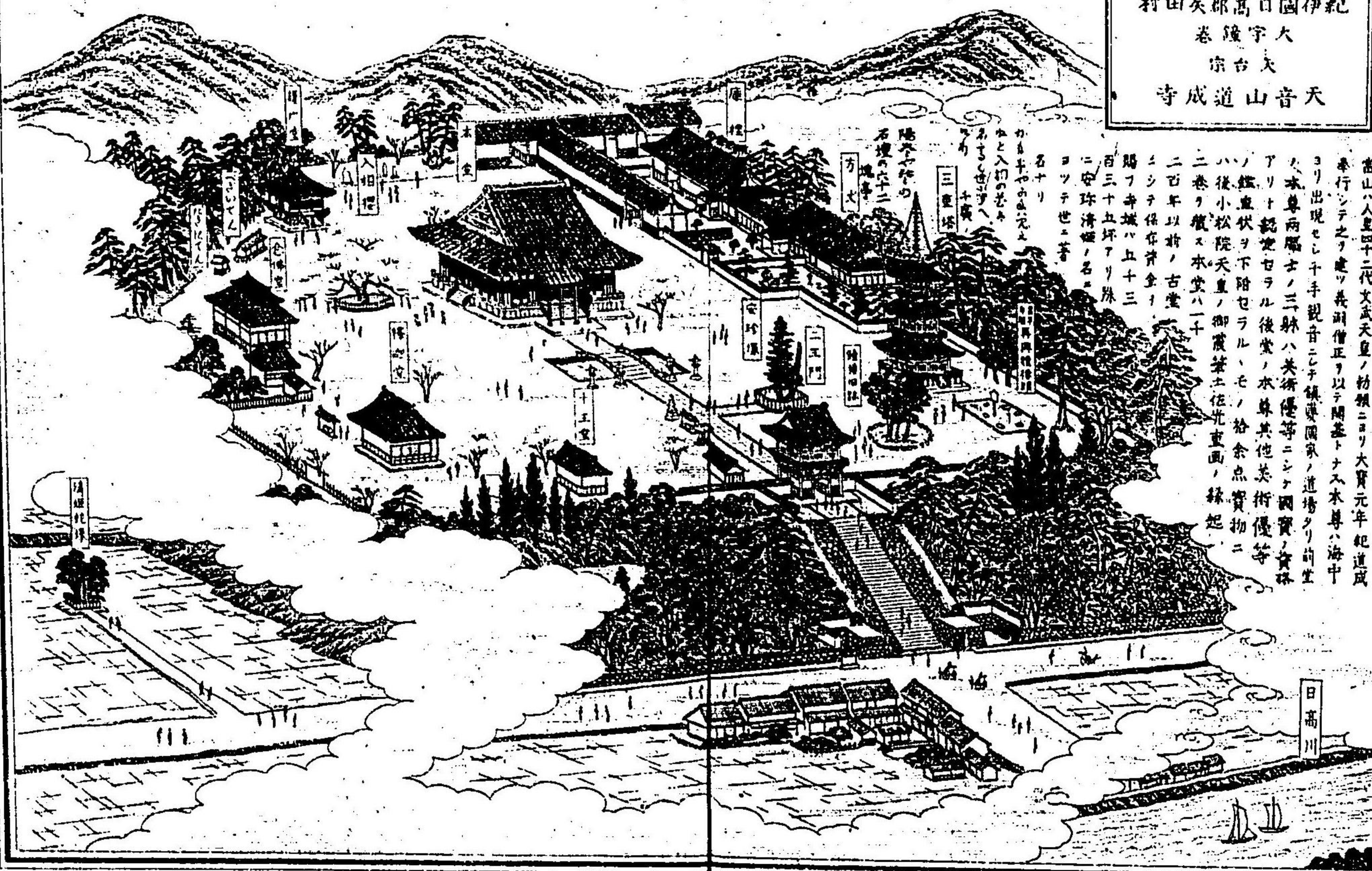
大正八年度銅版部



紀伊國田原郡西月村
大宇
生石神社并興善寺之圖

大坂大成館編版部

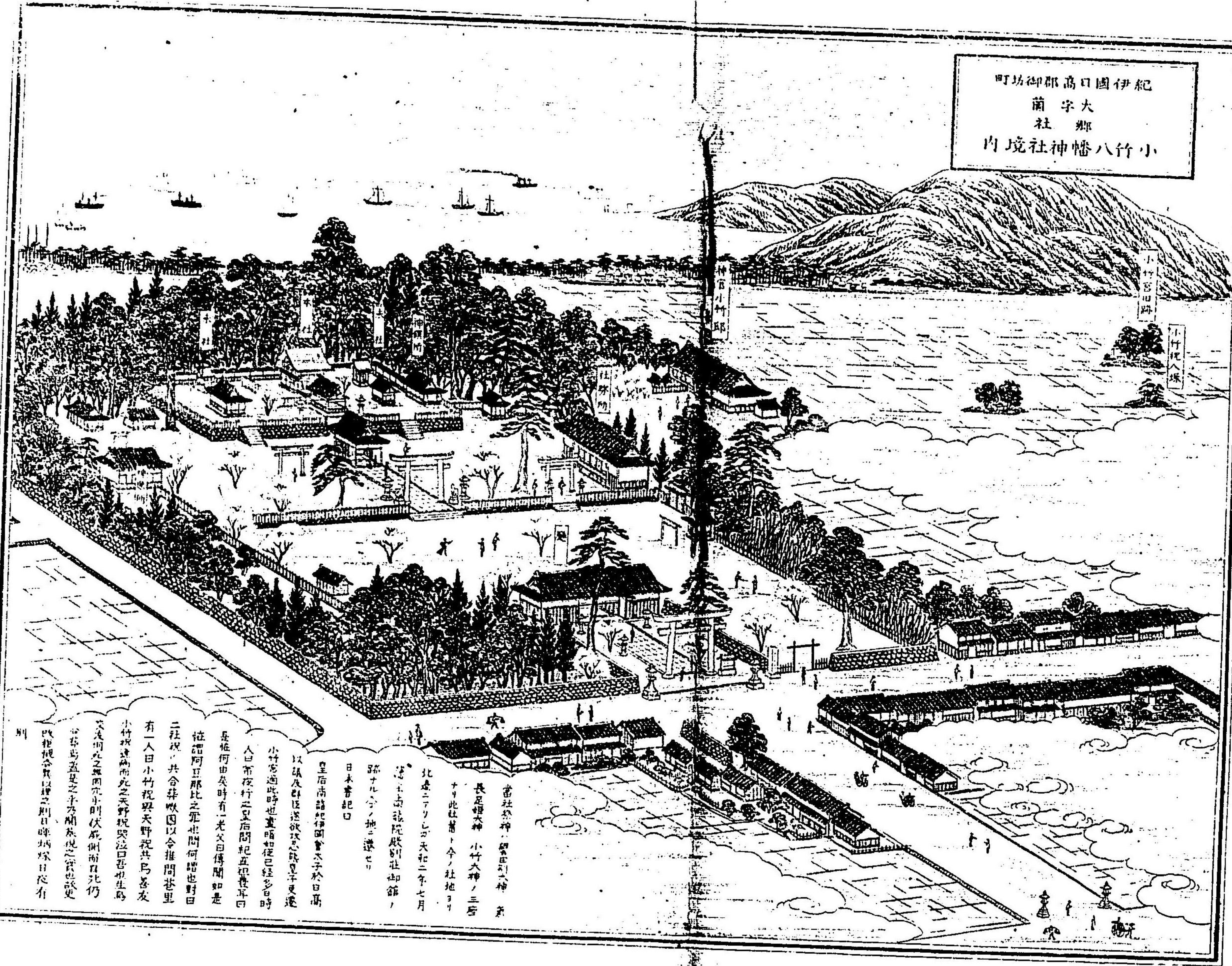
紀伊國高野山
大智度卷
天台音山道成寺



高野山ハ大聖四子元武天皇ノ勅願ニヨリ大寶元年紀道成
 奉行シテ之ヲ建ツ長瀬僧正ヲ以テ開基トナス本尊ハ海中
 ヲリ出現セシ十手觀音ニテ攝摩訶耶ノ道場アリ前堂
 ハ本尊兩脇ニ三昧ハ英辨優等ニシテ國寶ノ寶珠
 アリ十觀音ニテ下階セラル本尊其他英辨優等
 ノ觀音伏下階セラルモノ拾余点寶物ニ
 ハ後小松院天皇ノ御震筆ニ佐光重画ノ縁起
 ニ卷リ載ス本堂ハ一十
 二百年以前ノ古堂
 ニシテ保存皆全
 賜フ寺域ハ五十三
 百三十五坪アリ外
 ニ安珠清經ノ名
 コツテ世ニ著
 名ナリ
 石壇ハ六二
 三三三

日高川

町坊御郡高口國伊紀
 蘭字大
 社 鄉
 内境社神幡八竹小

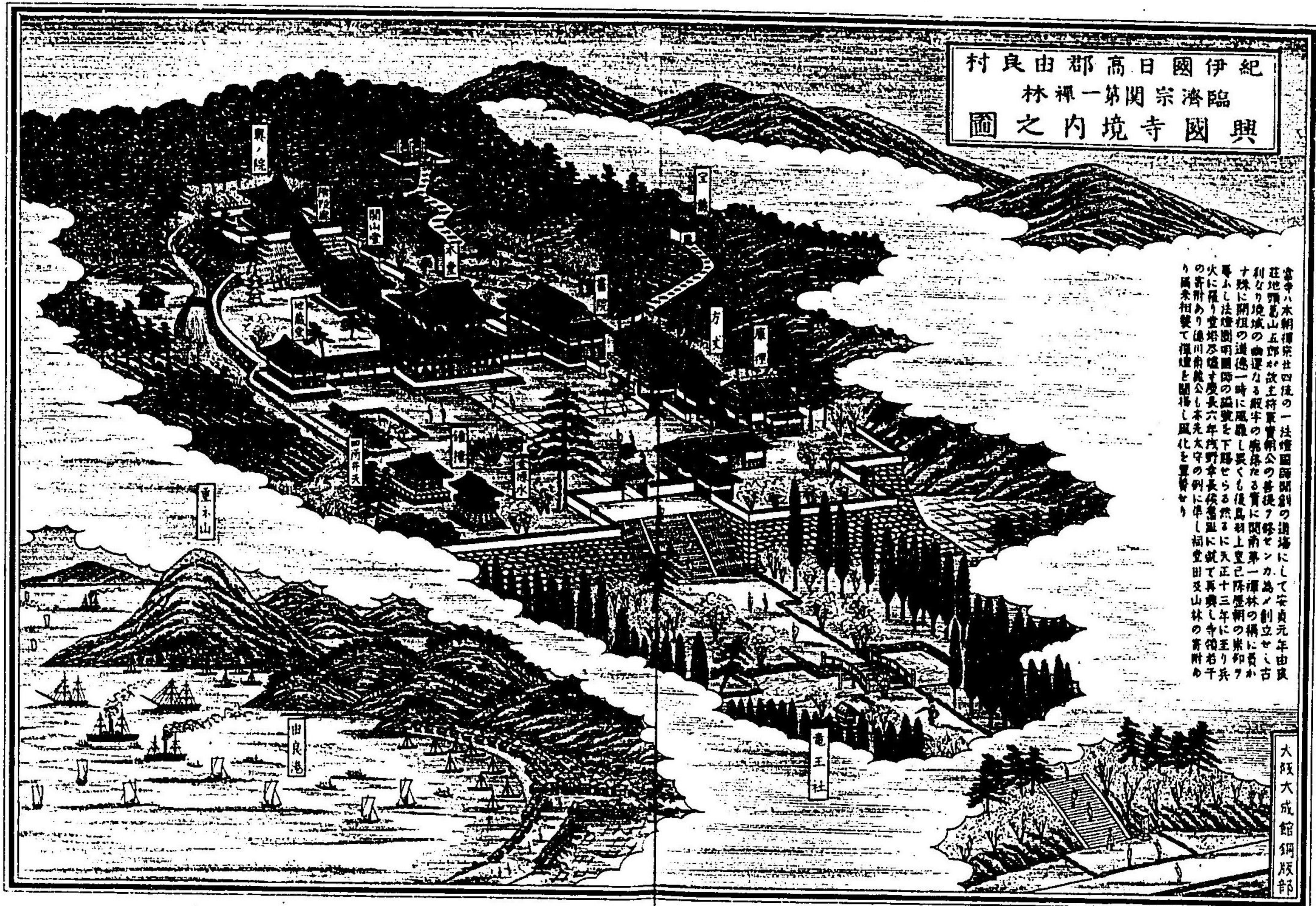


當社祭神 留世則大神 兼
 長尾御大神 小幡大神ノ三層
 ナリ此社舊ノ今ノ社地ナリ
 北邊ニテリシニ天和二年七月
 爲上御院院殿別社御館ノ
 跡ナル今ノ地ニ遷セリ
 日本書紀曰
 皇后高麗紀伊國曾太子於日高
 以鎮及御臣逐欲攻心既皇子更還
 小幡宮過此時也重囑如臣已甚多自時
 人曰常夜行ニ皇居間紀五祖昔耳曰
 長尾何由矣時有一老父曰傳聞如是
 征謂阿豆那比之罪也問何謂也對曰
 三柱祝ニ共合葬歟因以令推問巷里
 有一人曰小幡祝與天野祝共馬善友
 小幡祝爲病而死之天野祝哭泣曰吾弟生焉
 又天明之靈而示則伏那側爾日仍
 心爲焉蓋是之乎乃爾亦祝之實也故更
 以推祝合葬以禮之則日輝城日夜有
 則

欠

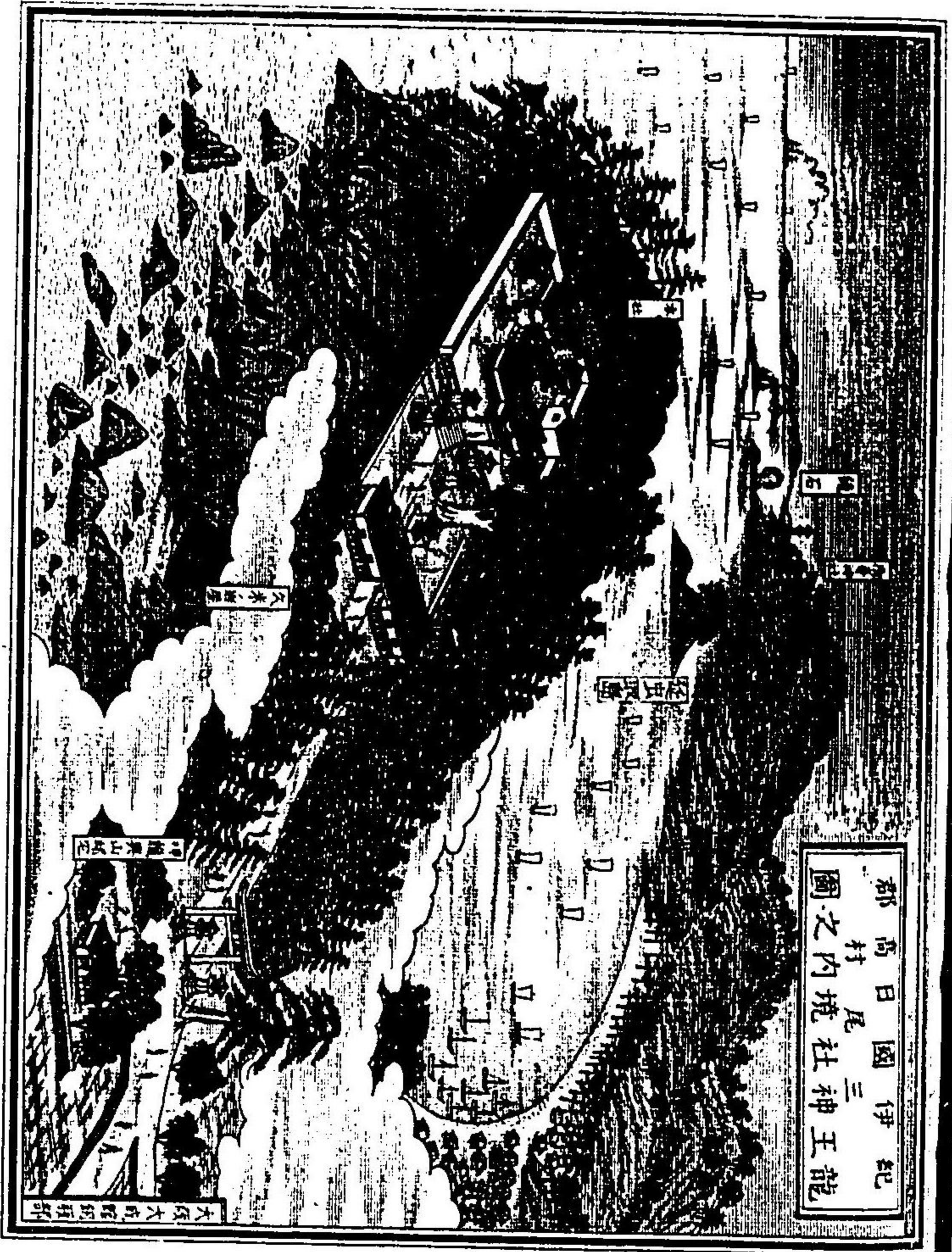
MISSING

紀伊國高日郡由良村
臨濟宗第一禪林
興國寺境之内之圖



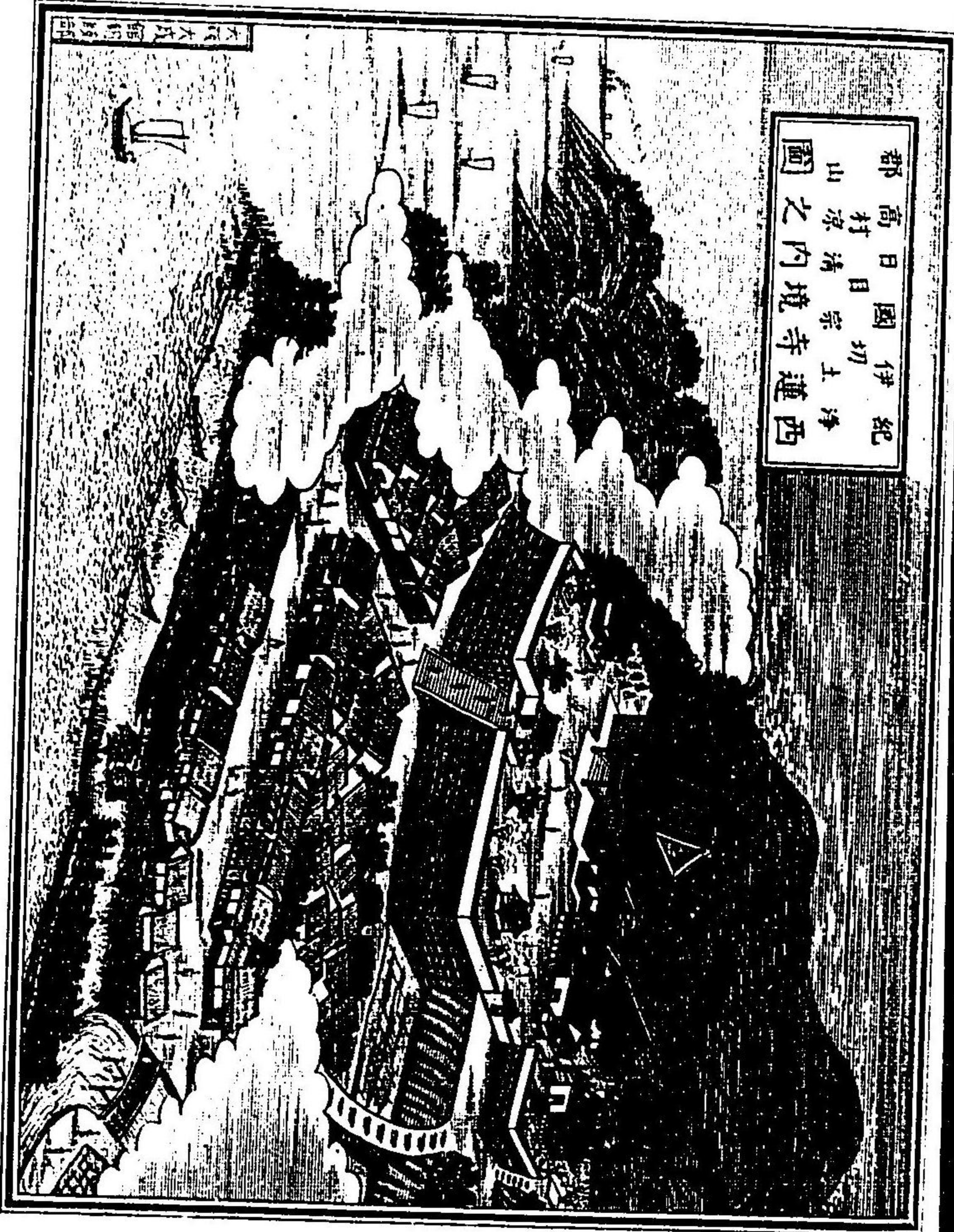
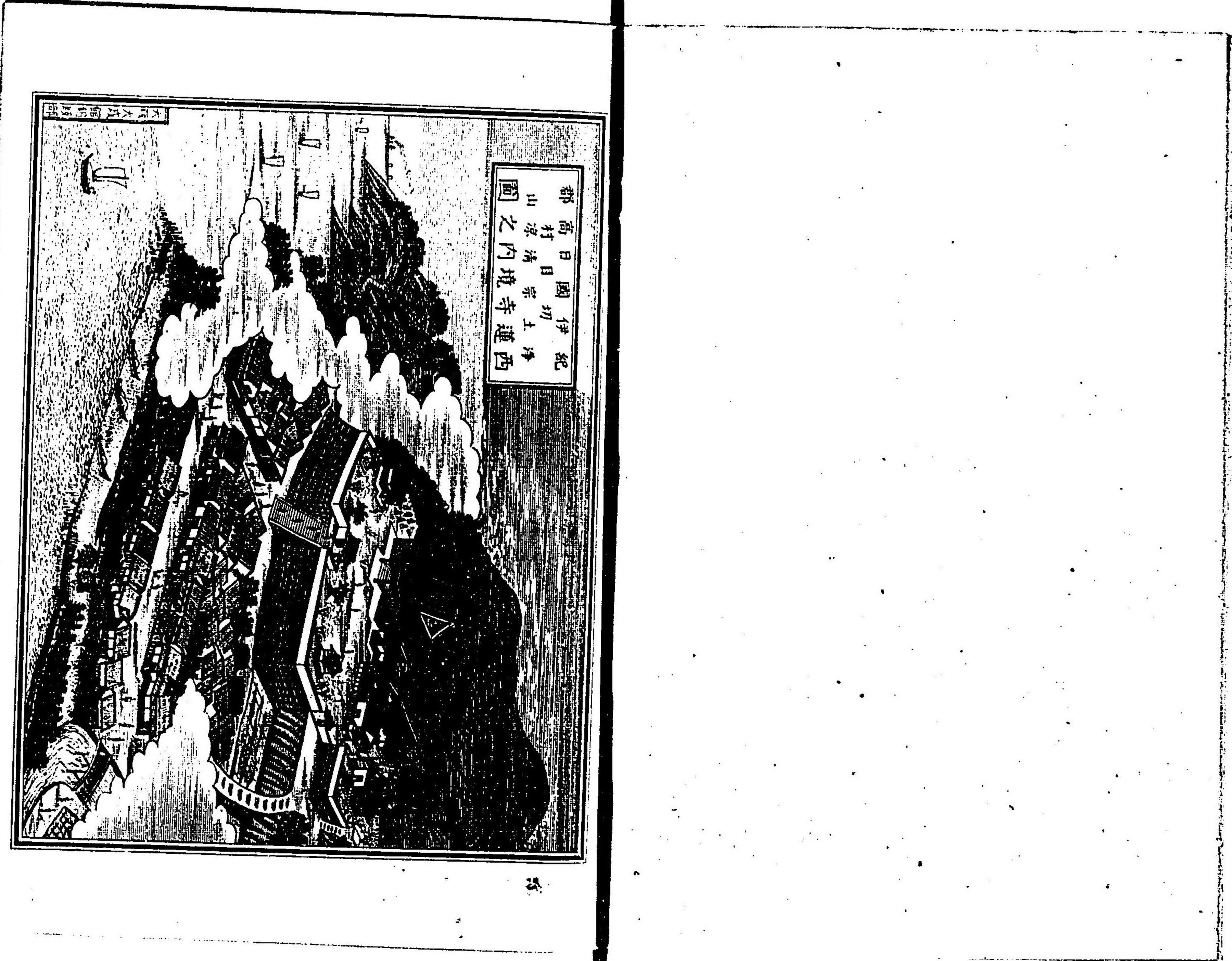
此寺ハ本願宗社四座の一法燈師開創の遺蹟にして安貞元年由良
莊地嶺山五郎が故主將家實公の菩提ヲ修メンカ爲メ創立セシ古
刹ナリ境之内の曲徑なる殿宇の廢存ハ實に開前第一禪林の蹟に古
ナク法燈師の遺蹟一時に風靡シ衰々たる後貞和上皇已降歴朝の崇に古
專ムシ法燈師の遺蹟と下野セらる然るに天正十三年に壬子卯ノ
火に罹リ堂塔悉く燬ス長六年改野寺長保堂に就テ再興シ寺額若千
の寄附あり徳川前公も本年大守の例に準シ祠堂田及山林の寄附め
り萬葉相變て遺蹟と開揚し風化と憂鬱せり

大阪大成館銅版部



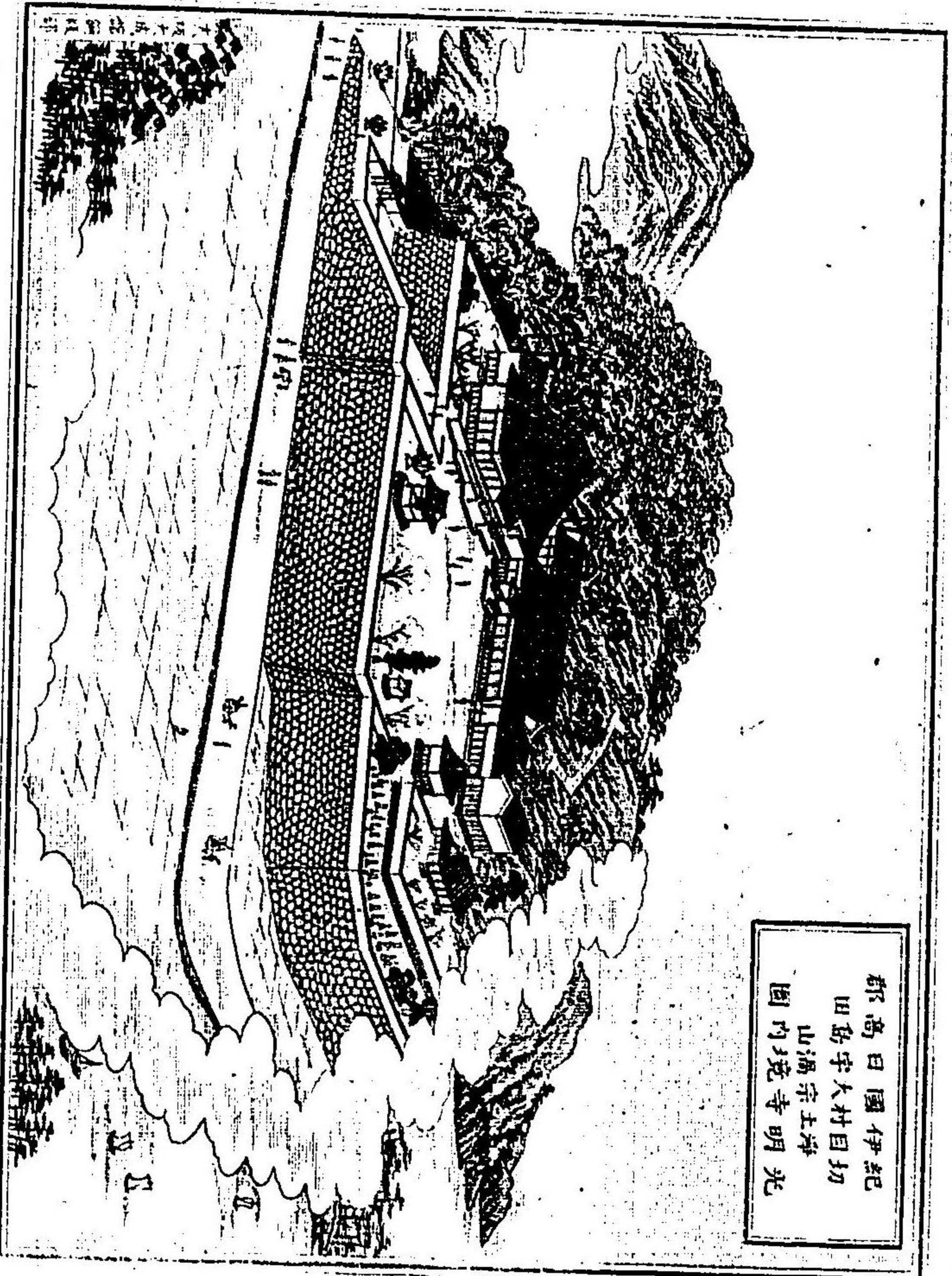
紀伊國尾高村
龍王神社境內之圖

大阪大正製本所

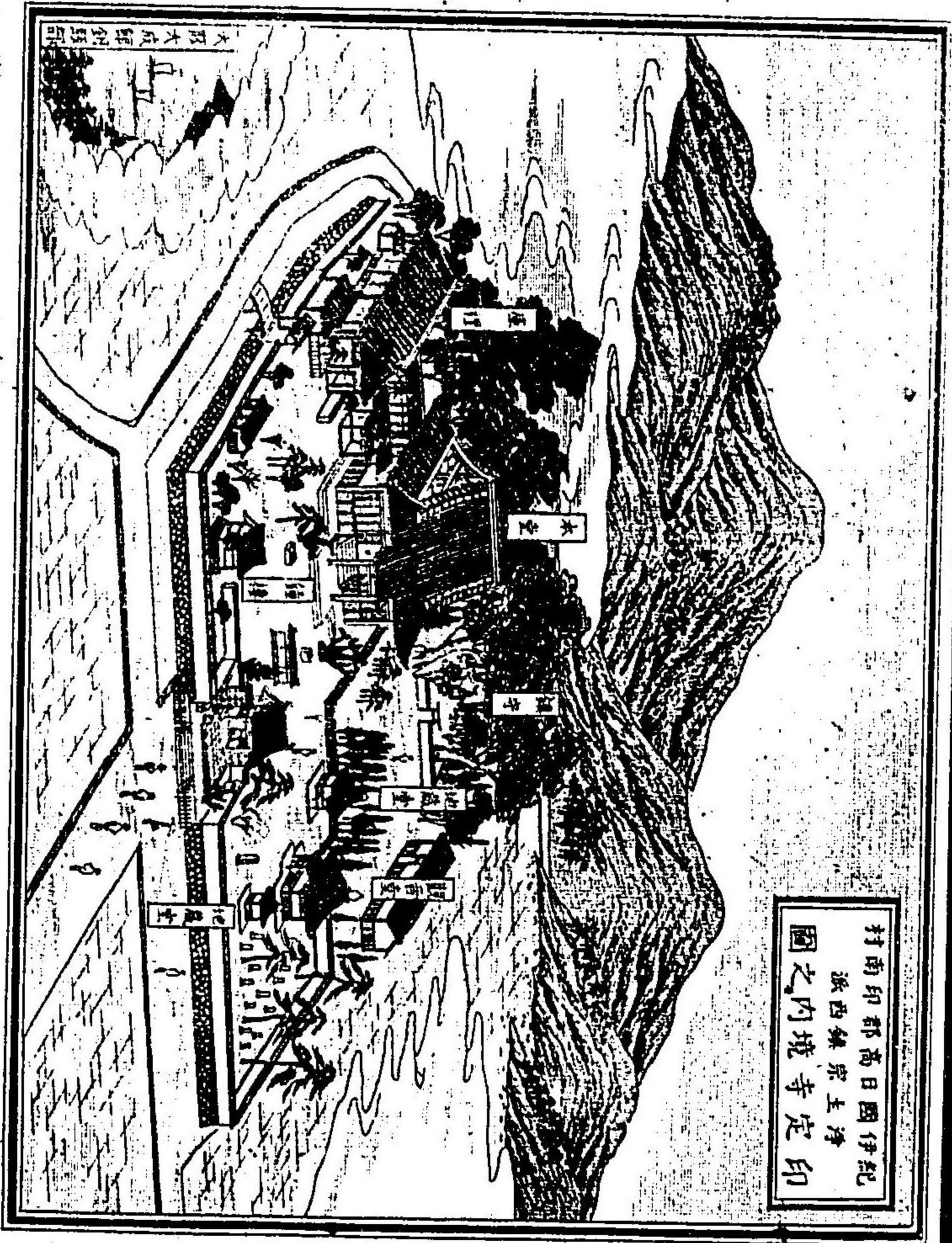


紀伊土佐淨西
伊弉諾山
日宗境
日清境
高打涼之內
都山圖

日本國大分縣

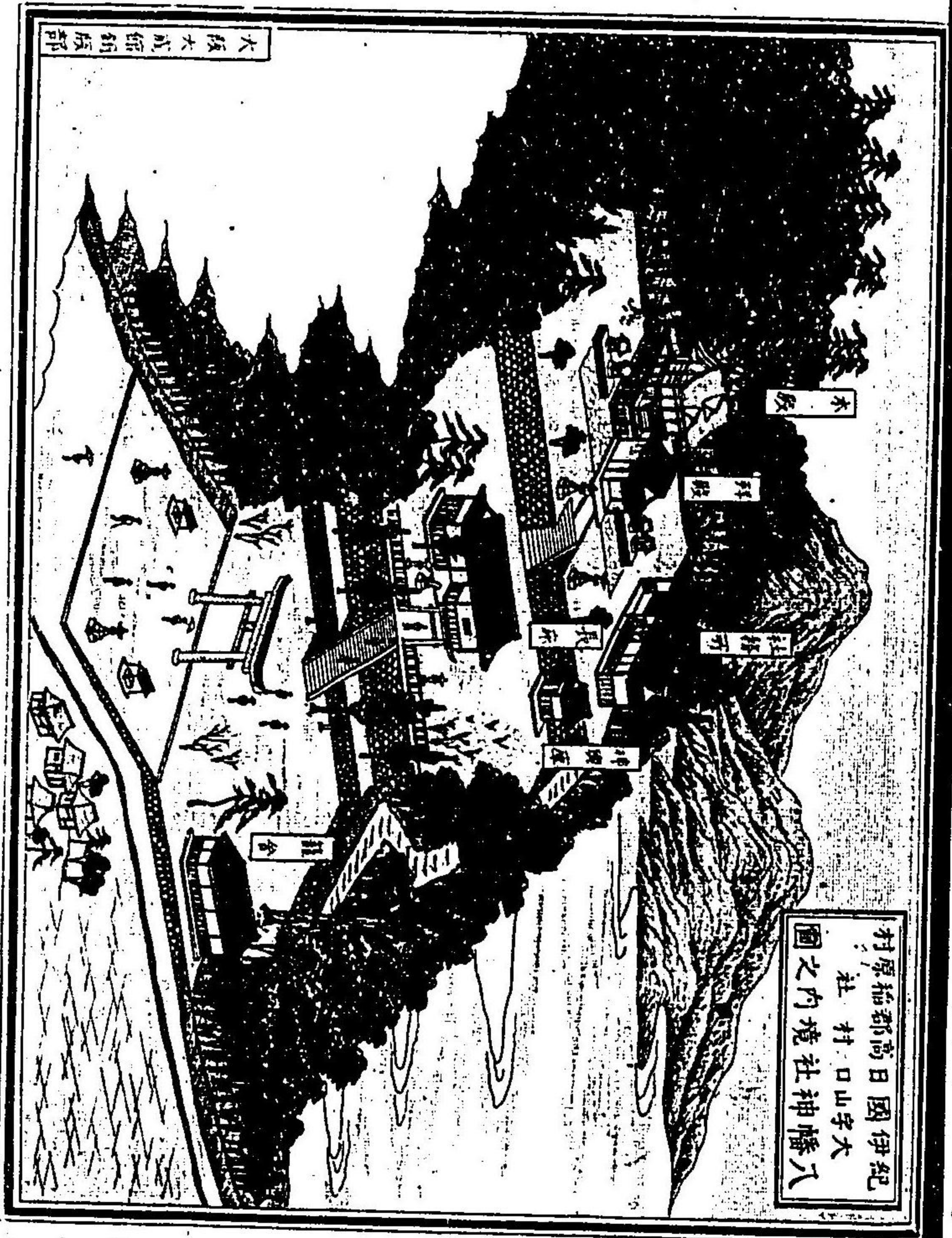


都高日國伊紀
田島宇人村目切
山滿宗土塚
園内境寺明光



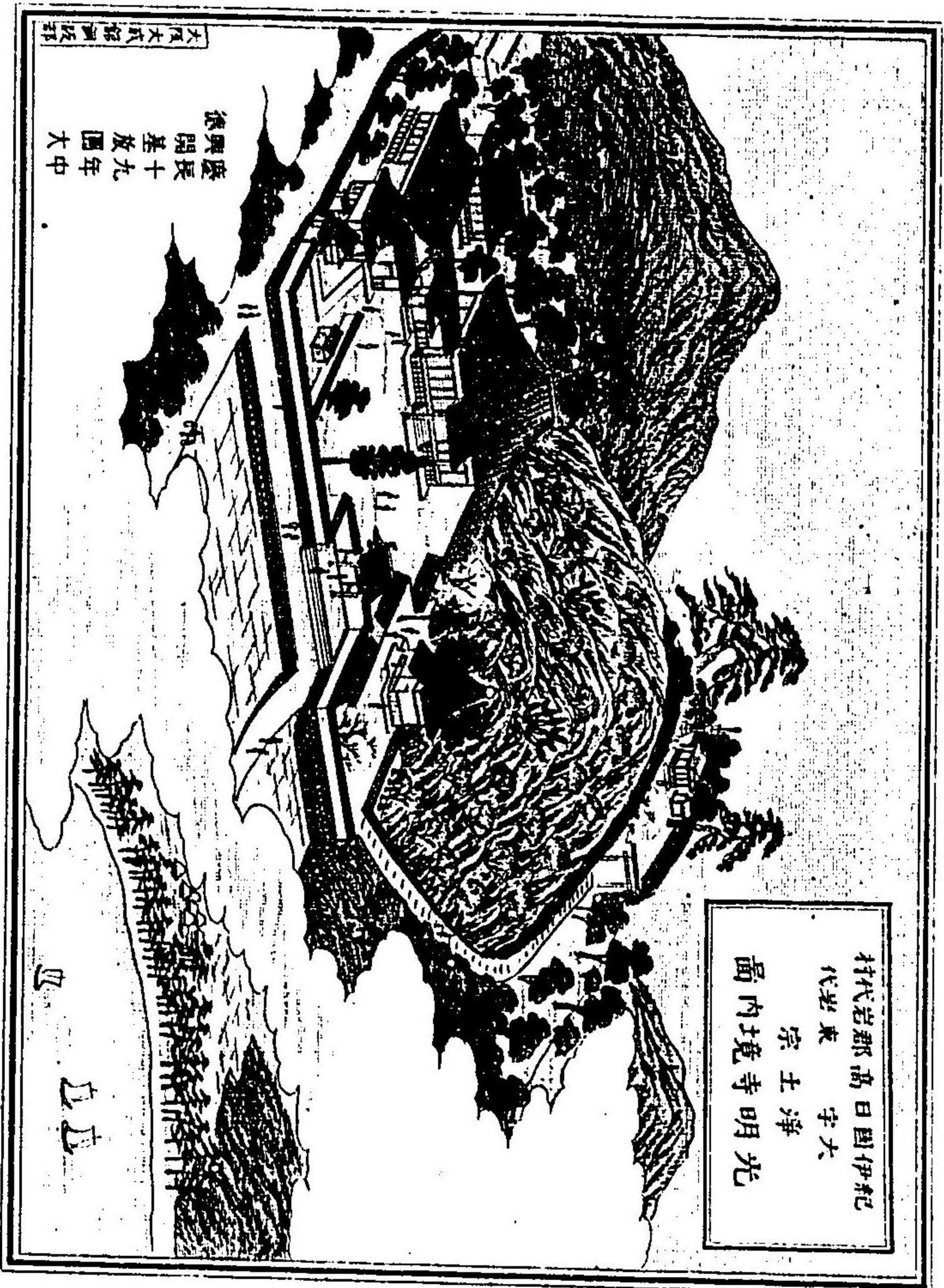
打南印都高日國伊紀
 派西集宗土淨
 圖之內境寺定印

大日本武藏國伊豆郡
 伊豆郡伊豆郡



伊弉日高野村
大宇山神社
八幡社境内之圖

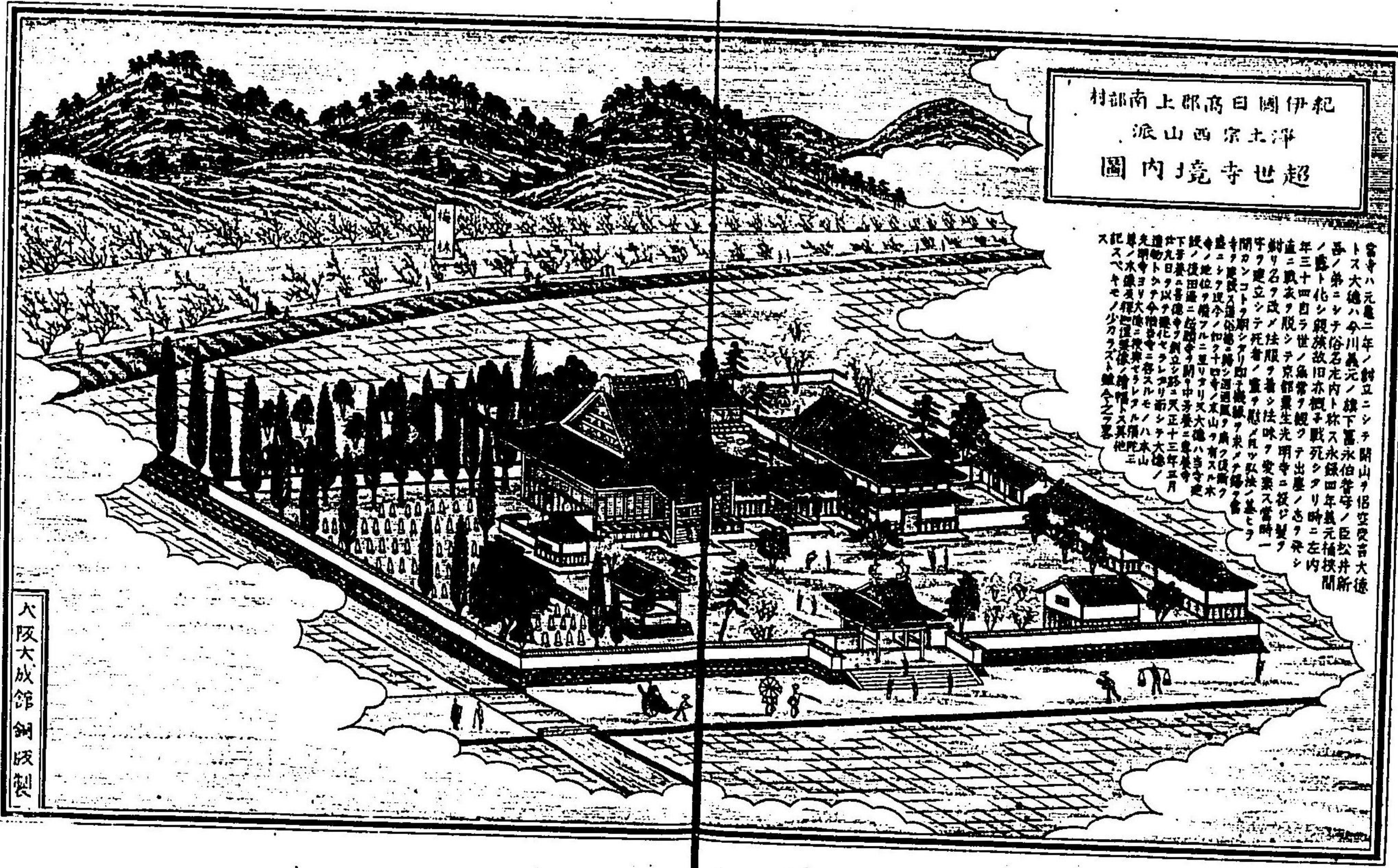
京都府高野村大宇山神社



日國伊紀
 高野大
 宗土淨
 明光
 寺境內
 圖

大興長十九年
 中
 大興長十九年
 中
 大興長十九年
 中

五七



紀伊國高田郡上南村
淨土宗西山派
超世寺境内圖

當寺ハ元應二年ノ創立ニシテ關山ヲ招安受音大德
 トス大德ハ今川義元ノ部下蓋永伯尊等ノ臣松井所
 奉ニシテ淨土宗ノ故山トシテ本願ヲ修メテ死シテ
 後トシテ四百年ノ遠キニテ其ノ功徳ノ大ニテ左ノ
 如キニナリ
 正徳三年五月ニテ關山ノ遺蹟ヲ發見シテ
 其ノ處ニテ法堂ヲ建テテ其ノ名ヲ法堂トシテ
 今ノ法堂トシテ稱スルモ其ノ處ニテ其ノ遺蹟ヲ
 發見シテ其ノ處ニテ法堂ヲ建テテ其ノ名ヲ法堂
 トシテ稱スルモ其ノ處ニテ其ノ遺蹟ヲ發見シテ其
 ノ處ニテ法堂ヲ建テテ其ノ名ヲ法堂トシテ稱ス
 ルモ其ノ處ニテ其ノ遺蹟ヲ發見シテ其ノ處ニテ法
 堂ヲ建テテ其ノ名ヲ法堂トシテ稱スルモ其ノ處
 ニテ其ノ遺蹟ヲ發見シテ其ノ處ニテ法堂ヲ建テ
 テ其ノ名ヲ法堂トシテ稱スルモ其ノ處ニテ其ノ
 遺蹟ヲ發見シテ其ノ處ニテ法堂ヲ建テテ其ノ名
 ヲ法堂トシテ稱スルモ其ノ處ニテ其ノ遺蹟ヲ發
 見シテ其ノ處ニテ法堂ヲ建テテ其ノ名ヲ法堂ト
 シテ稱スルモ其ノ處ニテ其ノ遺蹟ヲ發見シテ其
 ノ處ニテ法堂ヲ建テテ其ノ名ヲ法堂トシテ稱ス

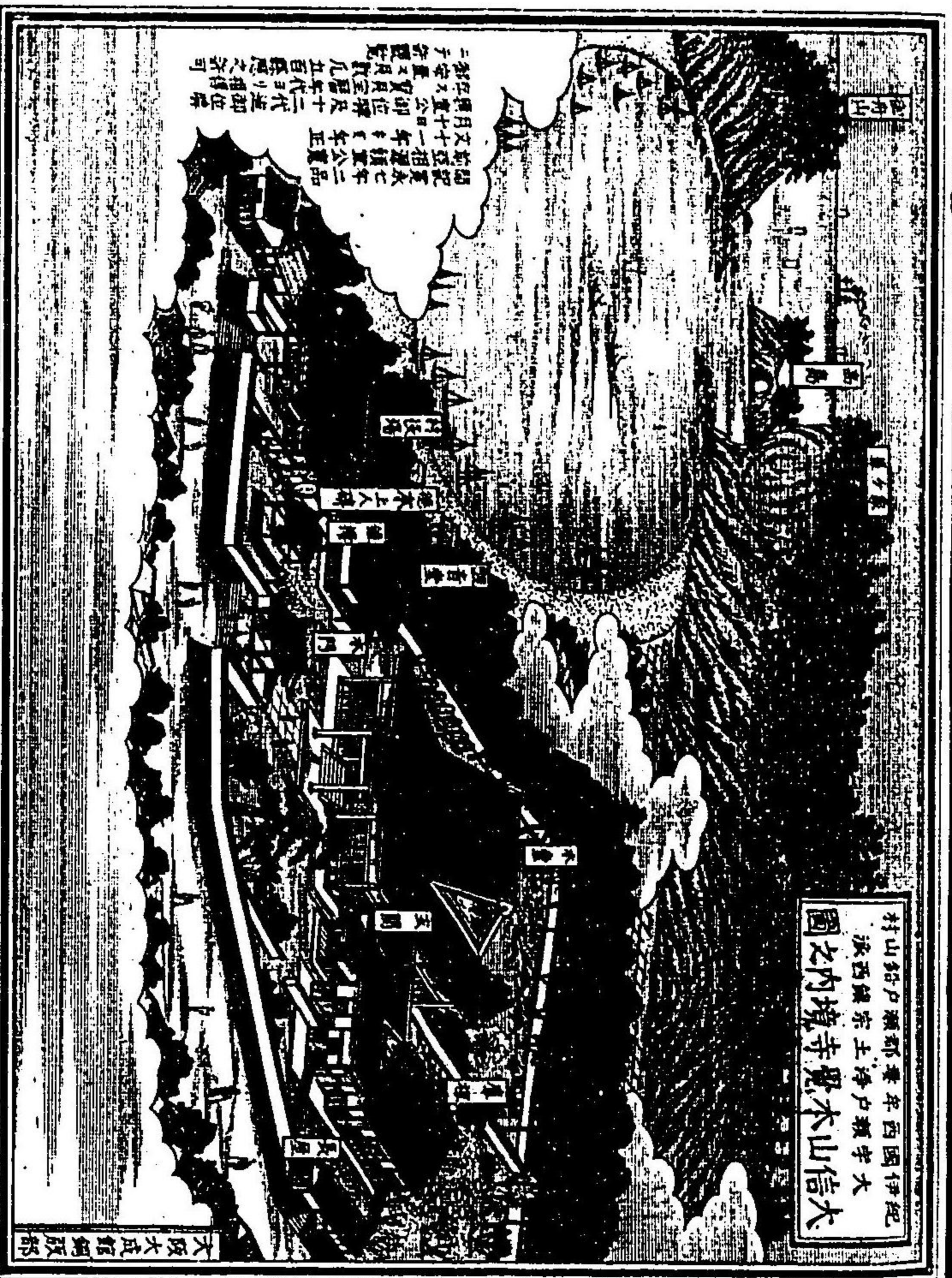
大阪大成館銅板製

紀伊國高野郡川上村
大宇初湯川村
上阿田水神社境内之圖



一、川上村大字
二、大宇初湯川村
三、上阿田水神社
四、川上村大字
五、大宇初湯川村
六、上阿田水神社
七、川上村大字
八、大宇初湯川村
九、上阿田水神社
十、川上村大字
十一、大宇初湯川村
十二、上阿田水神社
十三、川上村大字
十四、大宇初湯川村
十五、上阿田水神社
十六、川上村大字
十七、大宇初湯川村
十八、上阿田水神社
十九、川上村大字
二十、大宇初湯川村
二十一、上阿田水神社
二十二、川上村大字
二十三、大宇初湯川村
二十四、上阿田水神社
二十五、川上村大字
二十六、大宇初湯川村
二十七、上阿田水神社
二十八、川上村大字
二十九、大宇初湯川村
三十、上阿田水神社

大阪大成館銅版部

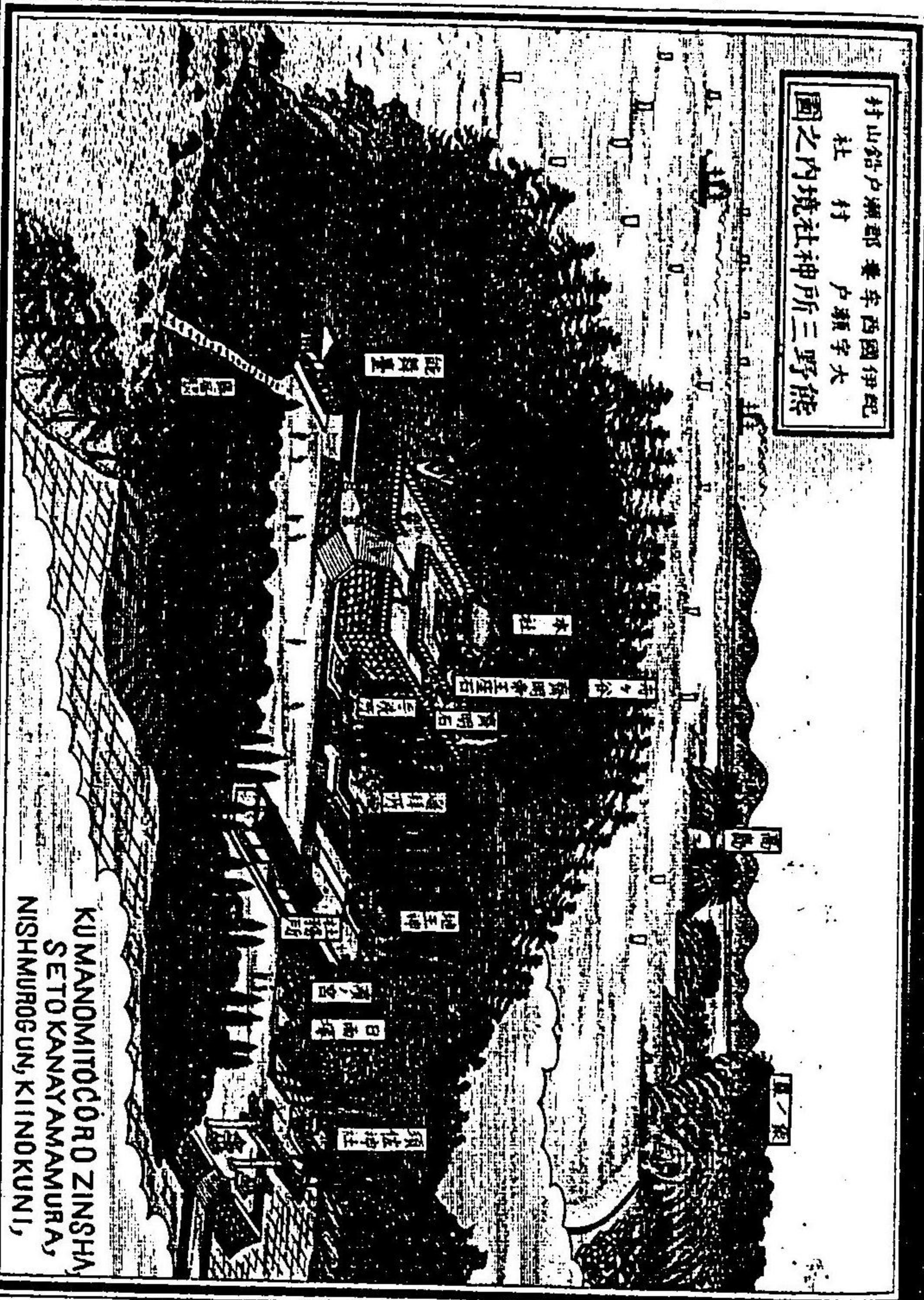


伊紀 西國 宇 兼 年 都 縣 山 村
 大 信 山 覺 寺 境 內 之 圖

此圖係由日本地圖院
 於明治三十二年繪成
 其時日本正處於
 大正元年之始
 故其圖中
 之文字及
 地名均係
 當時之舊稱

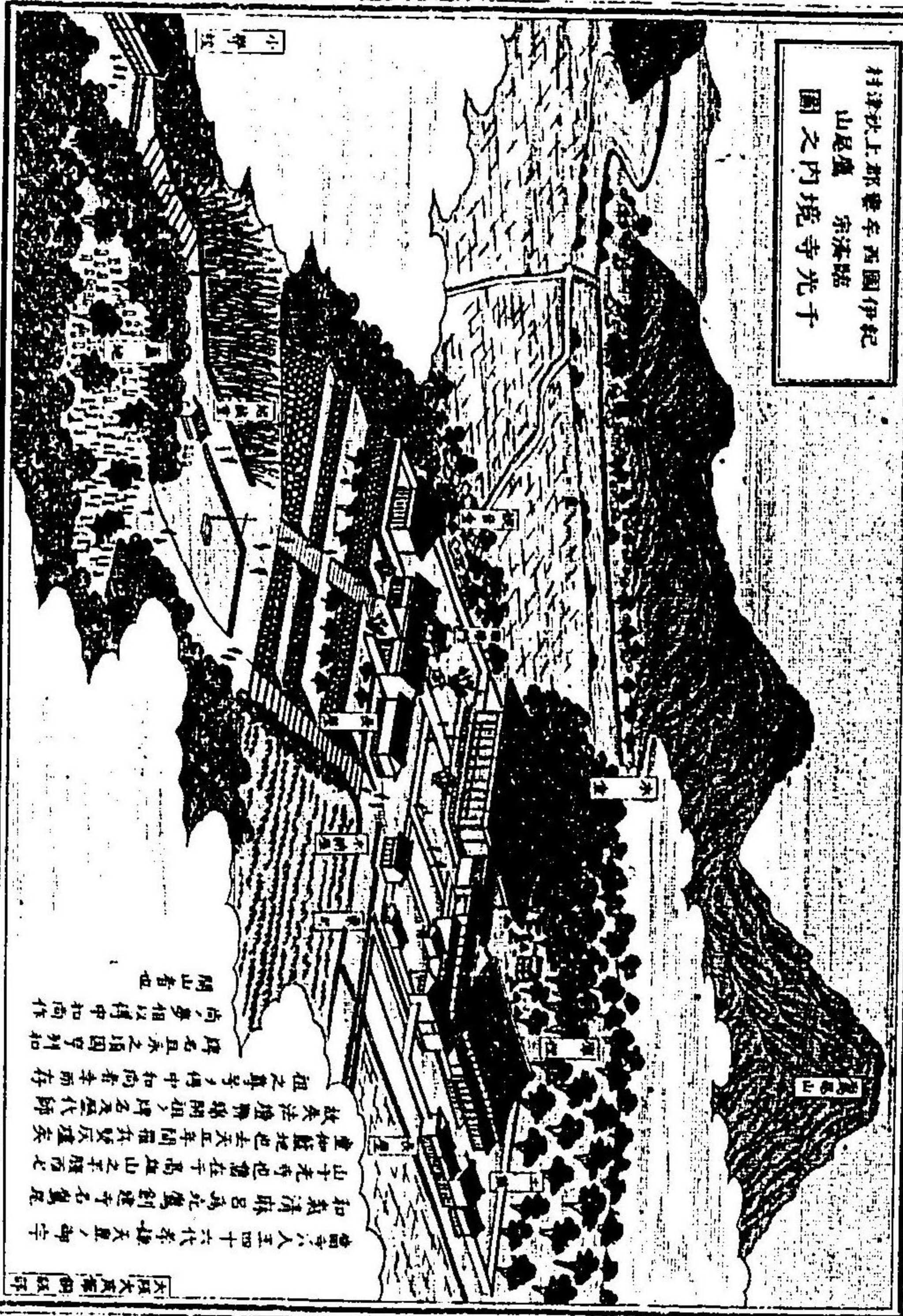
大阪大成館編輯部

村山 宇治郡 兼 宇治國 伊紀
社 村 宇治字 大
圖之內境社神所三野熊

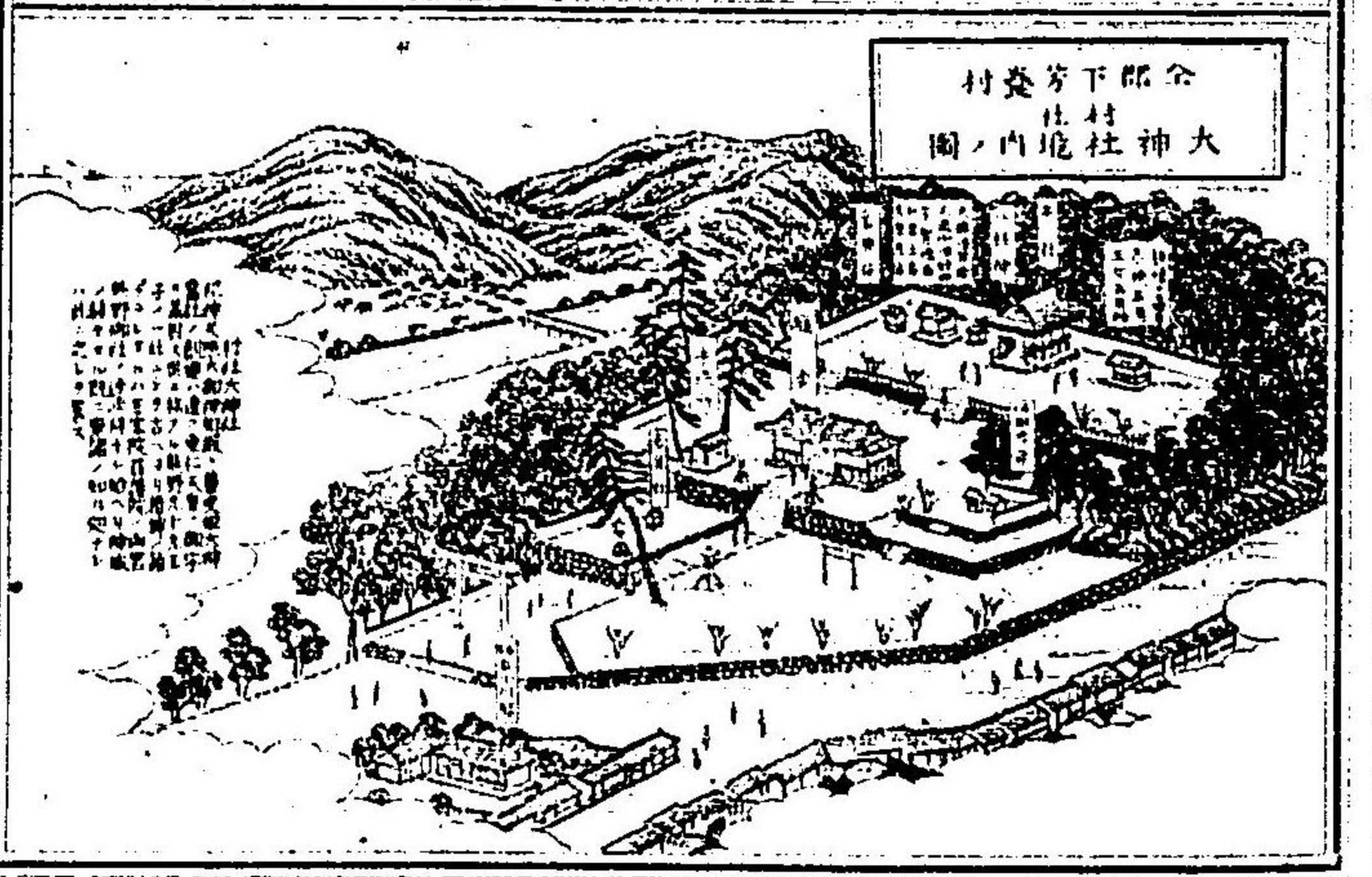
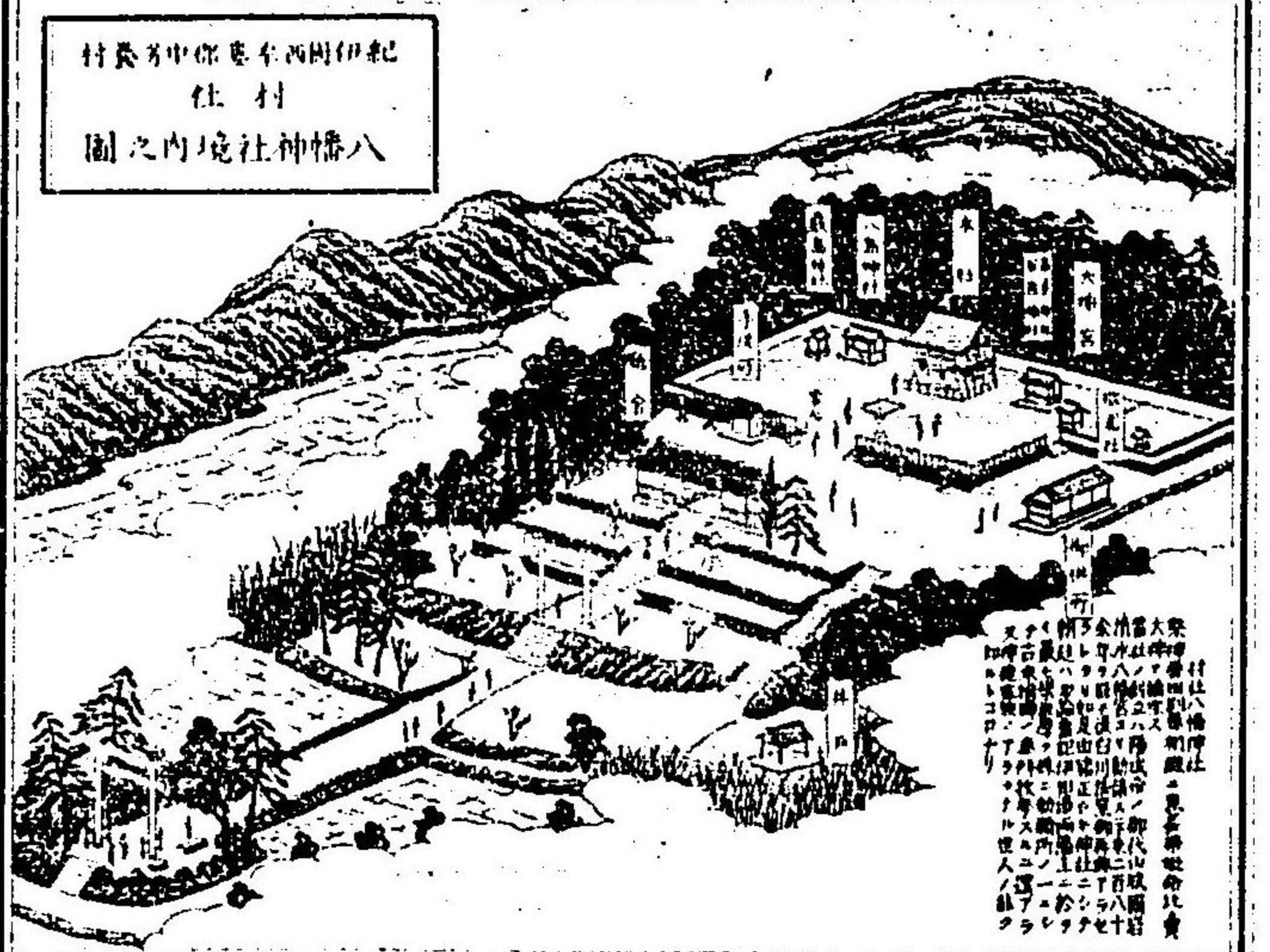


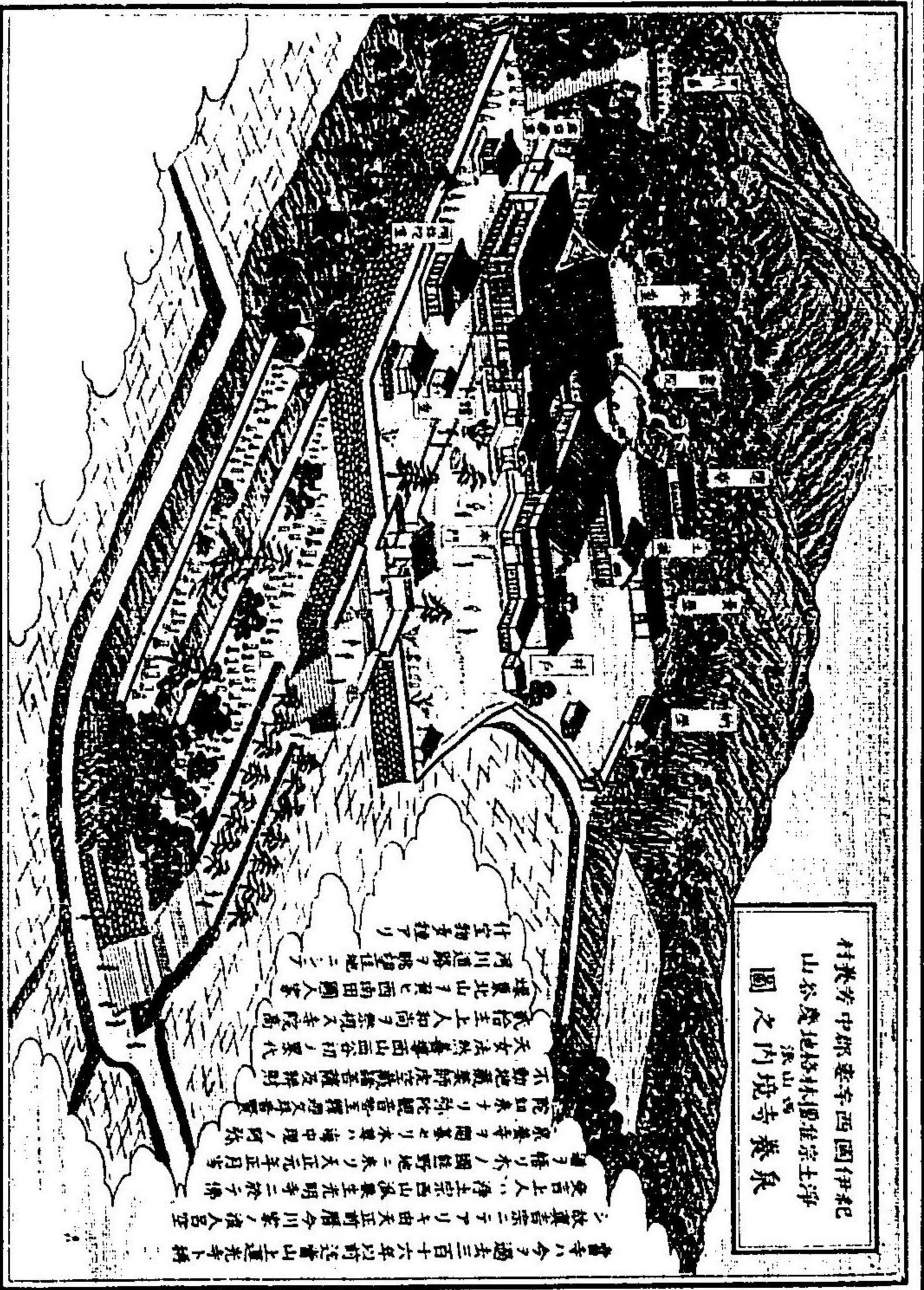
KUJIMANOMITOCORO ZINSHA
SETOKANAYAMAMURA,
NISHIMUROGUN, KIINKUNI,

村津秋上郡豐年西園伊紀
 山尾處 宗濟號
 園之內境 寺光十



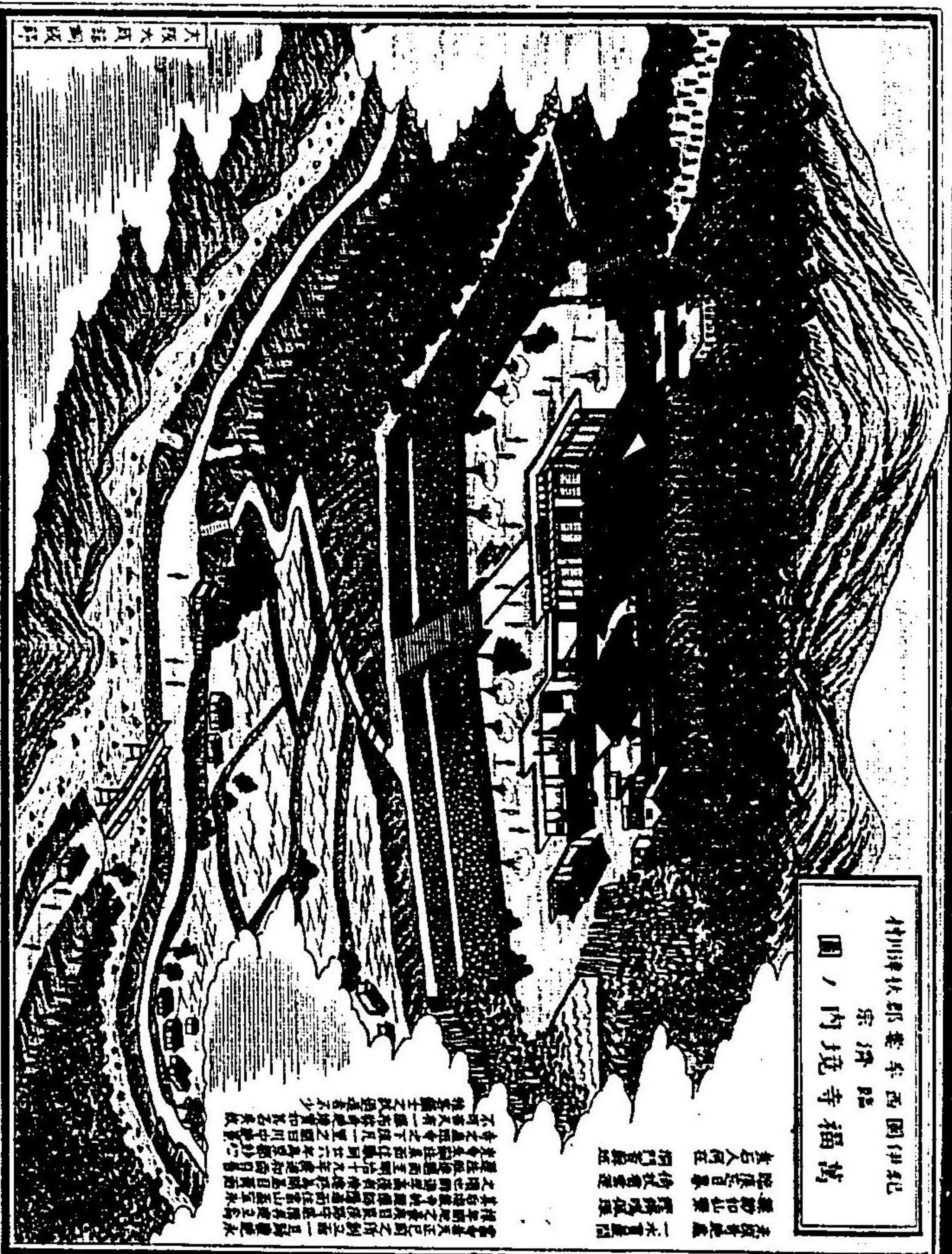
寺光十 八五十六代 宗濟 天皇 御宇
 和氣清麻呂 於此處 創建 寺光十
 山子 寺也 實在于 高畑山 之 下 隱 居 之
 處 故 號 曰 也 于 天 皇 開 闢 在 於 此 處 矣
 故 矣 法 師 賜 號 曰 宗 濟 矣 矣 矣 矣
 祖 之 尊 子 傳 中 知 而 者 亦 所 存
 得 名 且 亦 之 頃 間 亦 知 和
 尚 亦 相 傳 中 知 而 作
 附 山 者 也
 也





村養野中縣斐宇西國伊紀
 山谷處地林樹深密土淨
 深山
 圖之內境寺養泉

養寺ハ今ノ場五百十六年以前遠祖山上道業寺卜請
 之故業寺宗三子アリキ由天正初曆今川繁ノ撰入宮
 冬吉上人、淨土宗西山派業生先明寺二依之傳二
 傳子傳リキノ國經野地ニ來リ天正五年正月廿
 家養寺ヲ開基スリ本堂ハ塔中殿ノ阿婆
 院以來ナリ外院經堂五體等不詳
 不知祀儀業師序戒錄香燭次第
 天女法然尊像而田原四ノ粟代
 義拾主上人和尚ヲ無量入寺院前
 遠祖北山ノ親ト西田園人等
 河川邊路ヲ略望近地ニシテ
 什宜物ヲ種アリ



神州春秋郡卷年西國伊紀
 宗濟路
 圖ノ内境寺福高

寺所是屋
 一丈高屋四
 層妙如屋
 院殿名是
 名曰阿羅
 者名阿羅
 院殿名是

大原水員路圖城村